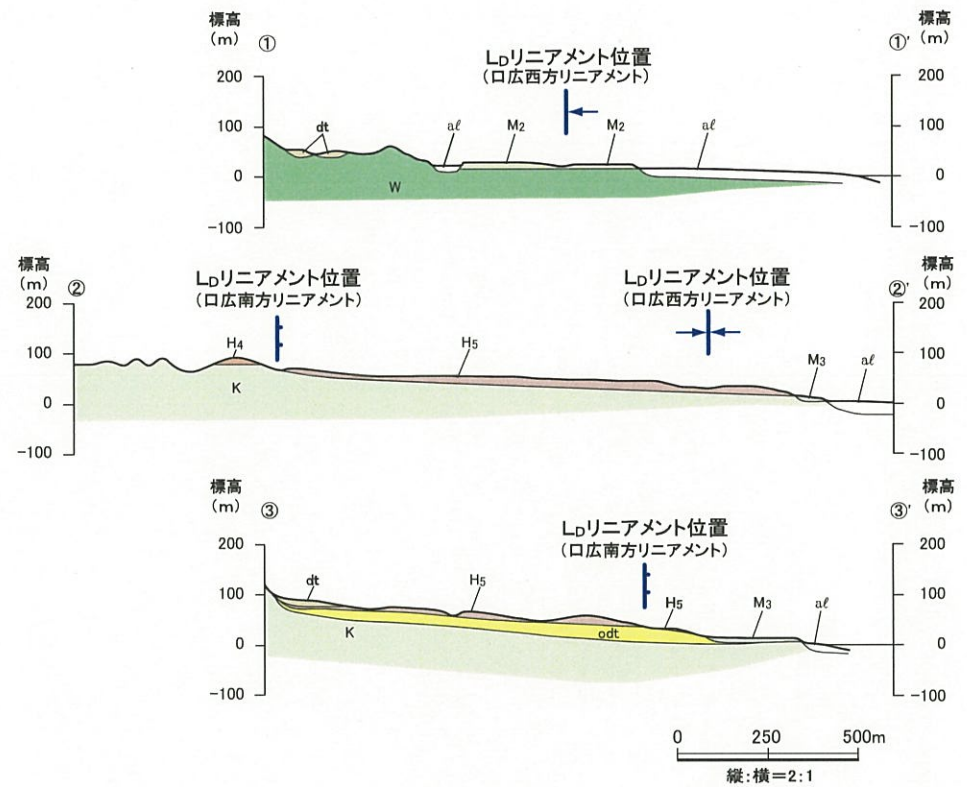
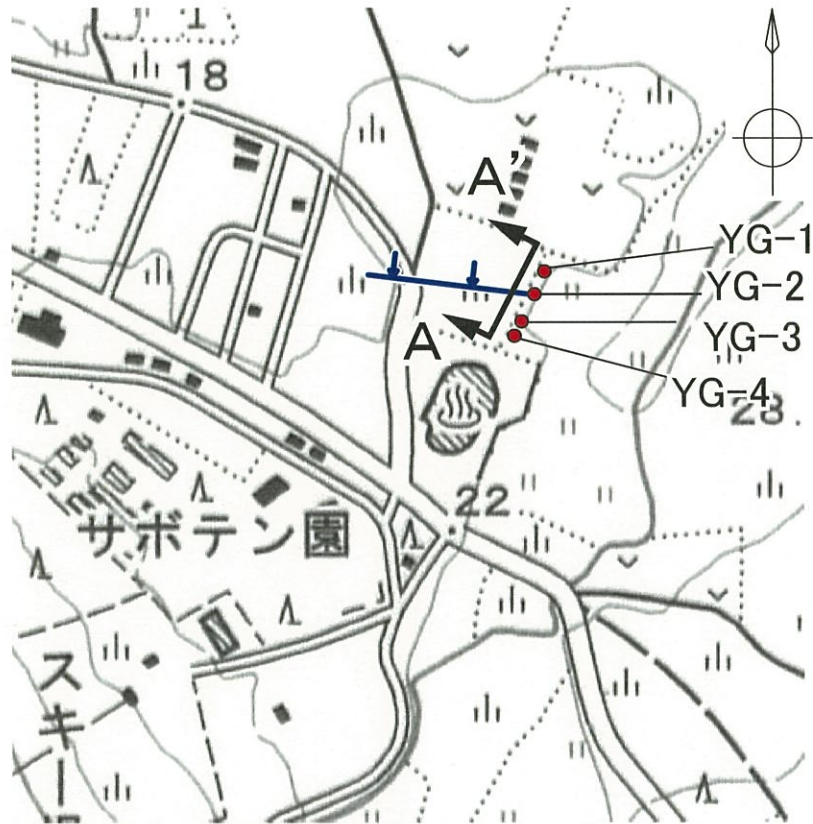


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1445、本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

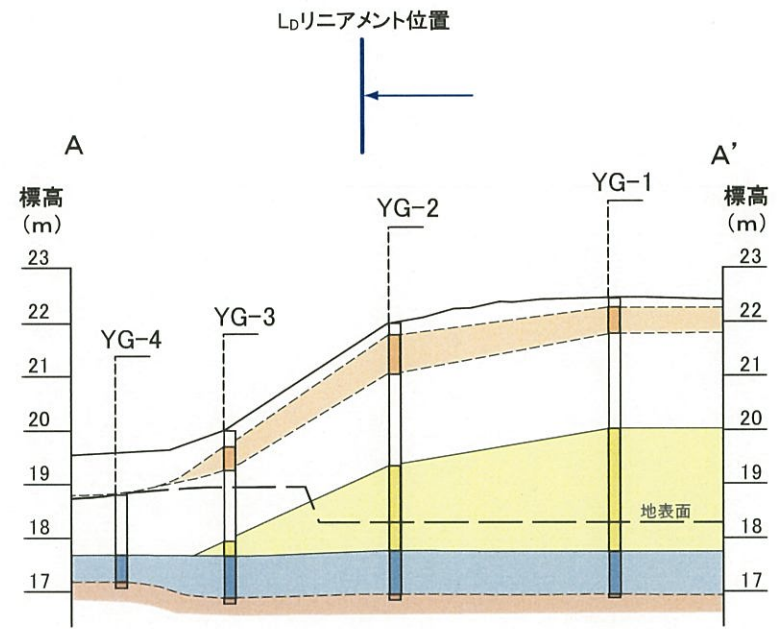


凡 例			
al	沖積低地堆積層	10	地層の走向・傾斜
dt	崖錐堆積層	M	松倉山層
L3	低位段丘堆積層 (L3面堆積物)	K	小坪川層
M3	中位段丘堆積層 (M3面堆積物)	W	和田川層
M2	中位段丘堆積層 (M2面堆積物)	D	貫入岩
M1	中位段丘堆積層 (M1面堆積物)	odt	古期扇状地堆積層 (古期低地堆積層)
H5	高位段丘堆積層 (H5面堆積物)	—	地層境界線
H4	高位段丘堆積層 (H4面堆積物)	① ①'	断面位置
		—	Lpリニアメント
		↓ ↓	段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。

添3-ロ(口)第96図 平内町口広周辺の地質平面図及び地質断面図  
3-ロ-328

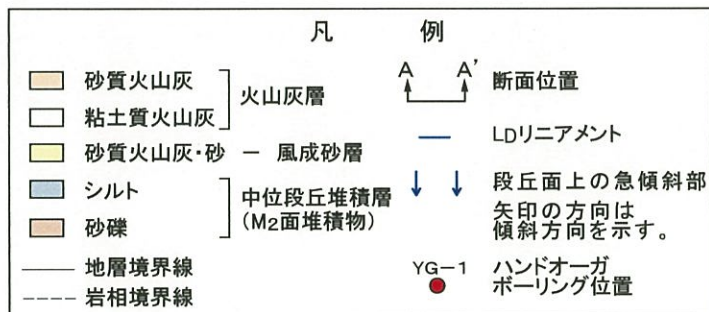


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1445。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

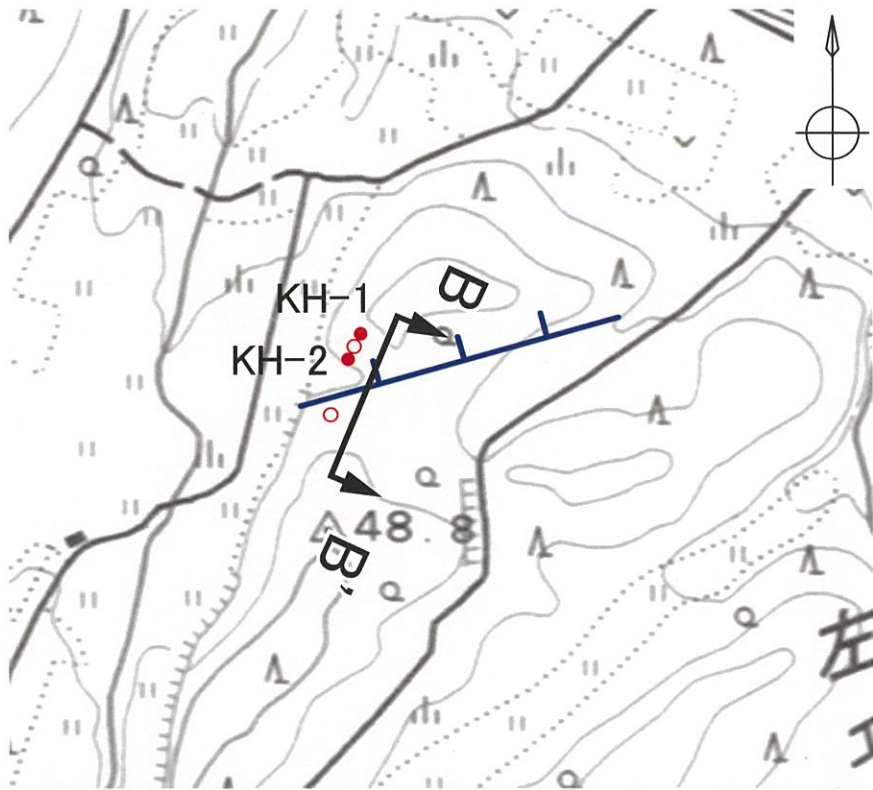


\* 地表面より下方はハンドオーガボーリング結果による。  
地表面より上方は、法面観察結果による。

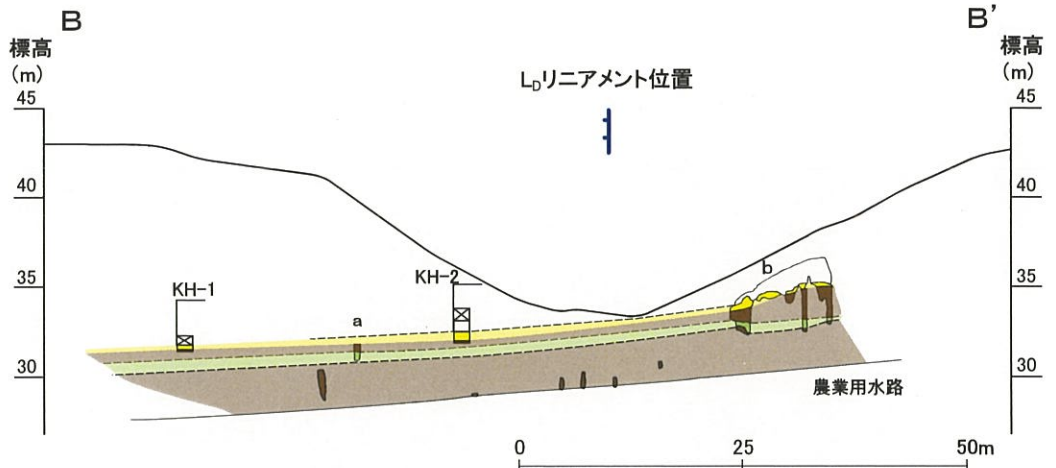
0 5 10m  
縦:横=5:1



添3-ロ(口)第97図 平内町大菴西方の柱状対比図  
3-ロ-329



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1445。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

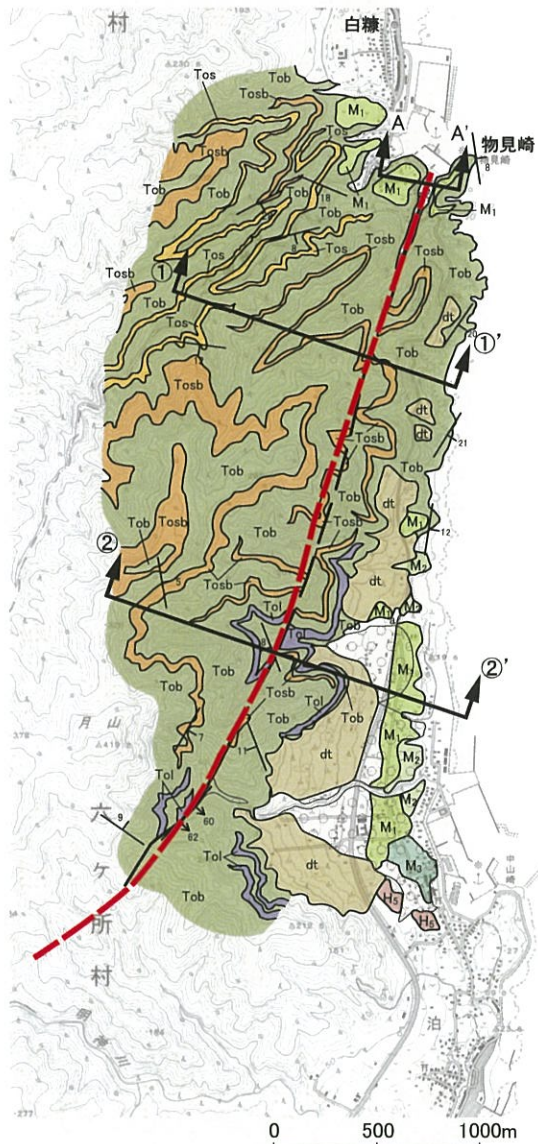


※ 露頭位置は、B-B' 断面線方向へ垂直に投影して図示

縦:横=2:1

凡 例	
	砂礫(崖錐堆積層)
	軽石混り砂質火山灰(火山灰層)
	凝灰質砂
	礫 (古期扇状地堆積物)
	細粒砂
	岩相境界線
	断面位置
	Lpリニアメント
	露頭位置
	KH-1 ハンドオーガボーリング位置

添3-ロ(口)第98図 平内町口広南方の口広川右岸の露頭柱状対比図

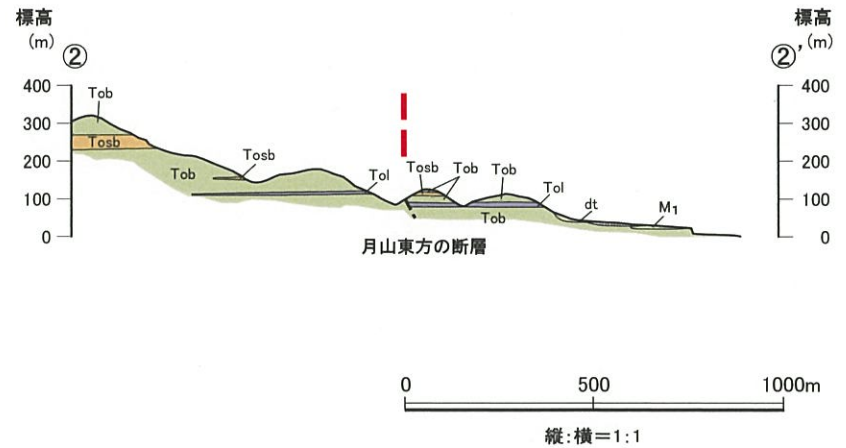
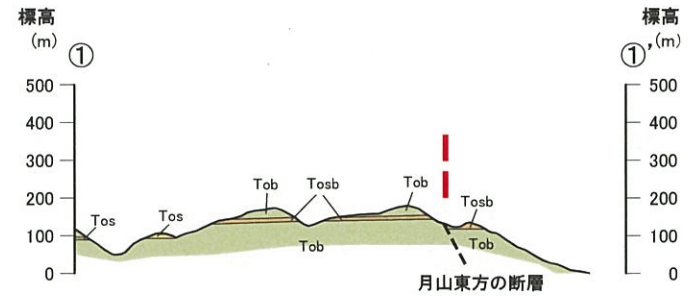


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1445。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

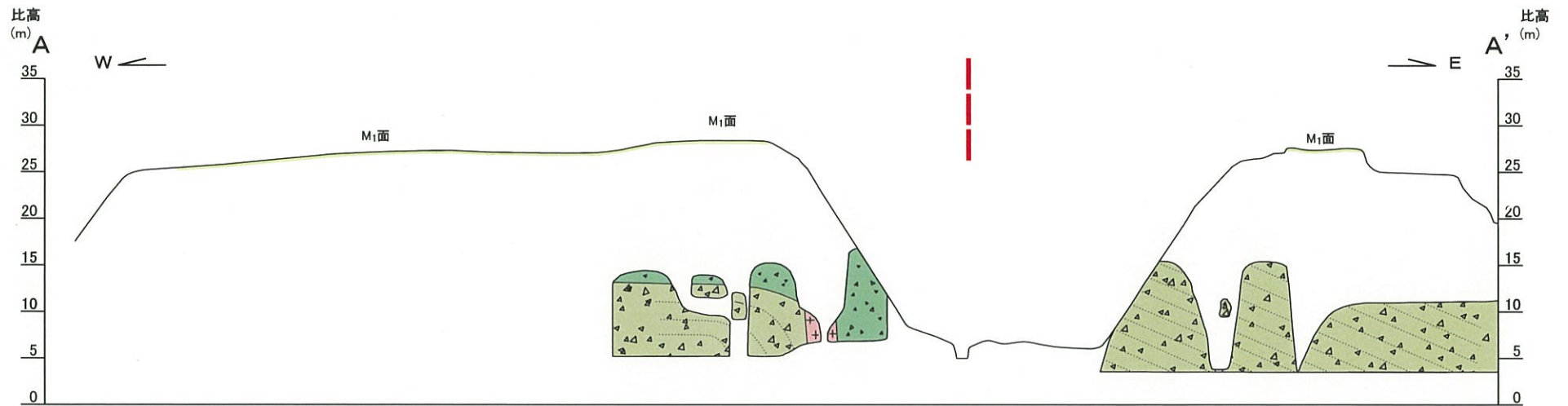


凡例	
a <sub>l</sub>	沖積低地堆積層
dt	崖堆積層
M <sub>3</sub>	中位段丘堆積層(M <sub>3</sub> 面堆積物)
M <sub>2</sub>	中位段丘堆積層(M <sub>2</sub> 面堆積物)
M <sub>1</sub>	中位段丘堆積層(M <sub>1</sub> 面堆積物)
H <sub>5</sub>	高位段丘堆積層(H <sub>5</sub> 面堆積物)
(shaded area)	古期扇状地堆積層 (着色部は段丘面を覆う範囲)
Tol	安山岩溶岩
Tob	凝灰角礫岩
Tosb	砂質凝灰角礫岩
Tos	凝灰質砂岩
} 泊層	
7	地層の走向・傾斜
60	断層の走向・傾斜
—	地層境界線・岩相境界線
---	断層線(---部は推定)
① ①'	断面位置

— 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント

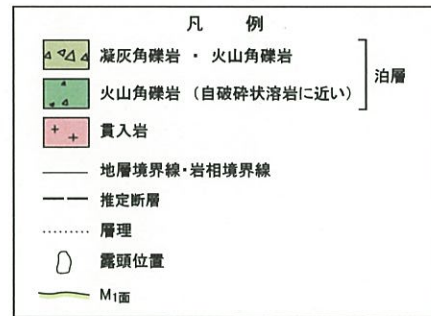


添3-ロ(ロ)第99図 月山東方の断層周辺の地質平面図及び地質断面図

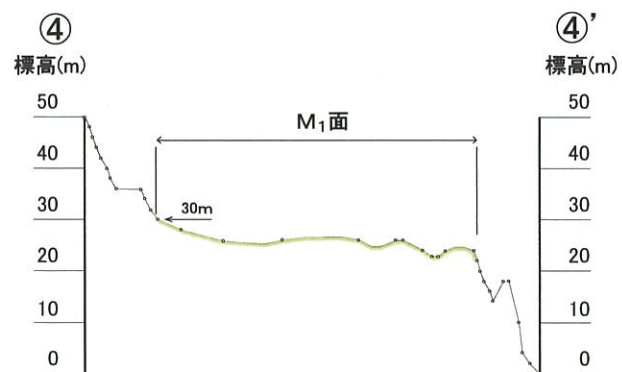
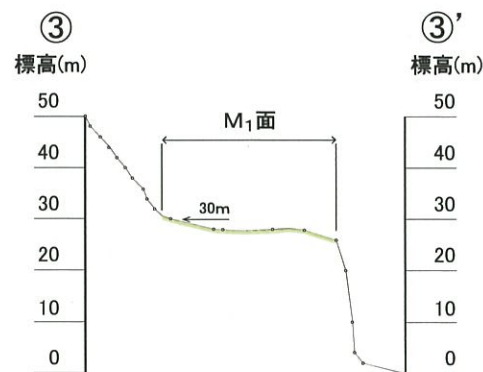
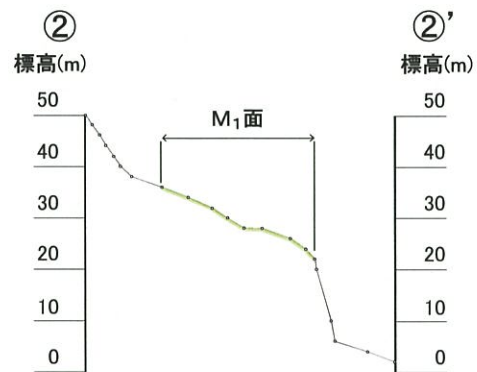
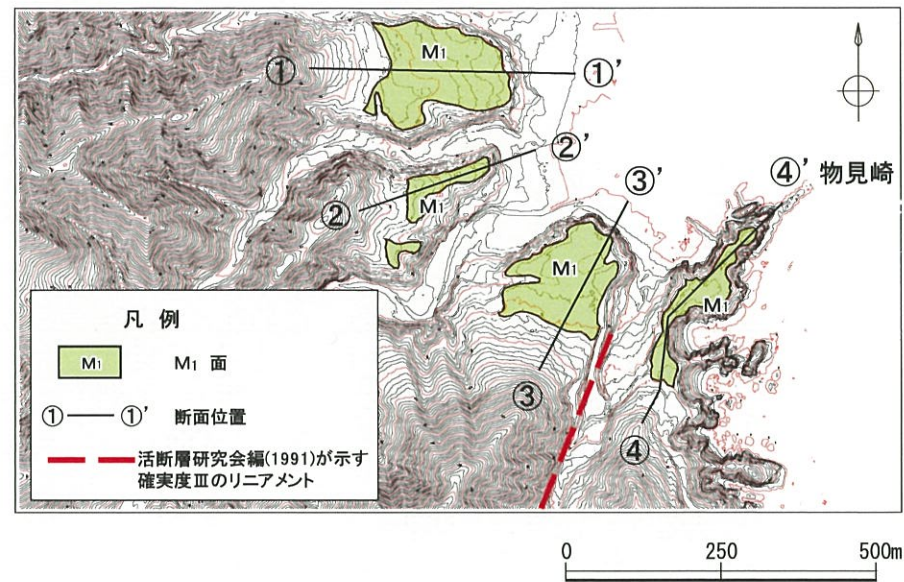
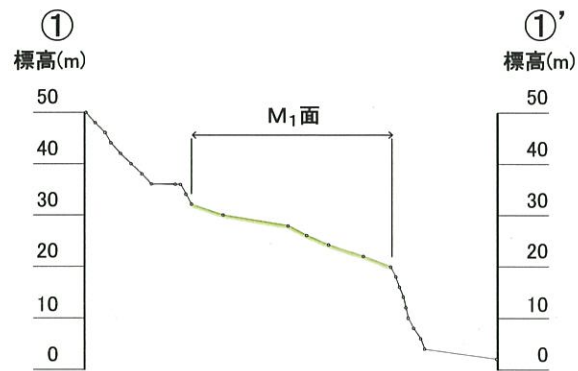


月山東方の断層はこの谷部に推定される

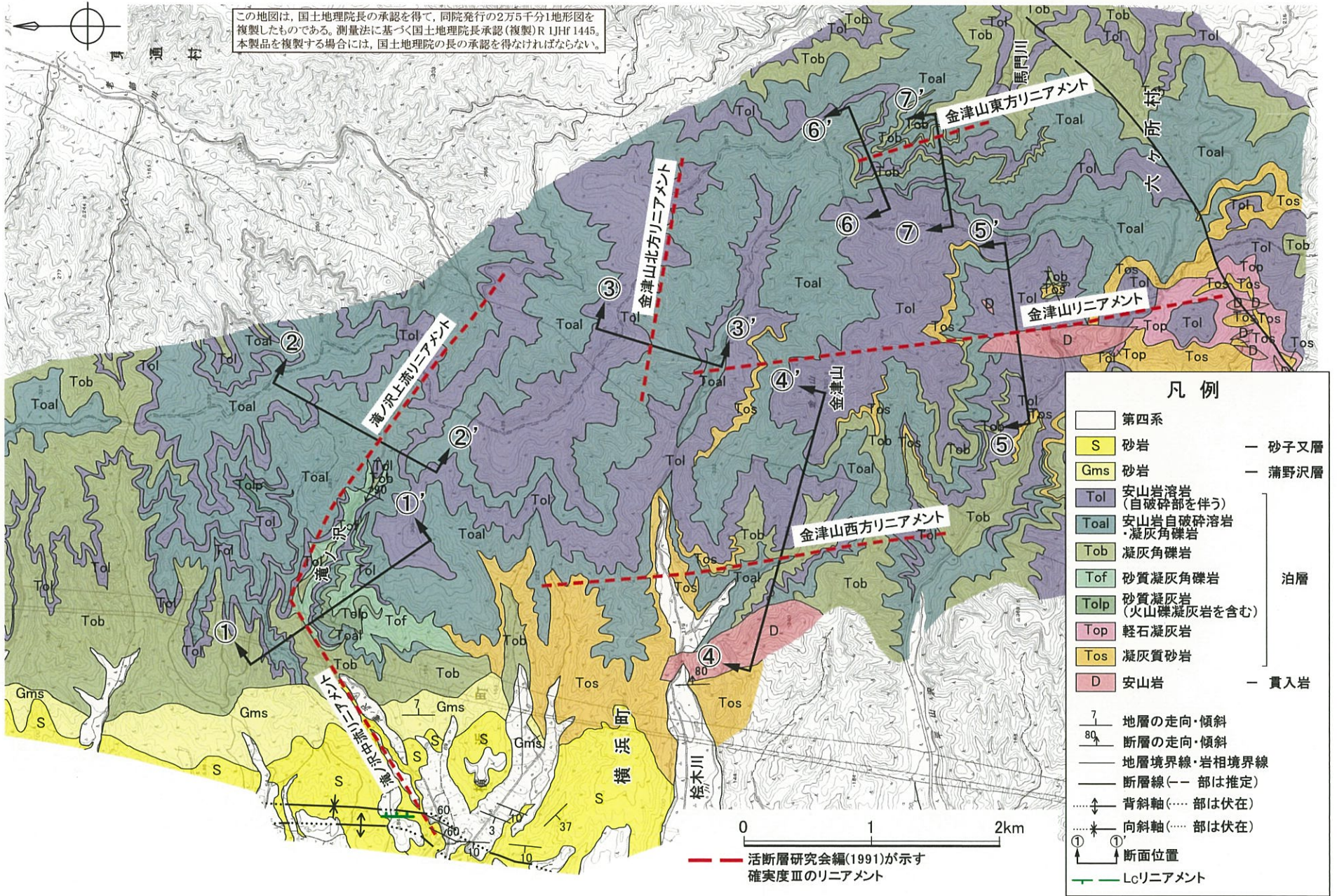
0 25 50m  
縦:横=2.5:1



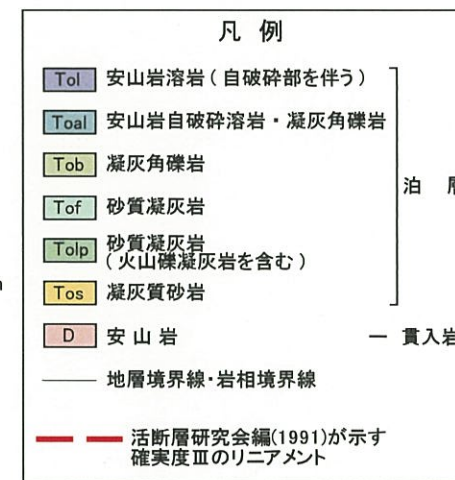
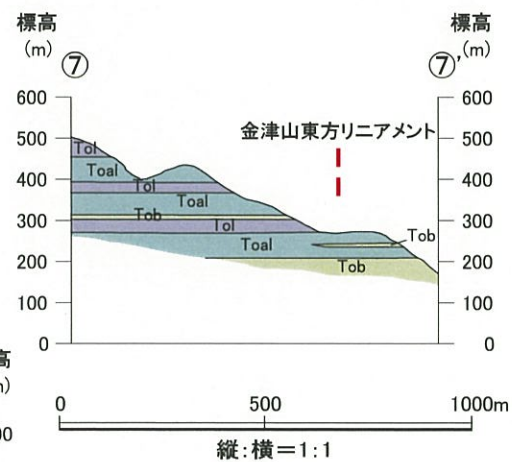
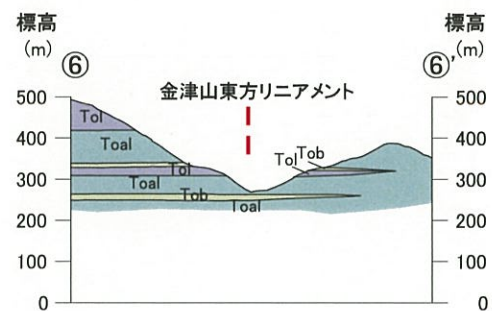
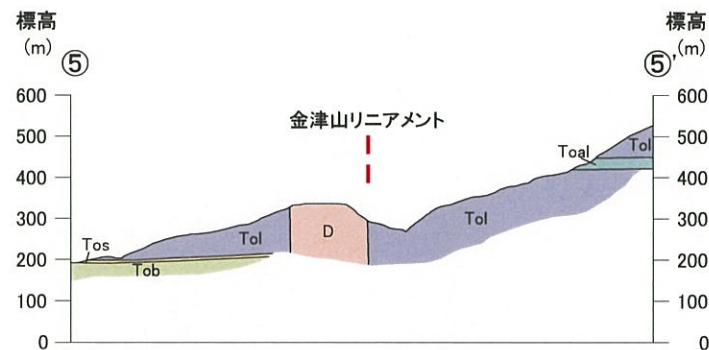
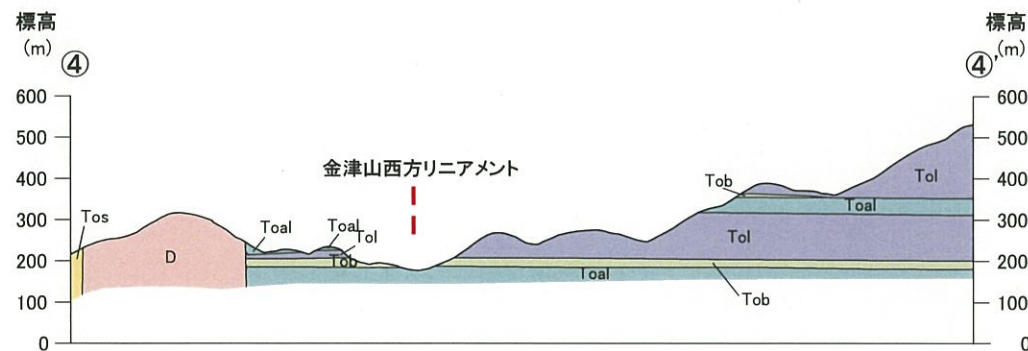
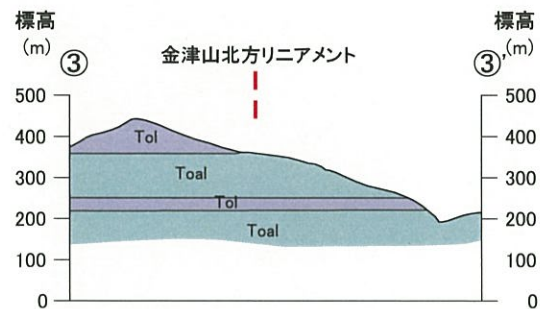
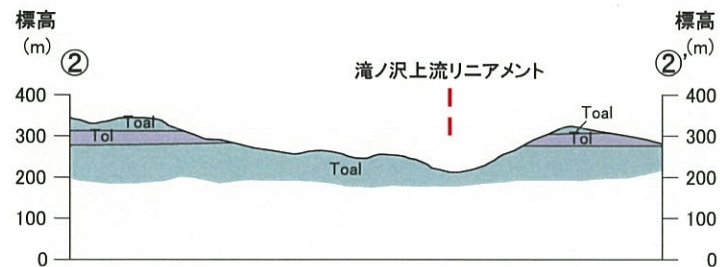
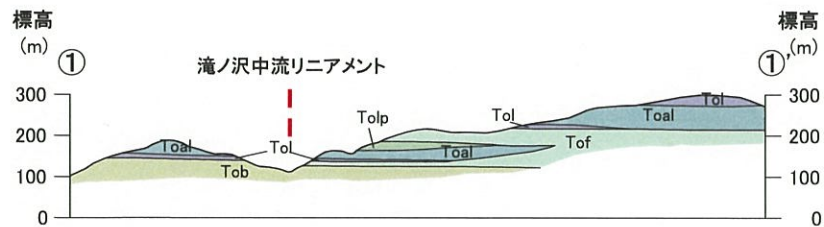
— 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント



添3-ロ(口)第101図 東通村白糠南方の物見崎付近の地形断面図  
3-ロ-333

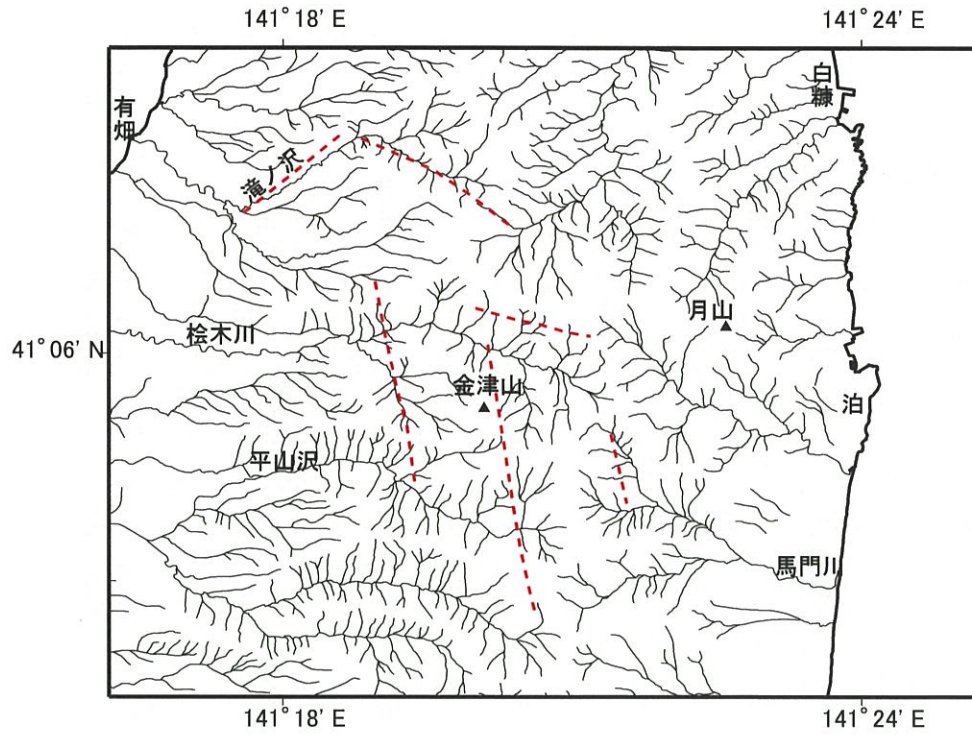


添3-ロ(口)第102図 金津山周辺の地質平面図  
3-ロ-334



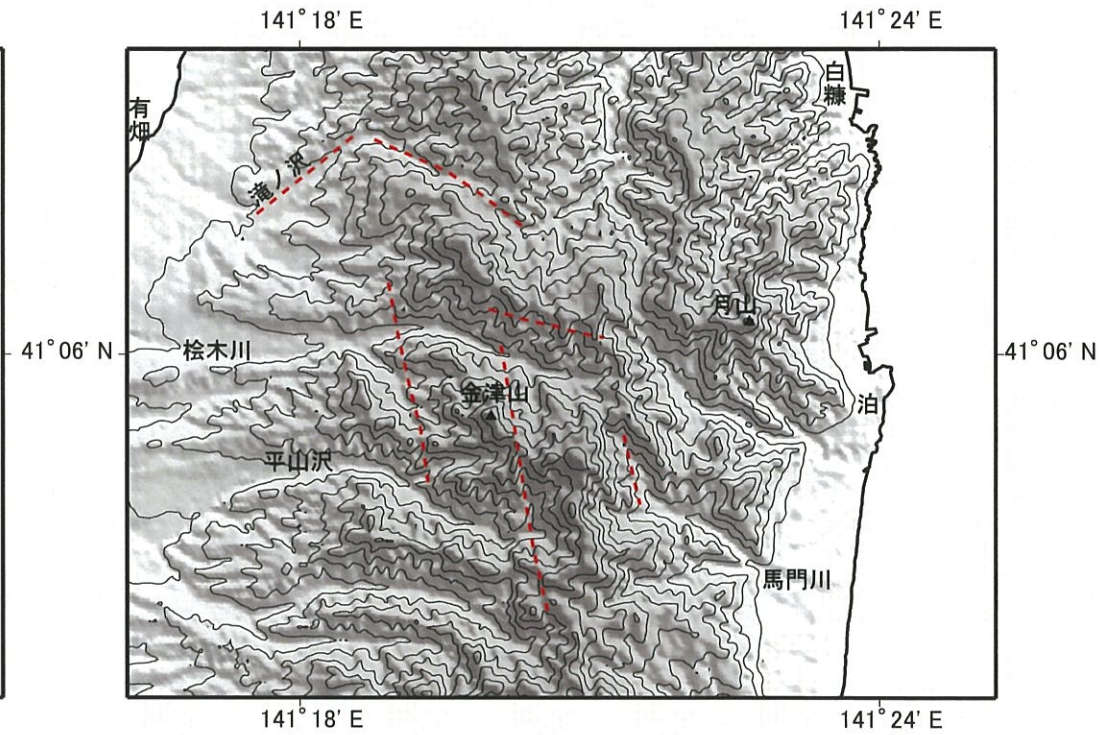
添3-ロ(口) 第103図 金津山周辺の地質断面図  
3-ロ-335





水系図

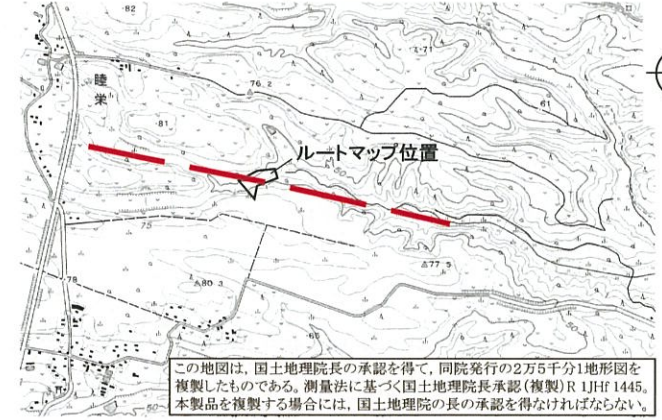
----- 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント



接峰面図

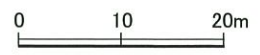
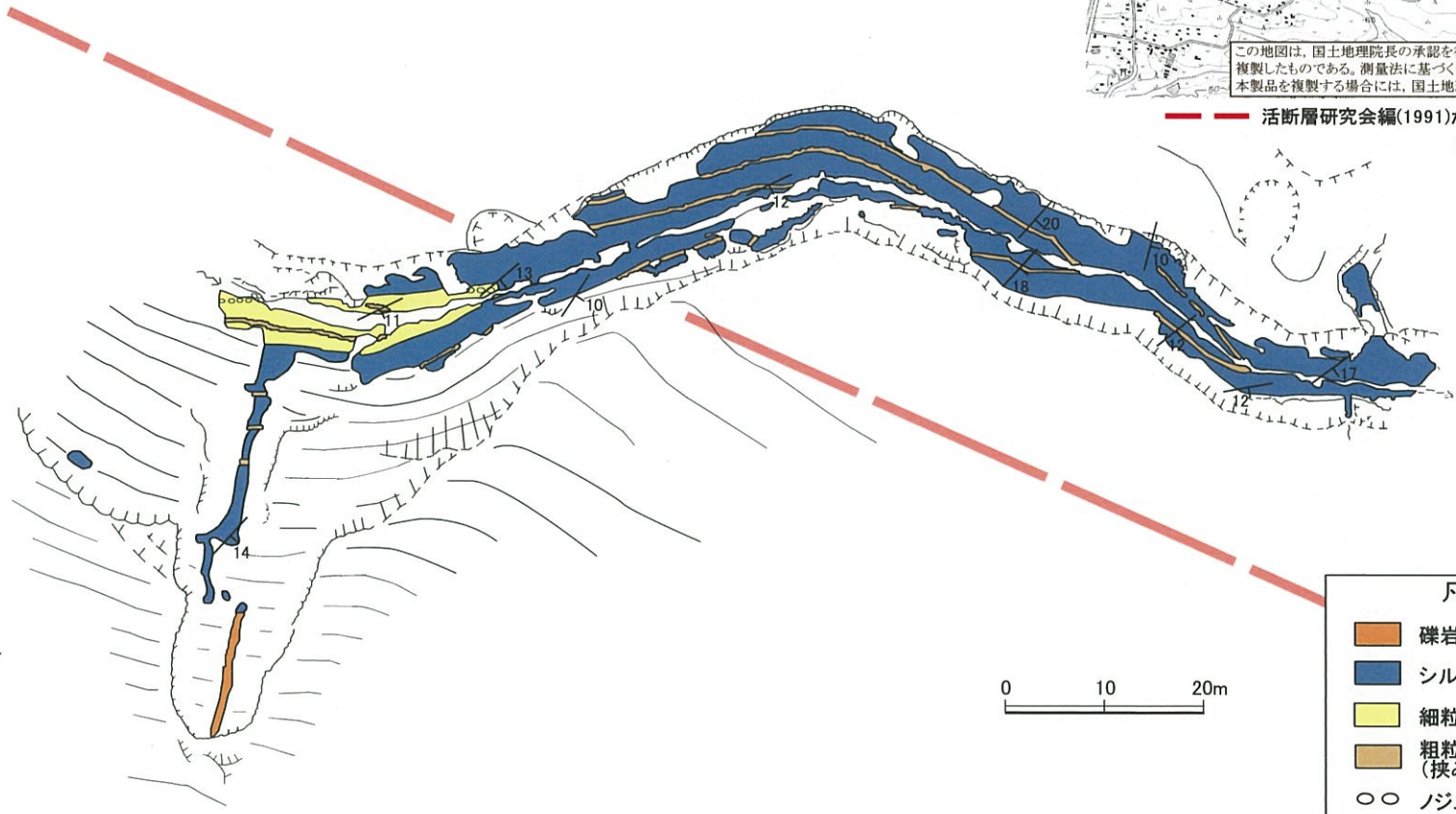
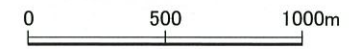
※本陰影図は国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を用いて作成した。

露頭位置図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 1445。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

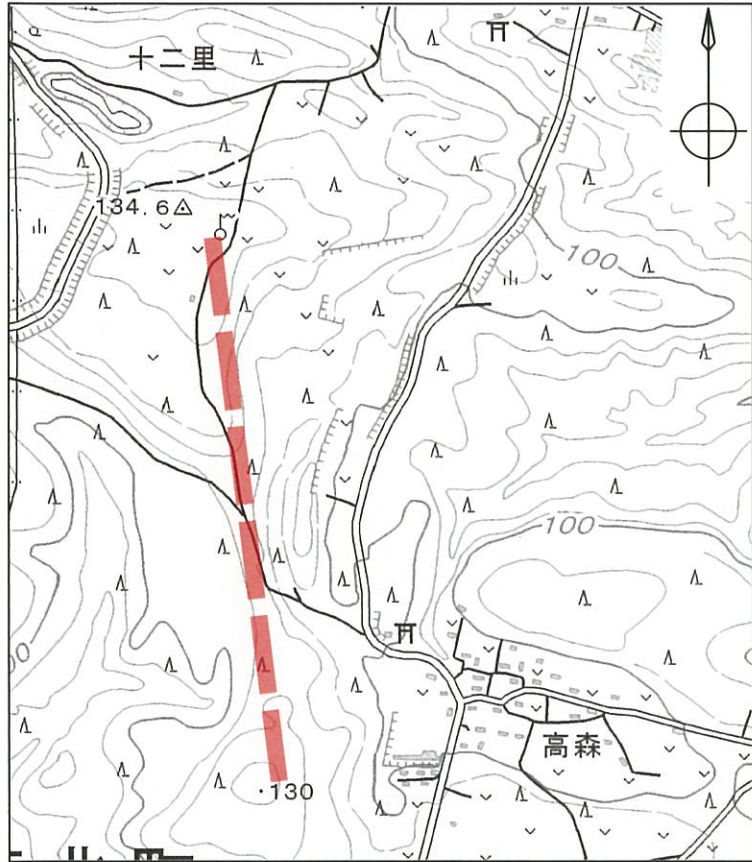
— 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント



凡 例	
	礫岩
	シルト岩
	細粒砂岩
	粗粒砂岩 (挟み層)
	砂子又層
	ノジュール
	地層の走向・傾斜
	地層境界線・岩相境界線
	鷹架層

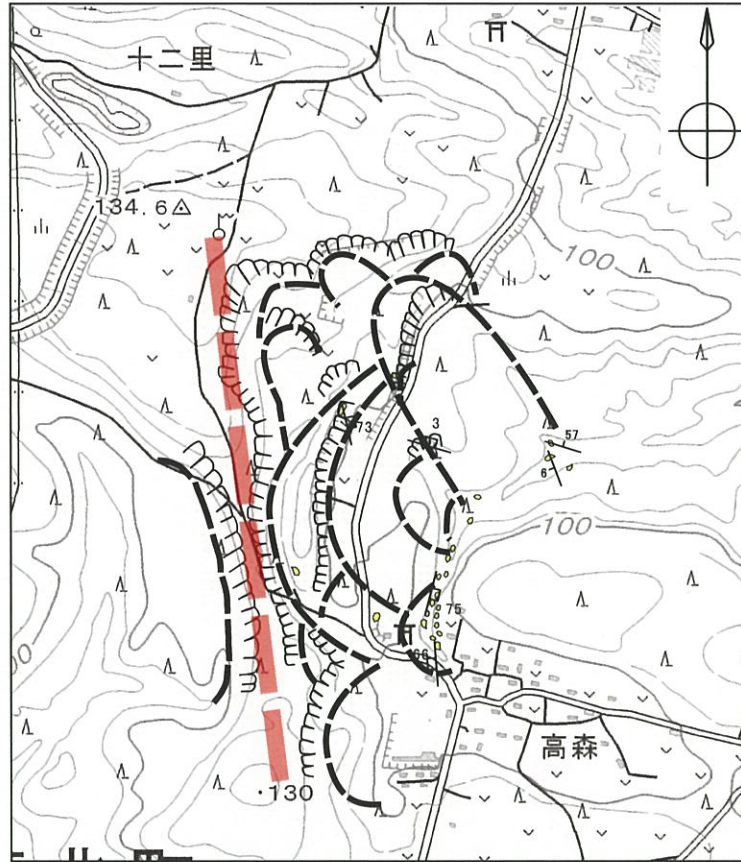
添3-ロ(ロ)第105図 六ヶ所村千歳平の河床ルートマップ  
3-ロ-337

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1445。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



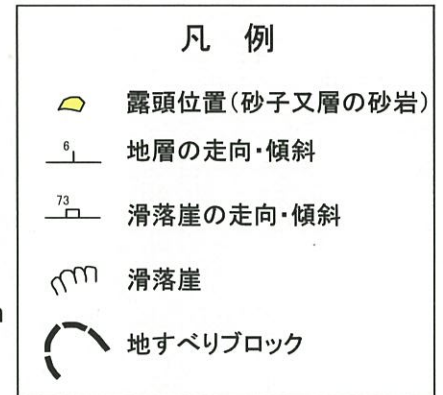
0 250 500m

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1445。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

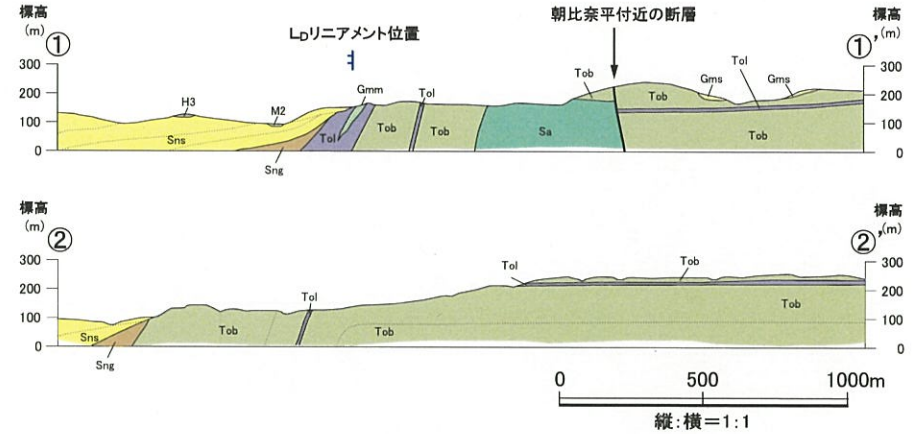
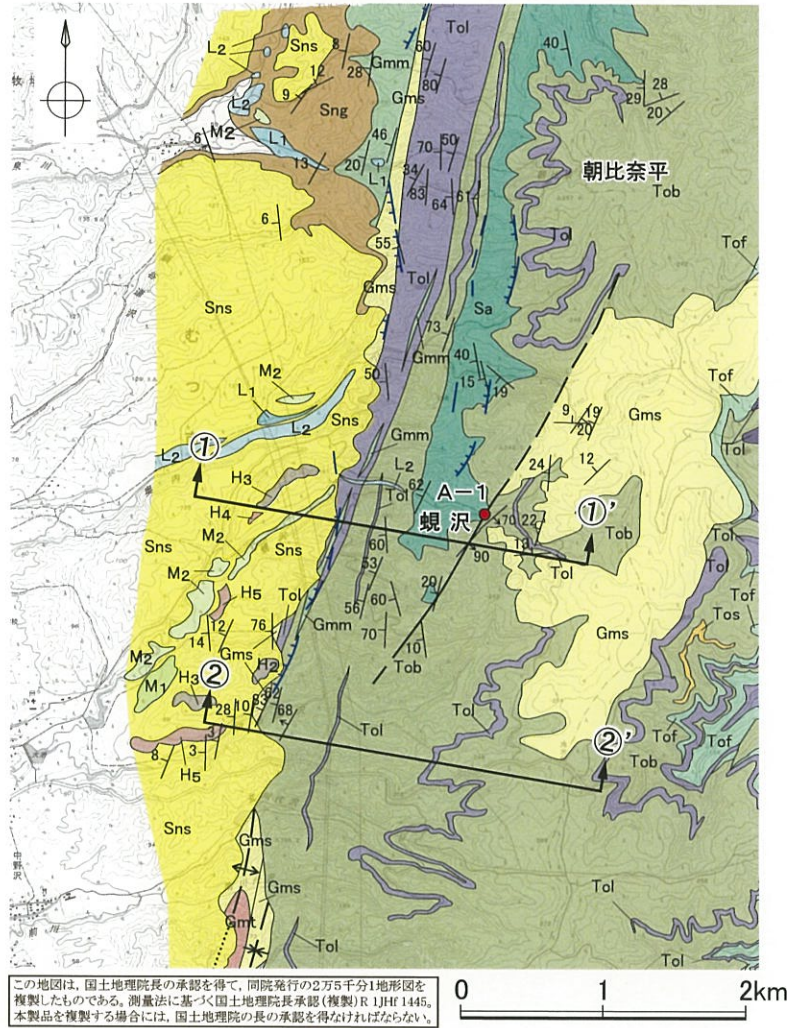


地表踏査による地すべり地形分布図

0 250 500m

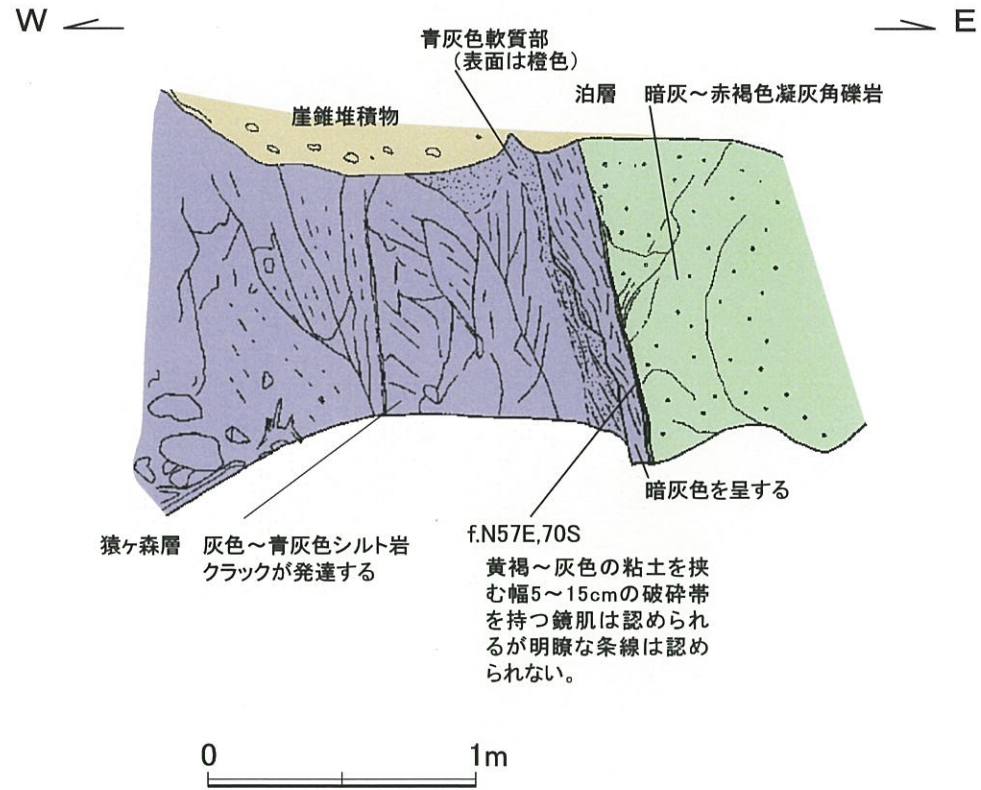


----- 活断層研究会編(1991)が示す  
 确实度Ⅲのリニアメント

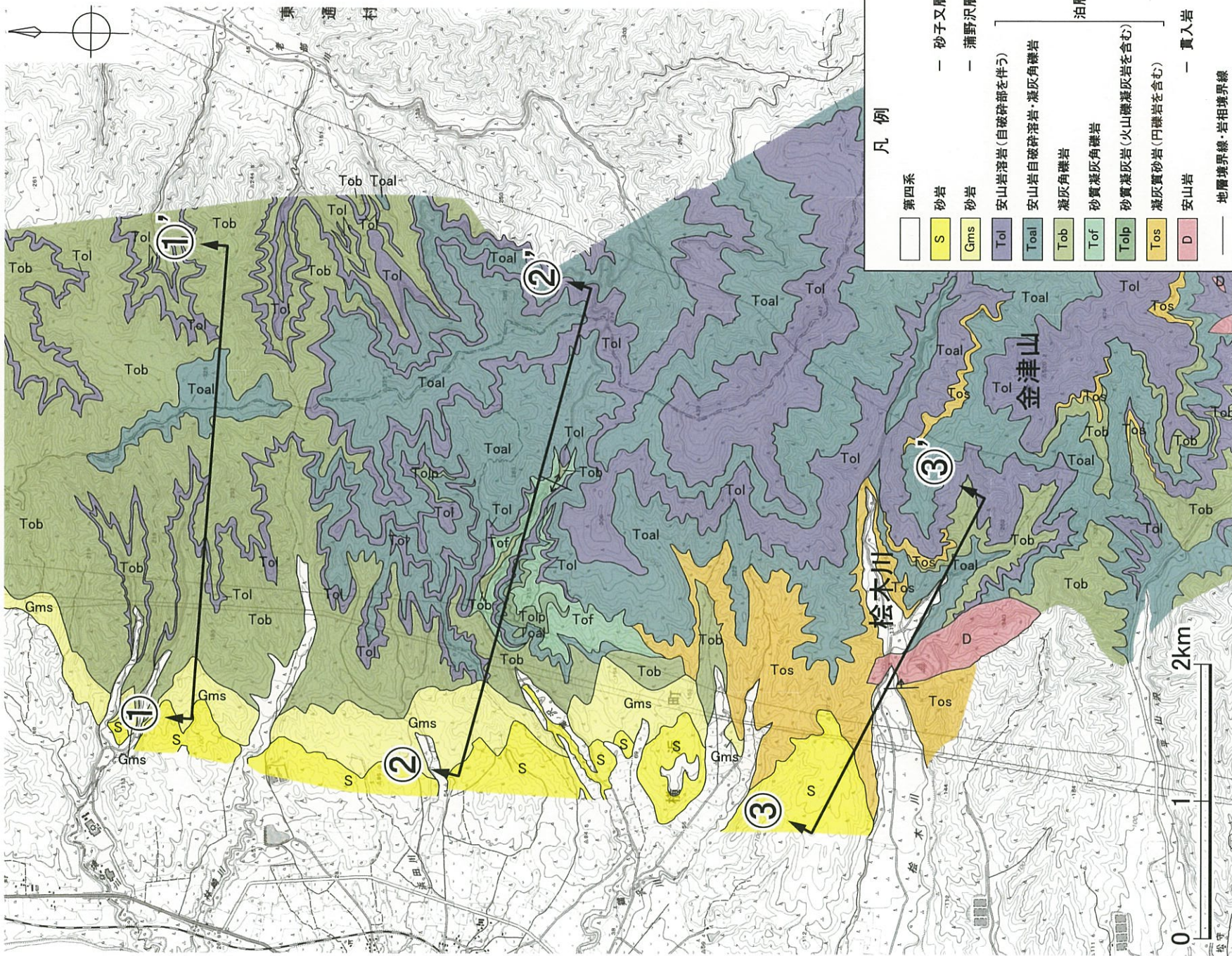


地質時代	地層名	記号	例
完新世	砂丘砂層	du	8 地層の走向・傾斜
	沖積低地堆積層	a4	68 断層の走向・傾斜
第更 四新 紀世	後期 低位段丘堆積層	L2	地層境界線・岩相境界線
	中期 中位段丘堆積層	M2	断層線 (--- 部は推定) (..... 部は伏在)
	前期 高位段丘堆積層	H5	背斜軸 (..... 部は伏在)
		H4	背斜軸 (推定)
		H3	向斜軸 (..... 部は伏在)
鮮新世	砂子又層	Sns	向斜軸 (推定)
		Sng	LDリニアメント
新中 第三 紀世	中期 蒲野沢層	Gmm	層理
		Gms	砂岩
		Gmt	凝灰岩
		Gmg	礫岩
	前期 泊層	Tol	安山岩溶岩
		Tob	凝灰角礫岩
	Tof	砂質凝灰岩	
	Tos	凝灰質砂岩	
	Sa	泥岩・砂岩	

添3-ロ(ロ)第107図 朝比奈平周辺の地質平面図及び地質断面図  
3-ロ-339



添3-ロ(口)第108図 むつ市蜷沢上流付近の断層露頭スケッチ図(A-1露頭)  
3-ロ-340



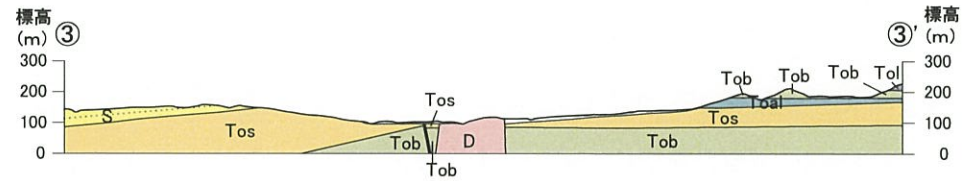
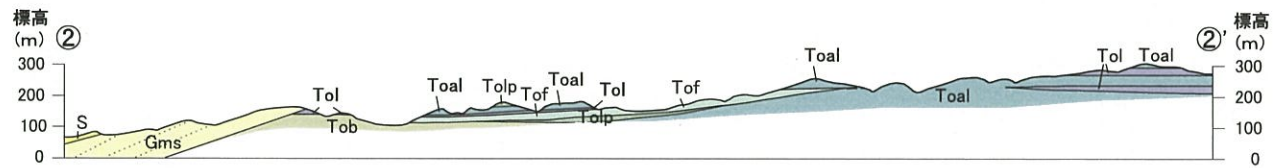
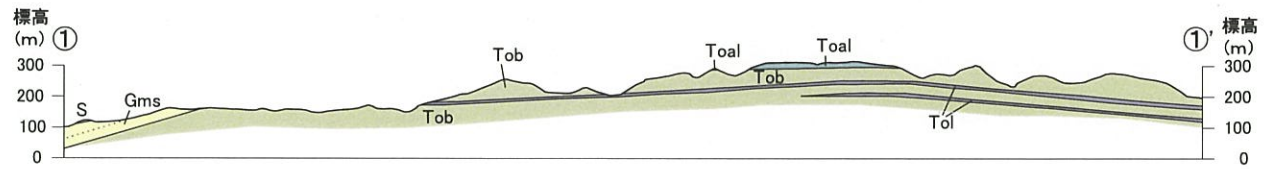
凡例

第四系	砂子又層
S	砂岩
Gms	砂岩
Tol	安山岩溶岩(自破砕部を伴う)
Toal	安山岩自破砕溶岩・凝灰角礫岩
Tob	凝灰角礫岩
Tof	砂質凝灰角礫岩
Tolp	砂質凝灰岩(火山礫凝灰岩を含む)
Tos	凝灰質砂岩(円礫岩を含む)
D	安山岩
	貫入岩

— 地層境界線・岩相境界線  
 ① ① 断面位置  
 80 断層の走向・傾斜

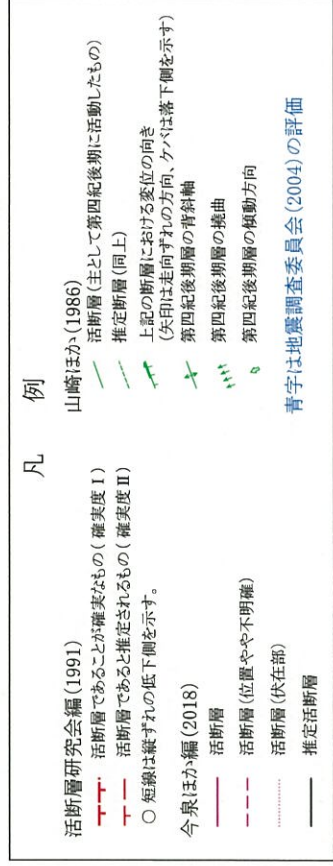
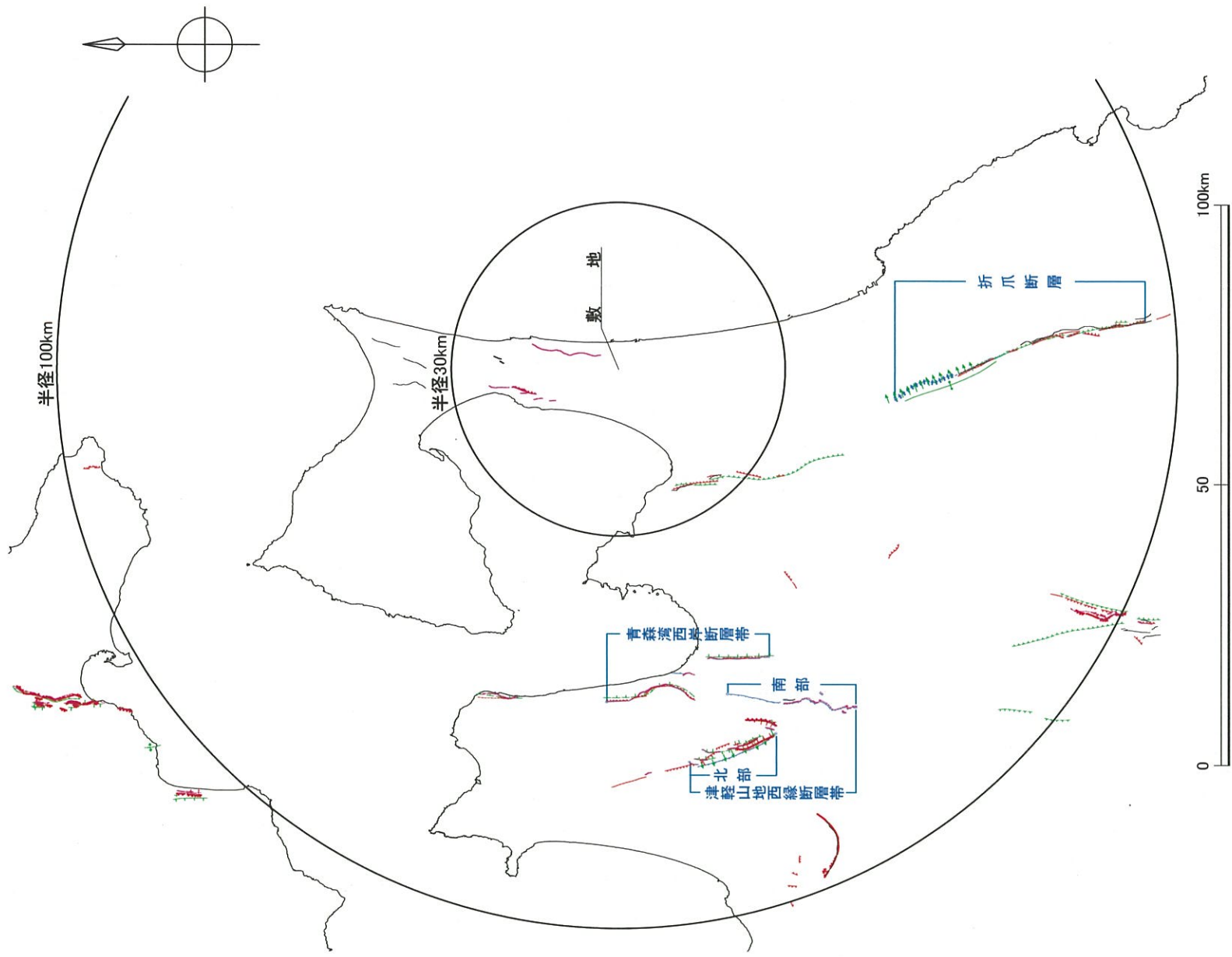
この地図は、国土地理院長の承認を得、同院長の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1445。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

添3-1口(口)第109図 松木川周辺の地質平面図



凡 例	
	第四系
	砂岩
	砂岩
	安山岩溶岩 (自破碎部を伴う)
	安山岩自破碎溶岩・凝灰角礫岩
	凝灰角礫岩
	砂質凝灰角礫岩
	凝灰質砂岩 (火山礫凝灰岩を含む)
	凝灰質砂岩 (円礫岩を含む)
	安山岩
	層理
	地層境界線・岩相境界線
	断層線
	砂子又層
	蒲野沢層
	貫入岩
	泊層

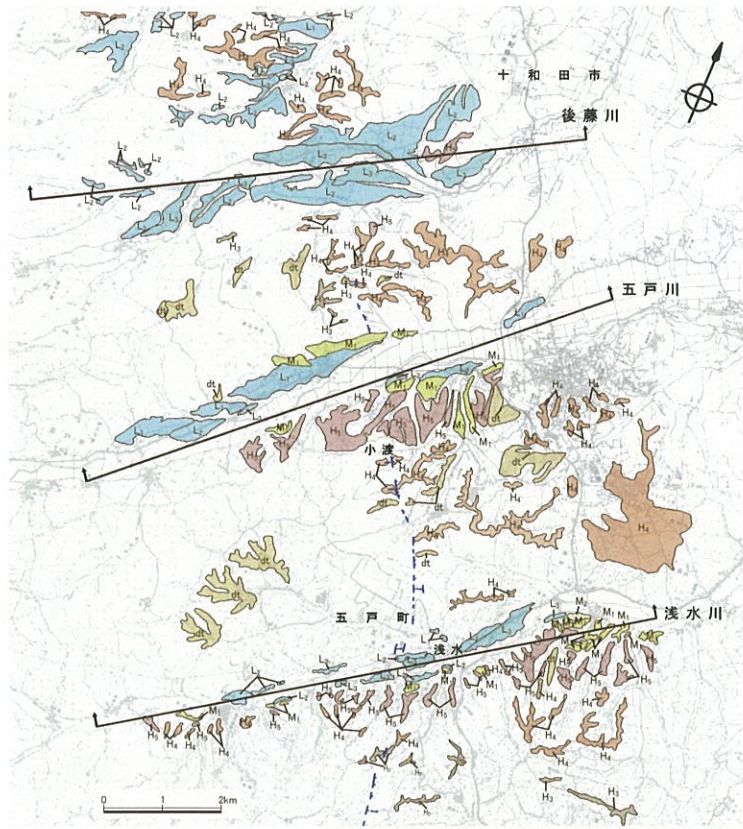
添3-ロ(口)第110図 桧木川周辺の地質断面図  
3-ロ-342



添3-1-ロ (ロ) 第111図 敷地を中心とする半径100km範囲の陸域の活断層分布図

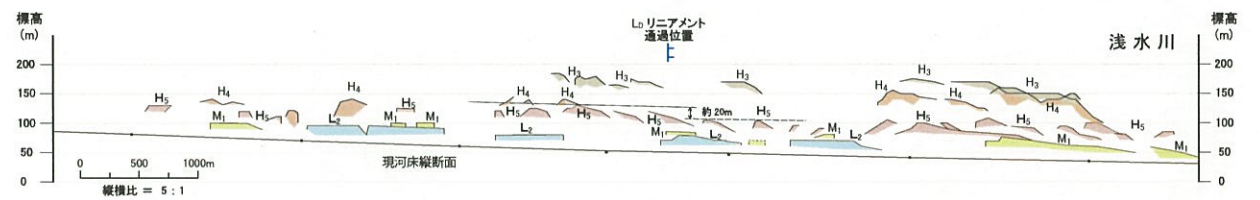
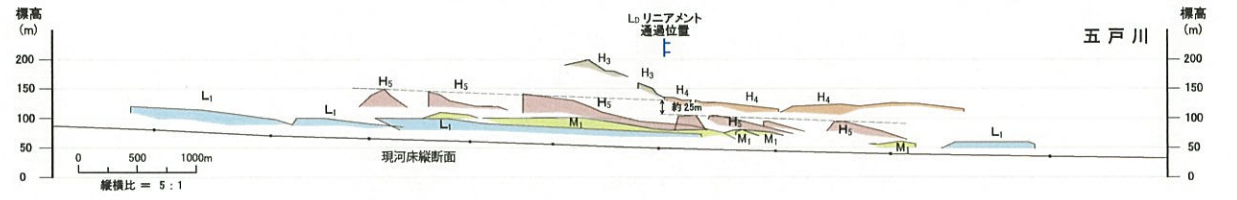
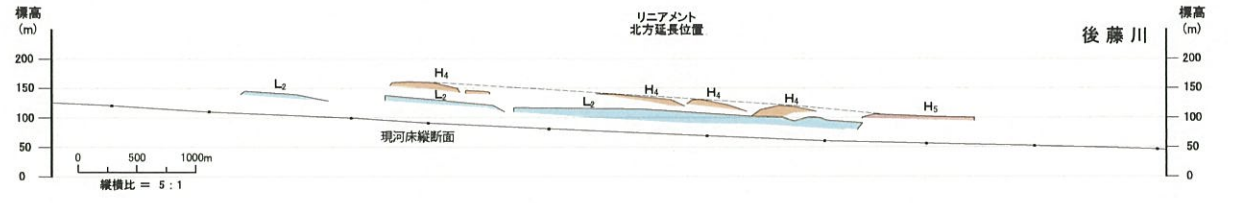






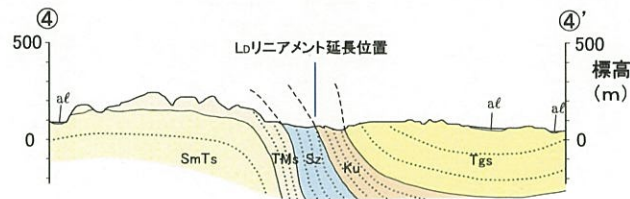
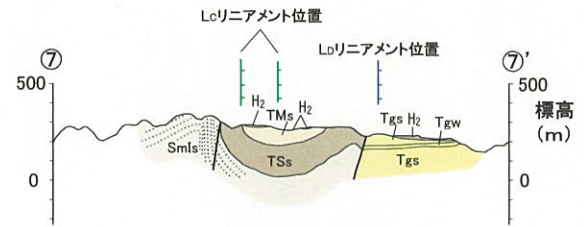
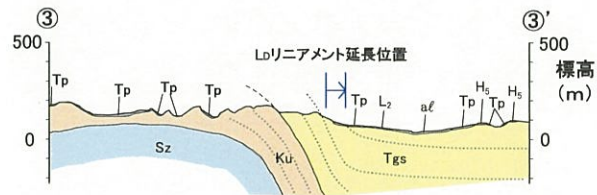
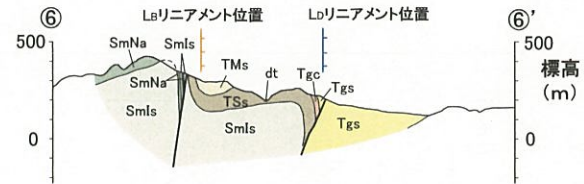
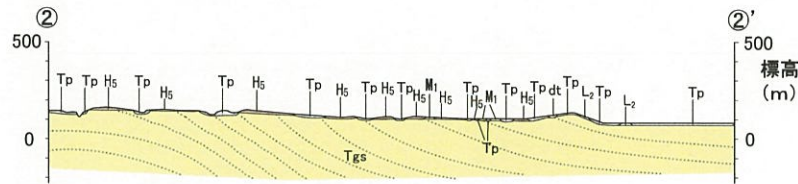
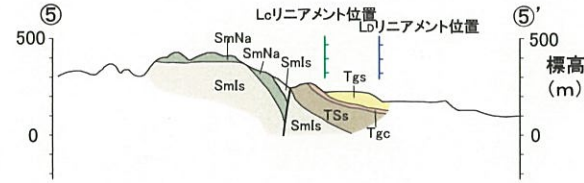
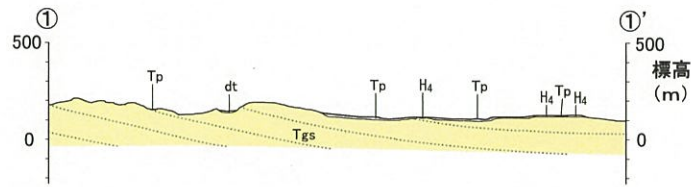
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1445、本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

変動地形に基づいた リニアメントの判断結果の凡例		地形区分凡例	
—	L <sub>A</sub> 変動地形である可能性が高い	dt	扇状地面
- - -	L <sub>B</sub> 変動地形である可能性がある	L <sub>3</sub>	低位面
---	L <sub>C</sub> 変動地形である可能性が低い	L <sub>2</sub>	
---	L <sub>D</sub> 変動地形である可能性は非常に低い	L <sub>1</sub>	
○	短線の方向は、低い地形の方向を示す。 ○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。	M <sub>3</sub>	中位面
⇓	段丘面上の急傾斜部。矢印の方向は傾斜方向を示す。	M <sub>2</sub>	
●	●本地域にL <sub>A</sub> リニアメントは判読されない。	M <sub>1</sub>	
		H <sub>5</sub>	高位面
		H <sub>4</sub>	
		H <sub>3</sub>	
		H <sub>2</sub>	
		↑	断面位置



添3-口(口)第113図 折爪断層北部の段丘面高度分布図  
3-口-345





0 1 2km  
縦横比=1:2

変動地形に基づいた  
リニアメントの判読結果の凡例

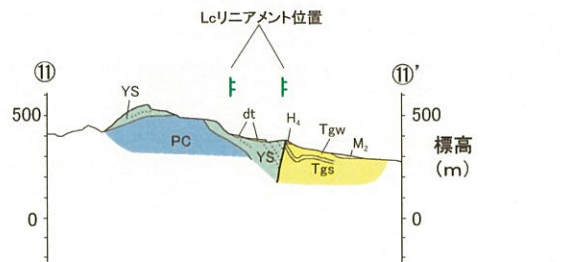
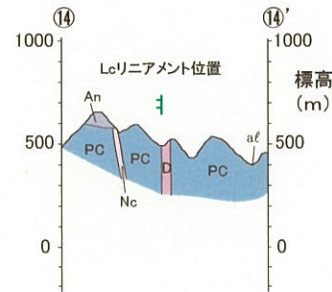
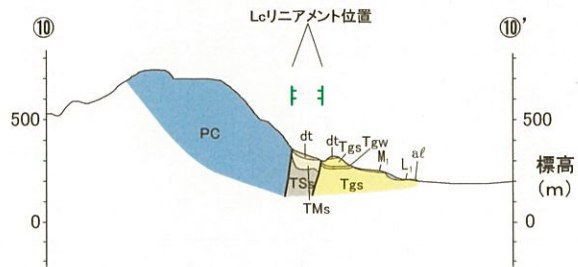
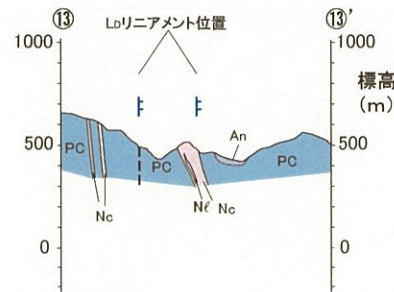
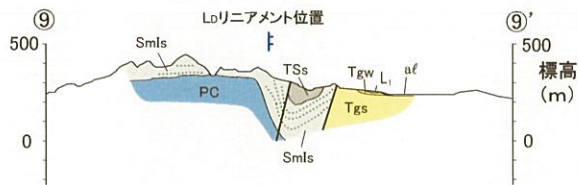
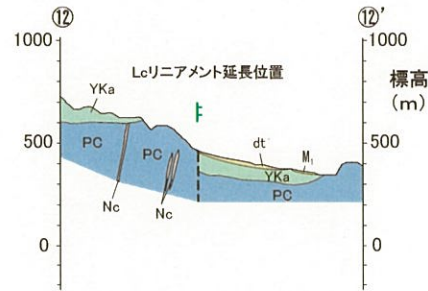
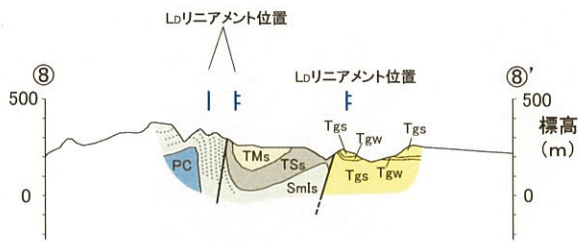
- LA 変動地形である可能性が高い
- LB 変動地形である可能性がある
- LC 変動地形である可能性が低い
- LD 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方向は、低い地形の方向を示す。  
○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

●本地域に、LAリニアメントは判読されない。

地質凡例		
地質時代	地層名	記号
完新世	沖積層	aL
	崖錐堆積層	dt
第四紀	十和田火山軽石流堆積物	Tp
	後期 低位段丘堆積層	L2
	中期 中位段丘堆積層	M1
	更新世 高位段丘堆積層	H5, H4, H2
中生代	斗川層	Tgs, Tgw, Tgc
	久保層	Ku
	舌崎層	Sz
	留崎層	TM, TS
第三紀	末ノ松山層	SmTs, SmNa, Smls
	高屋敷粗粒砂岩部層	SmTs
	名久井岳安山岩部層	SmNa
	五日町砂岩部層	Smls
	砂岩・泥岩・凝灰岩互層	
	凝灰岩	
	礫岩	
	地層境界線	——
	断層線(---部は推定)	——
	層理	.....

添3-ロ(ロ) 第115図(1) 折爪断層周辺の地質断面図  
3-ロ-347



### 地質凡例

地質時代	地層名	記号		
第四紀	完新世	沖積低地堆積層	aL	
		崖錐堆積層	dt	
	更新世	低位段丘堆積層	L1	
		中位段丘堆積層	M2	
	中生代	中期	高位段丘堆積層	H1
		鮮新世	斗川層	Tgs, Tgw
新第三紀	中新世	留崎層	TMs, TSs	
		末ノ松山層	Sms, YKa	
	中新世	四ツ役層	YS	
		中・古生層	PC	
	中・古生代		Nc, Nf	チャート 石灰岩
		An, D	安山岩 貫入岩	

年代不詳

— 地層境界線  
 — 断層線(--- 部は推定)  
 ..... 層理

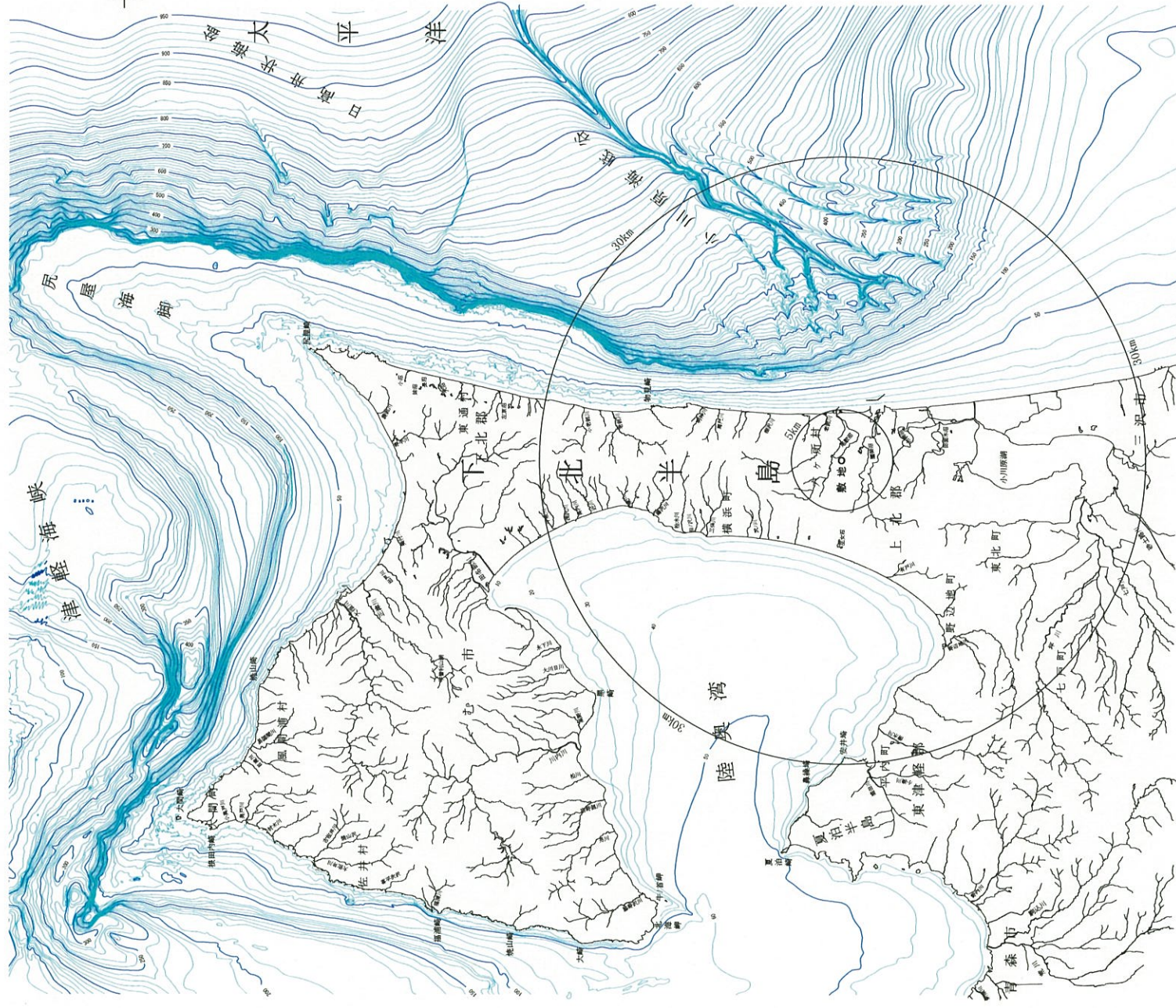
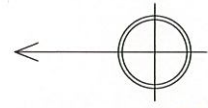
### 変動地形に基づいた リニアメントの判読結果の凡例

L<sub>A</sub> 変動地形である可能性が高い  
 L<sub>B</sub> 変動地形である可能性がある  
 L<sub>C</sub> 変動地形である可能性が低い  
 L<sub>D</sub> 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方向は、低い地形の方向を示す。  
 ○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

●本地域に、L<sub>A</sub>及びL<sub>B</sub>リニアメントは判読されない。

0 1 2km  
縦横比=1:2

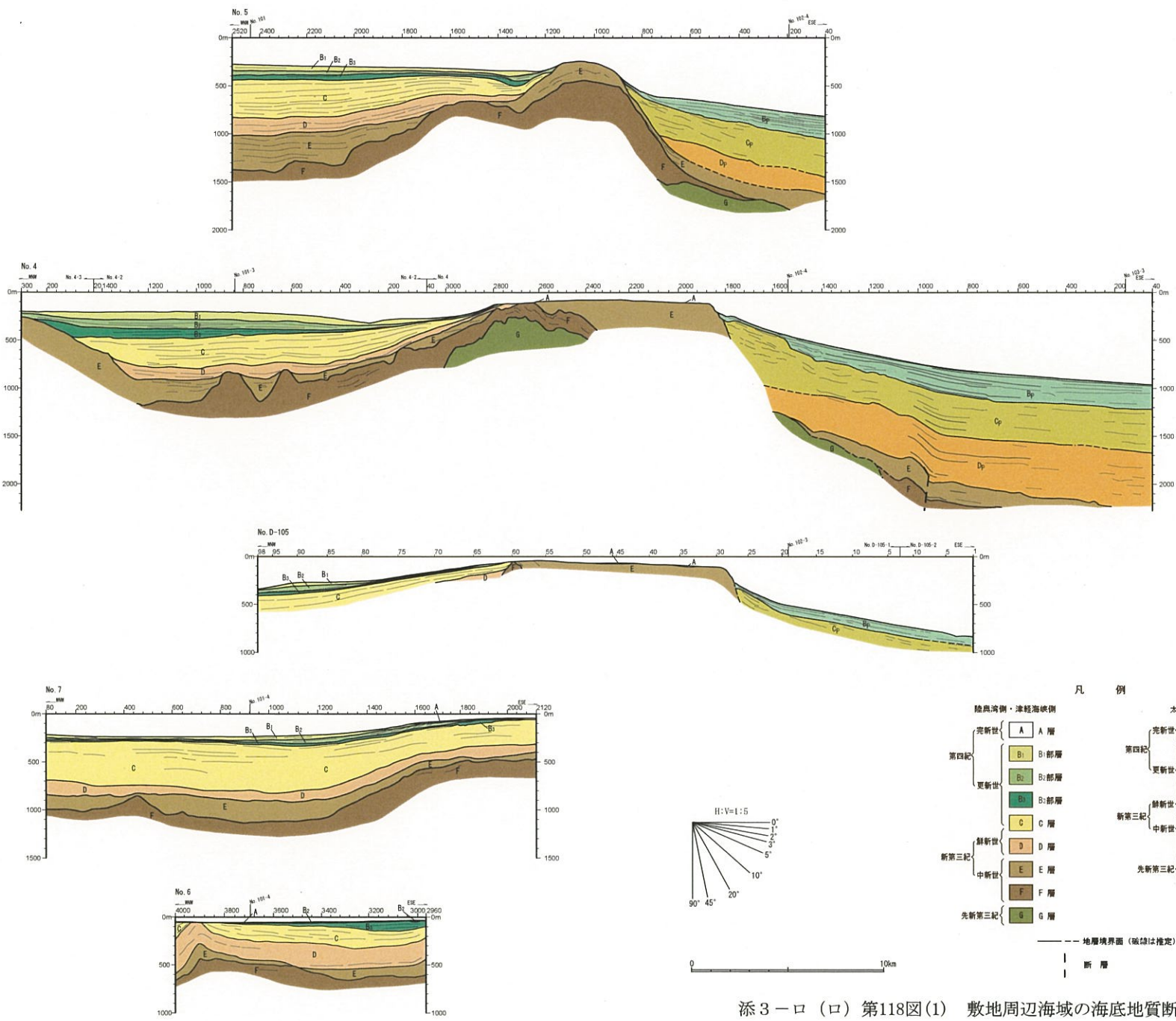


一部 海上保安庁刊行沿岸の海の基本図「萬山嶼」  
「尻屋崎」，「むつ小川原」，国土地理院刊行沿岸域  
広域土地条件図「陸奥湾」等から編纂したものである。



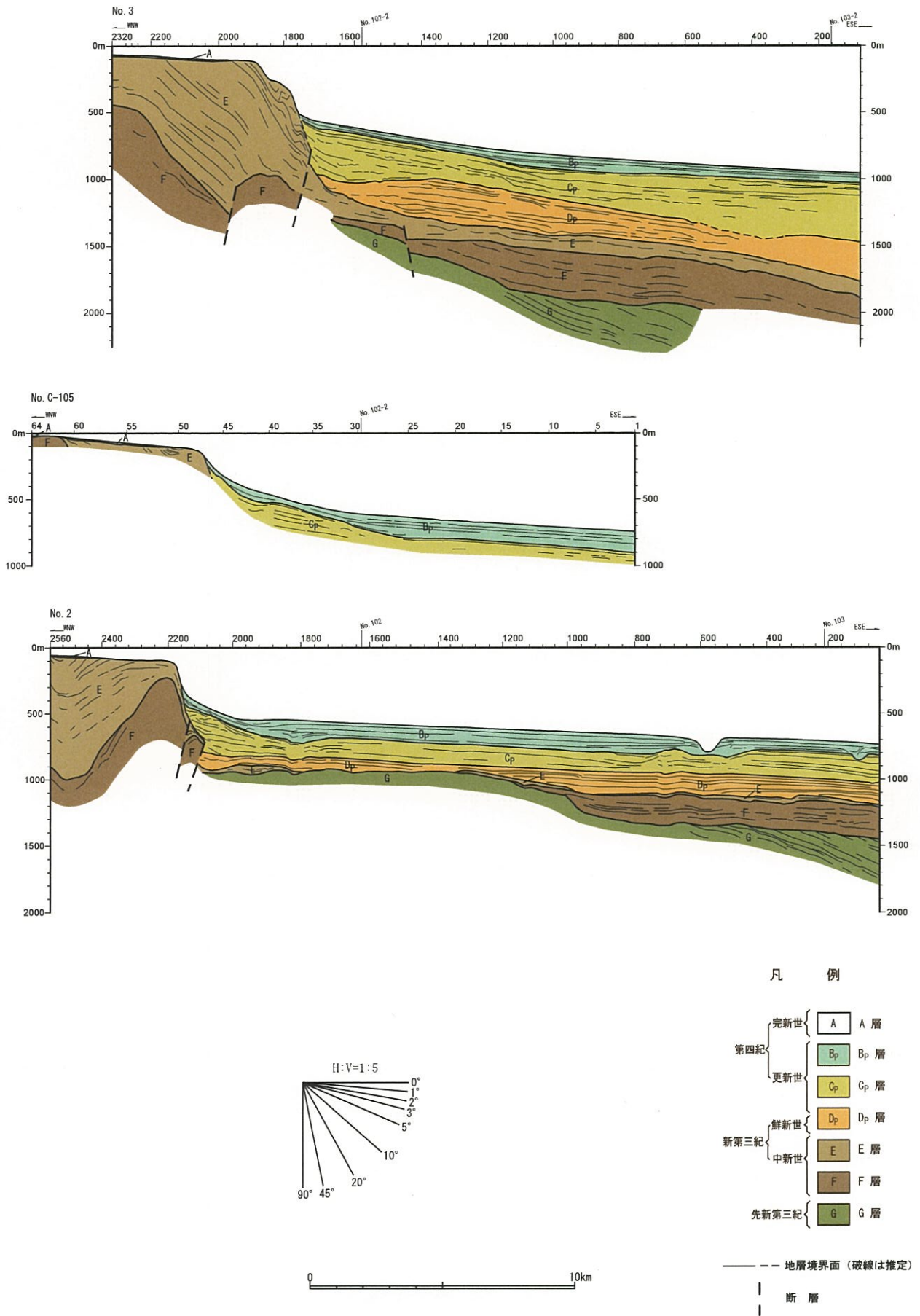
添3-1口(口) 第1116図 敷地周辺海域の地形図



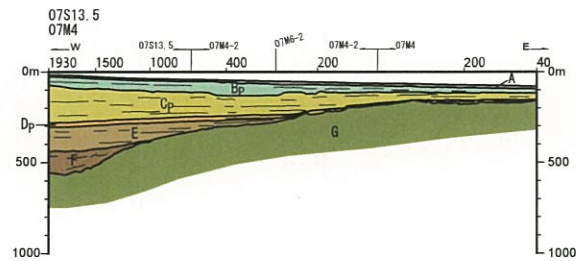
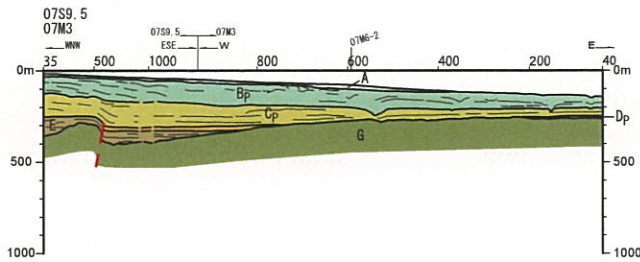
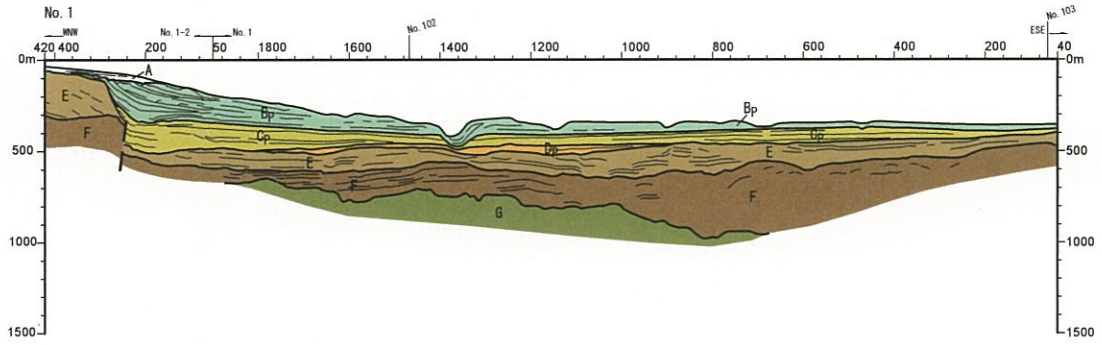
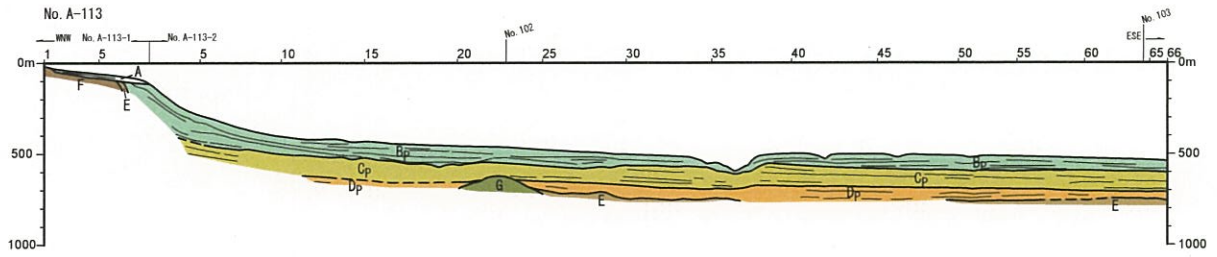


添3-口(口)第118図(1) 敷地周辺海域の海底地質断面図





添3-口(口)第118図(2) 敷地周辺海域の海底地質断面図



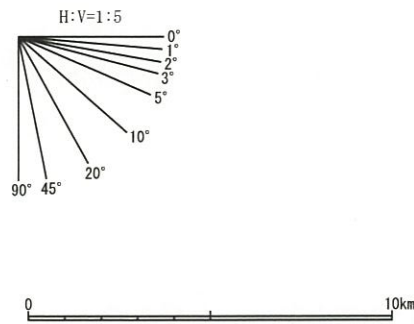
凡 例

- 完新世 { A 層
- 第四紀 { Bp 層
- 更新世 { Cp 層
- 鮮新世 { Dp 層
- 新第三紀 { E 層
- 中新世 { F 層
- 先新第三紀 { G 層

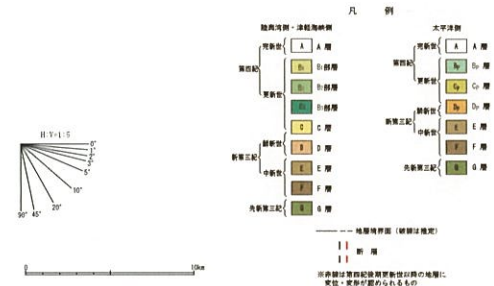
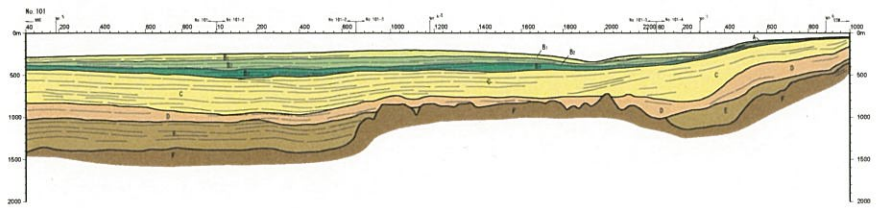
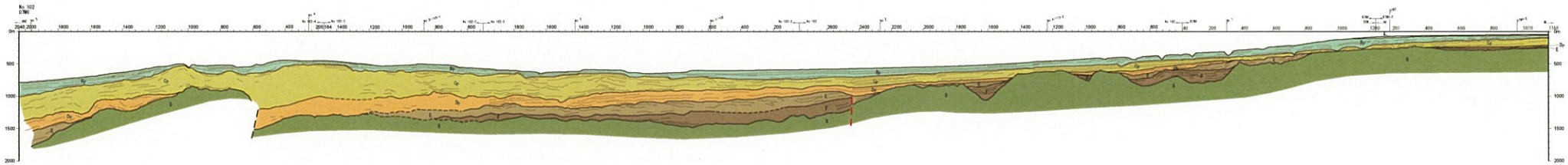
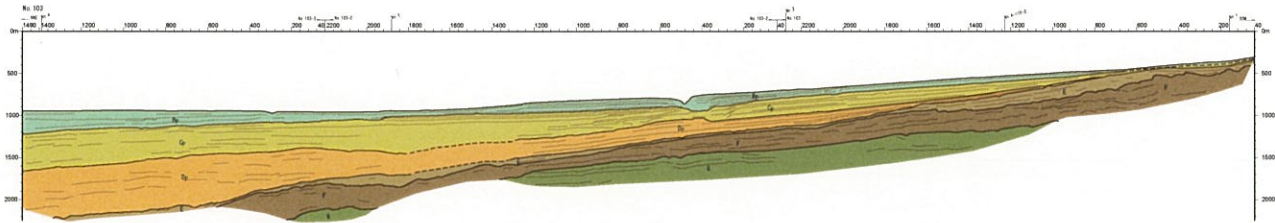
--- 地層境界面 (破線は推定)

|| 断層

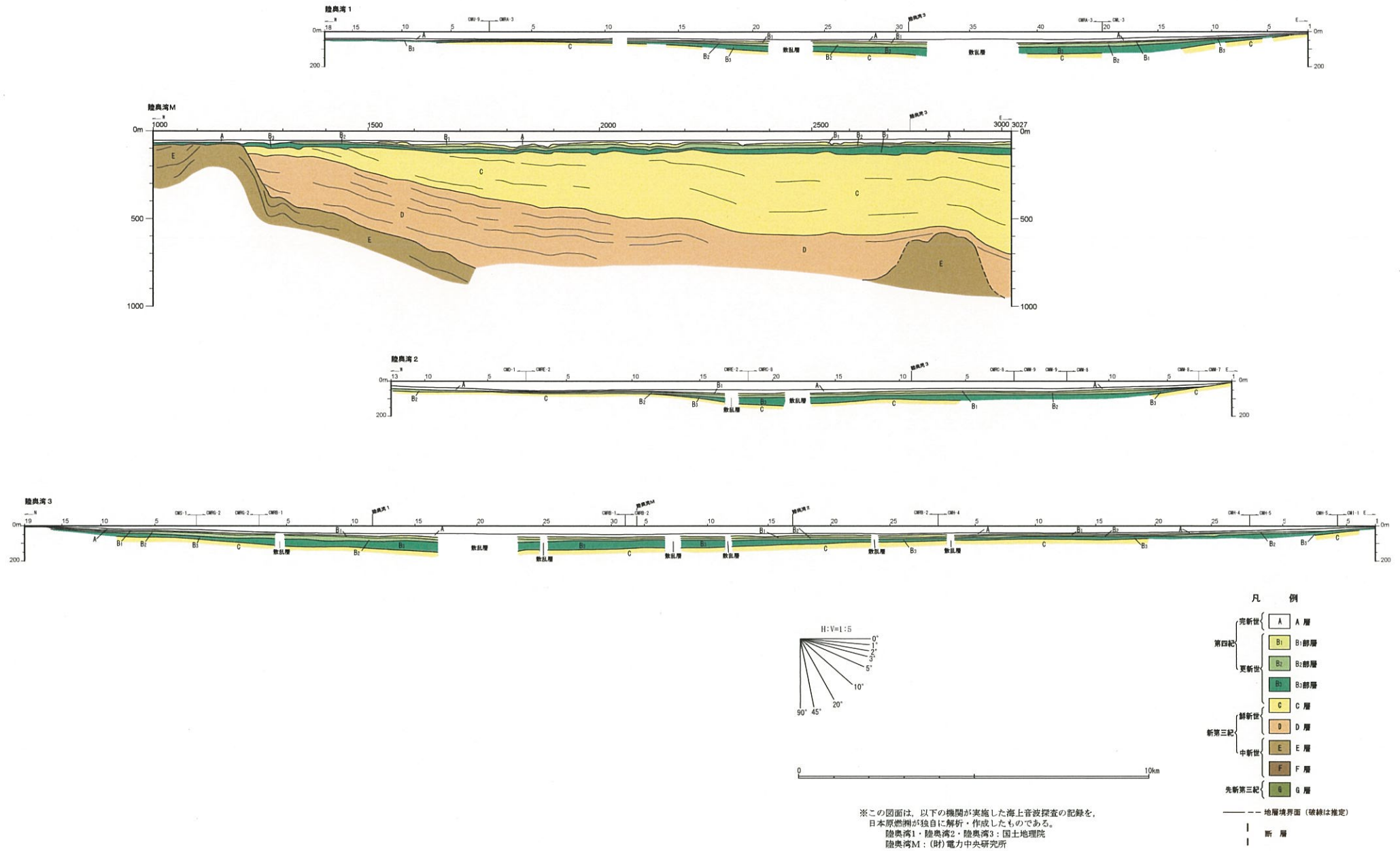
※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの



添3-口 (口) 第118図(3) 敷地周辺海域の海底地質断面図

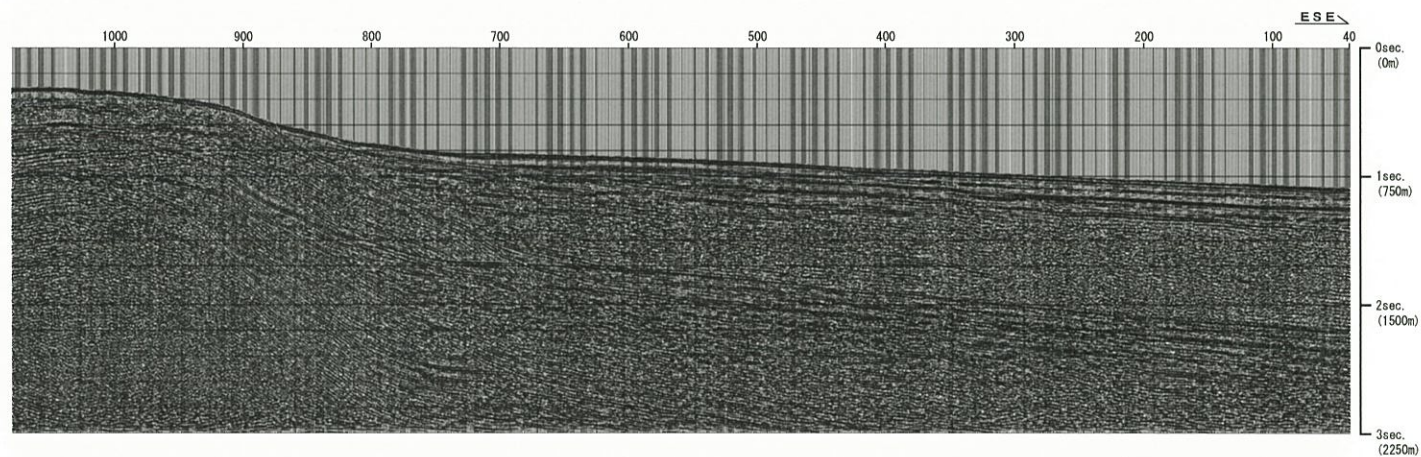
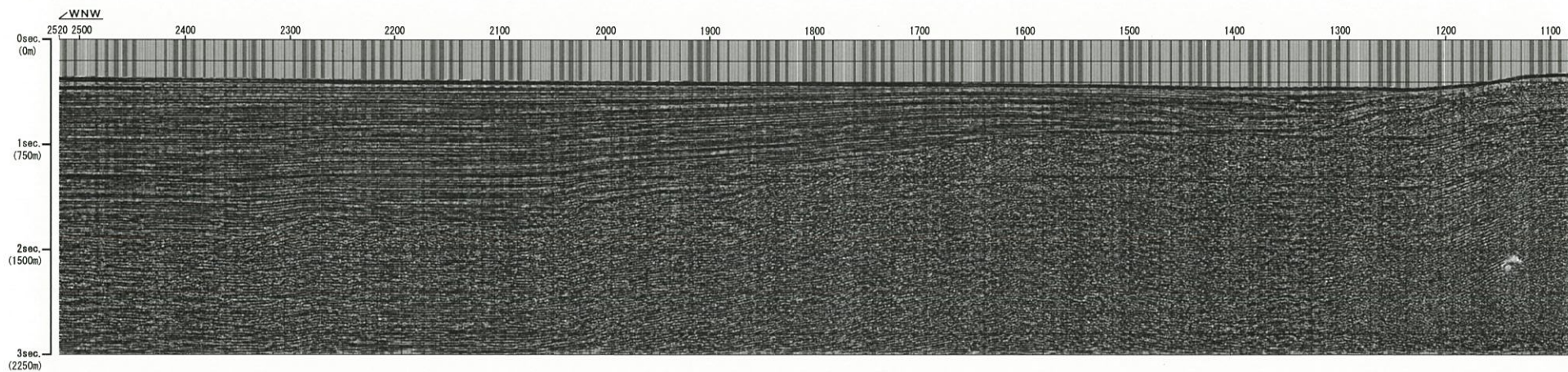


添3-ロ(口)第118図(4) 敷地周辺海域の海底地質断面図



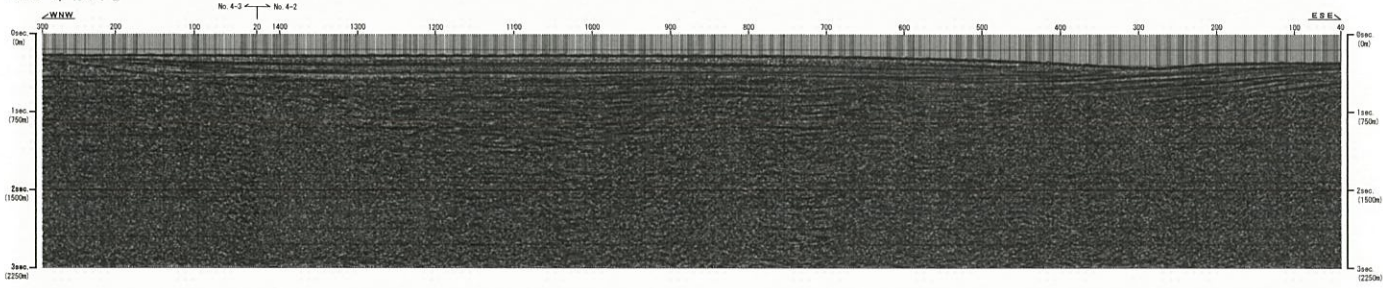
添3-ロ(ロ)第118図(5) 敷地周辺海域の海底地質断面図

No. 5

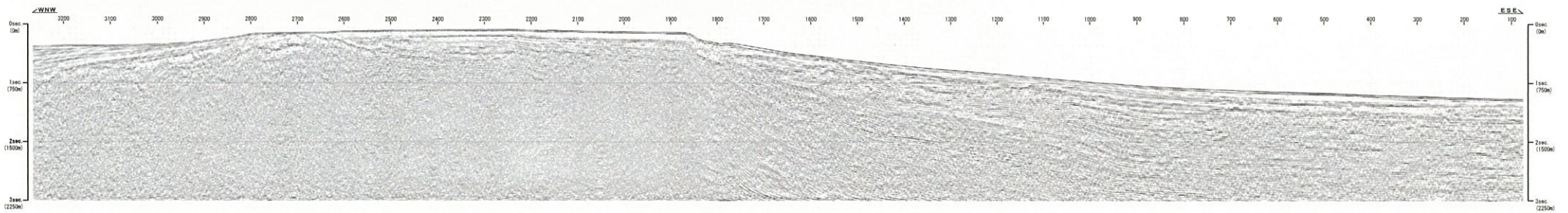


添3-ロ(口)第119図(1) 敷地周辺海域の音波探査記録

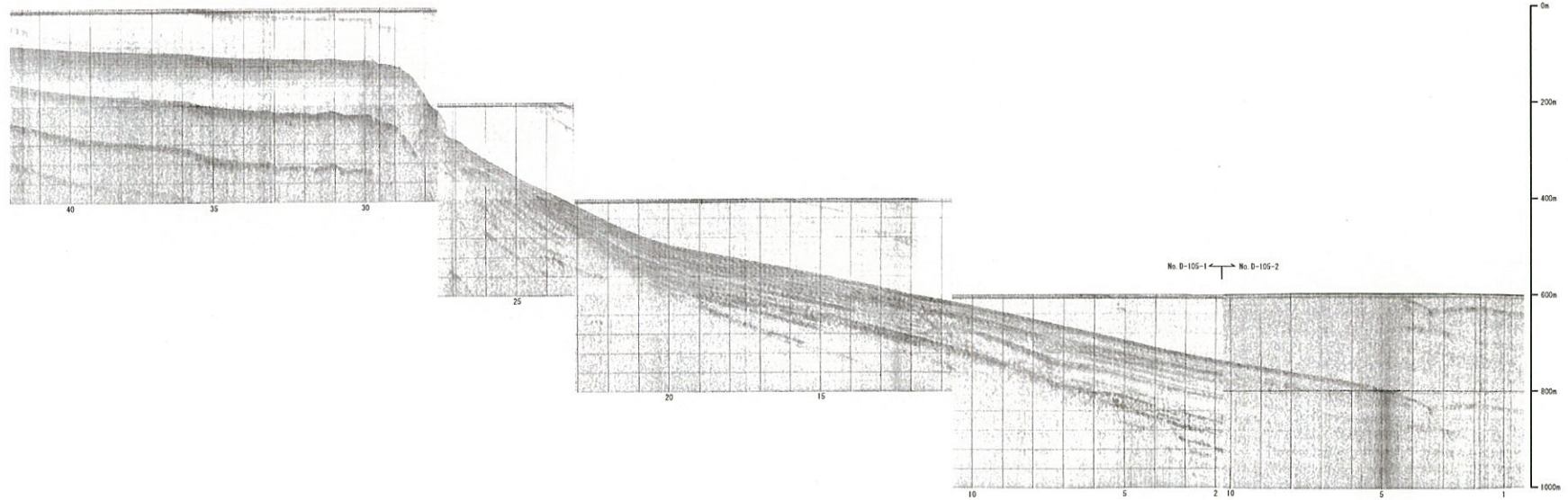
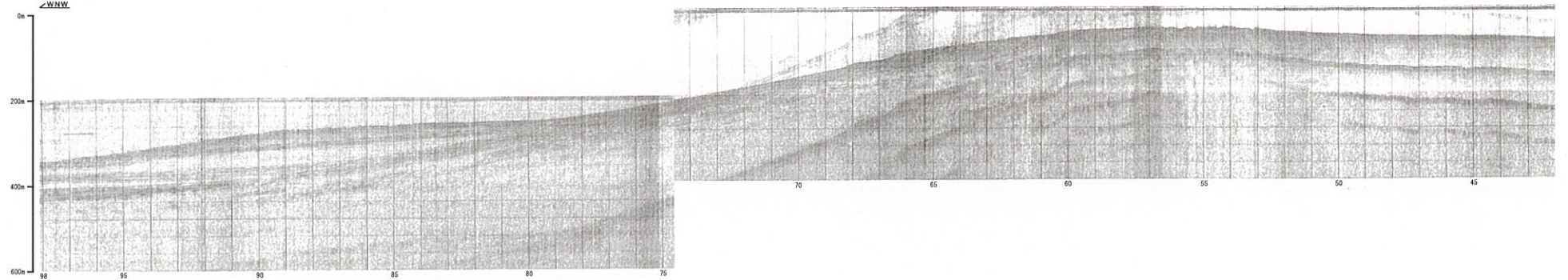
No. 4-3, No. 4-2



No. 4

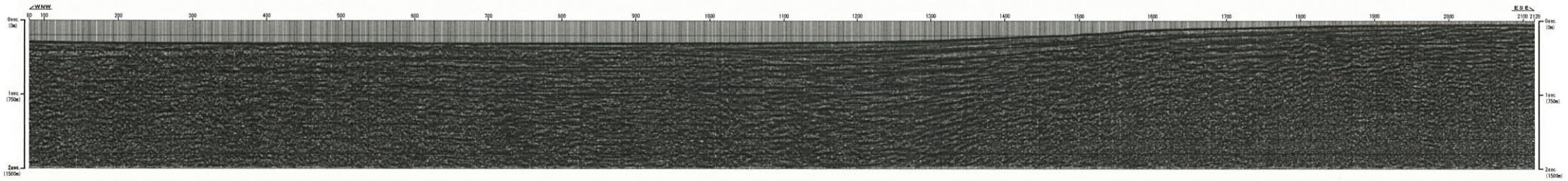


No. D-105

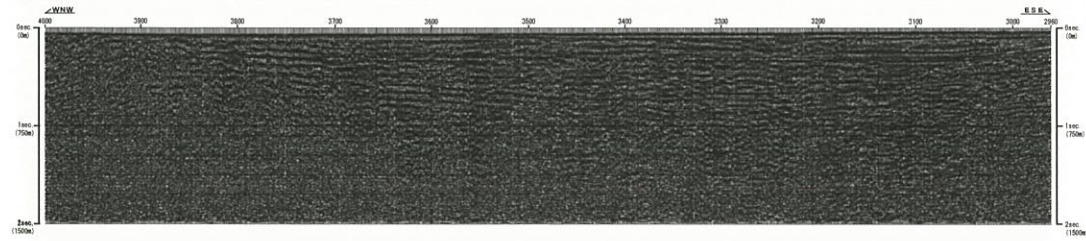


添3-ロ(ロ)第119図(3) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 7

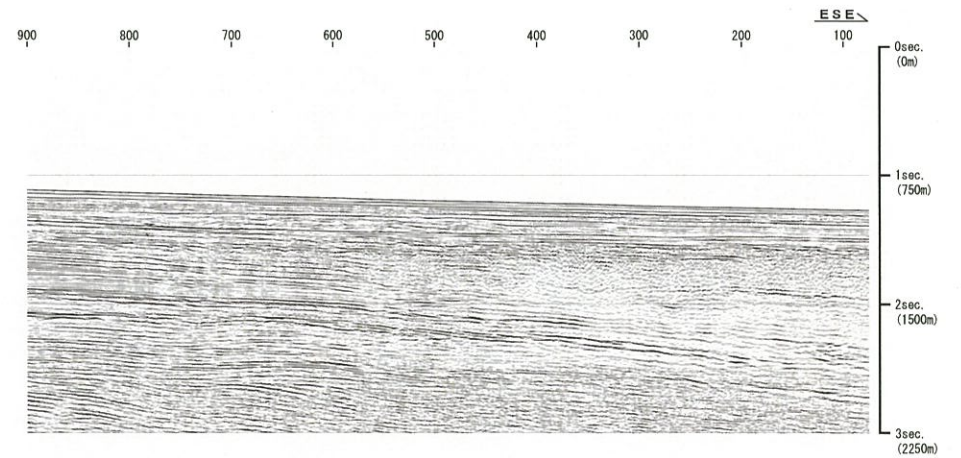
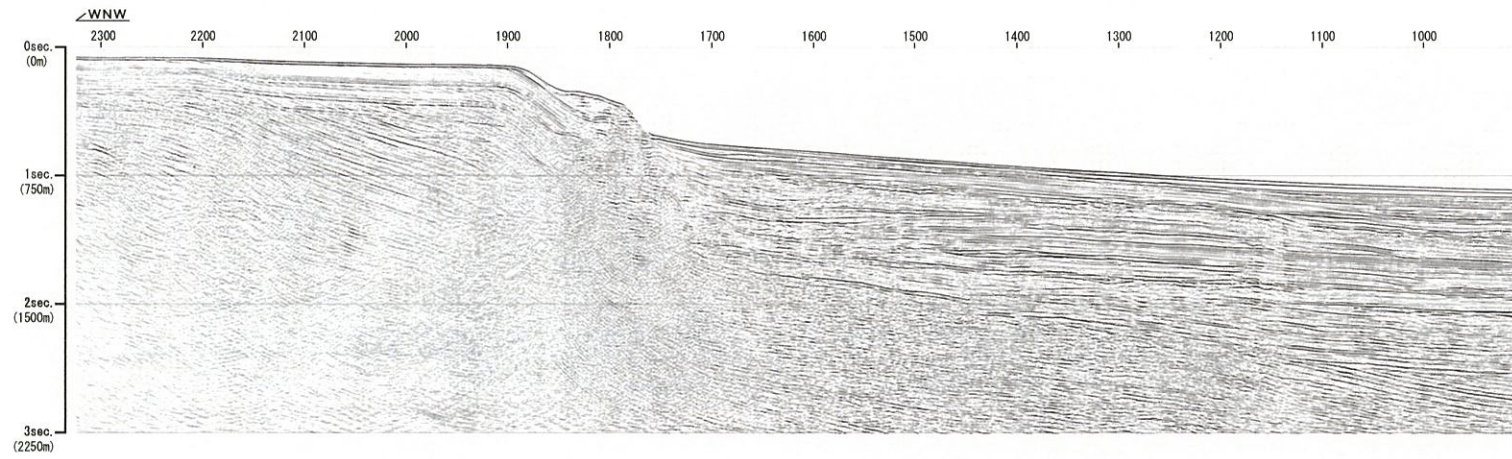


No. 6



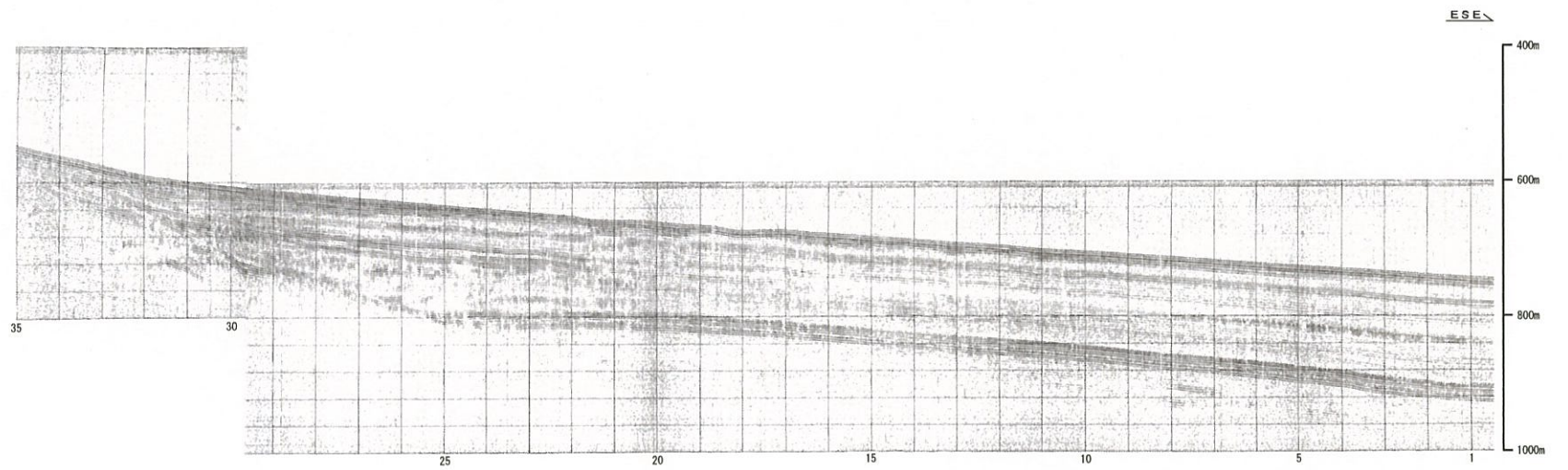
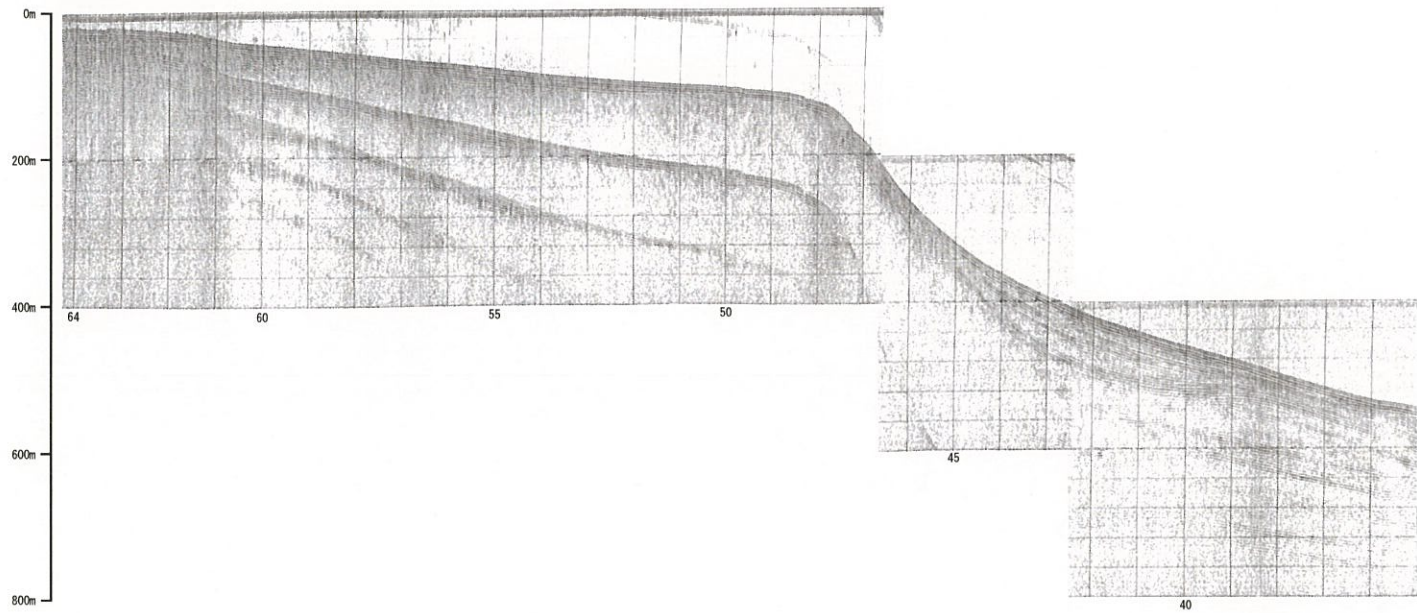


No. 3



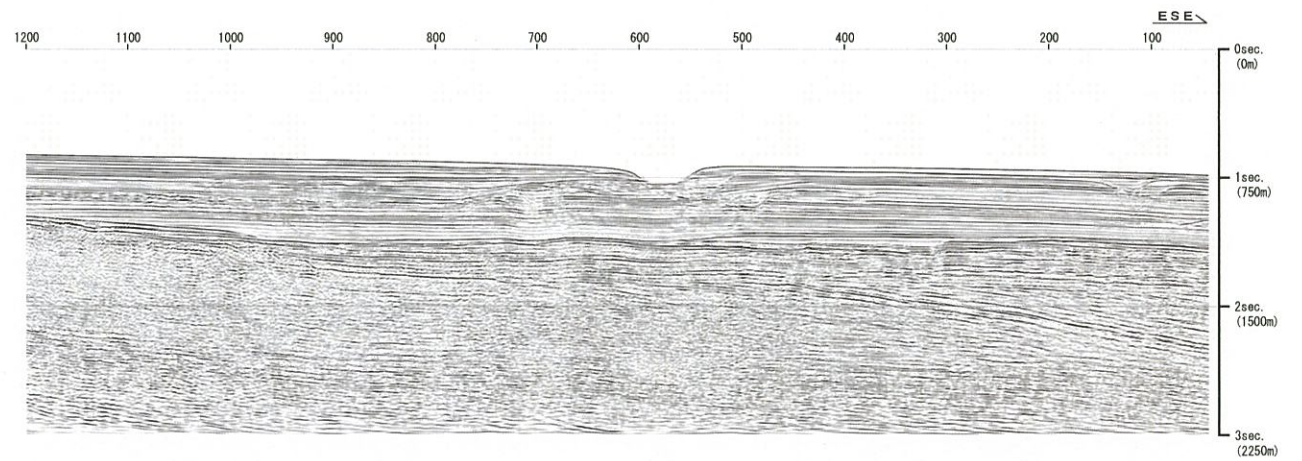
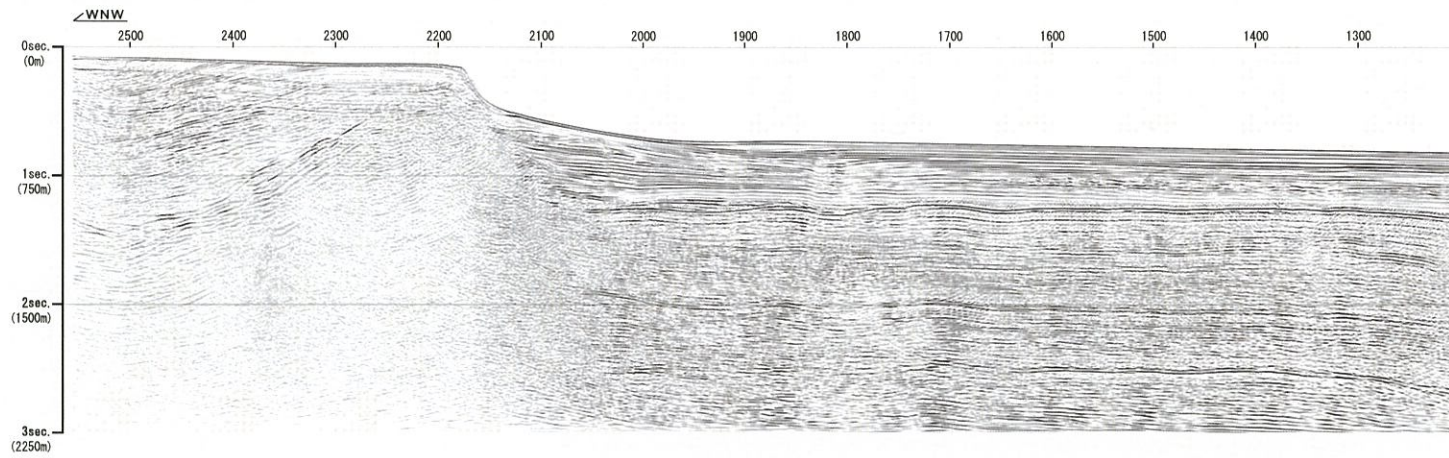
添3-ロ(ロ)第119図(5) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. C-105  
WNW



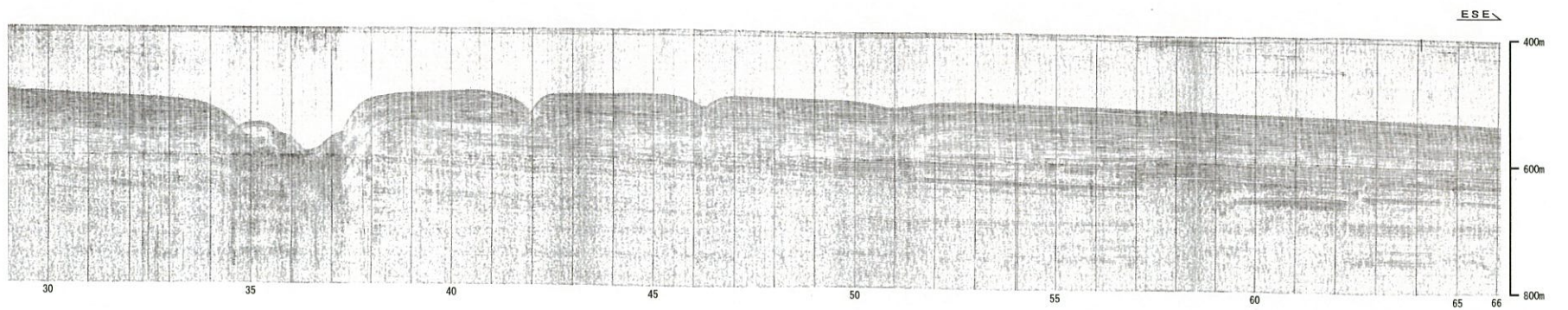
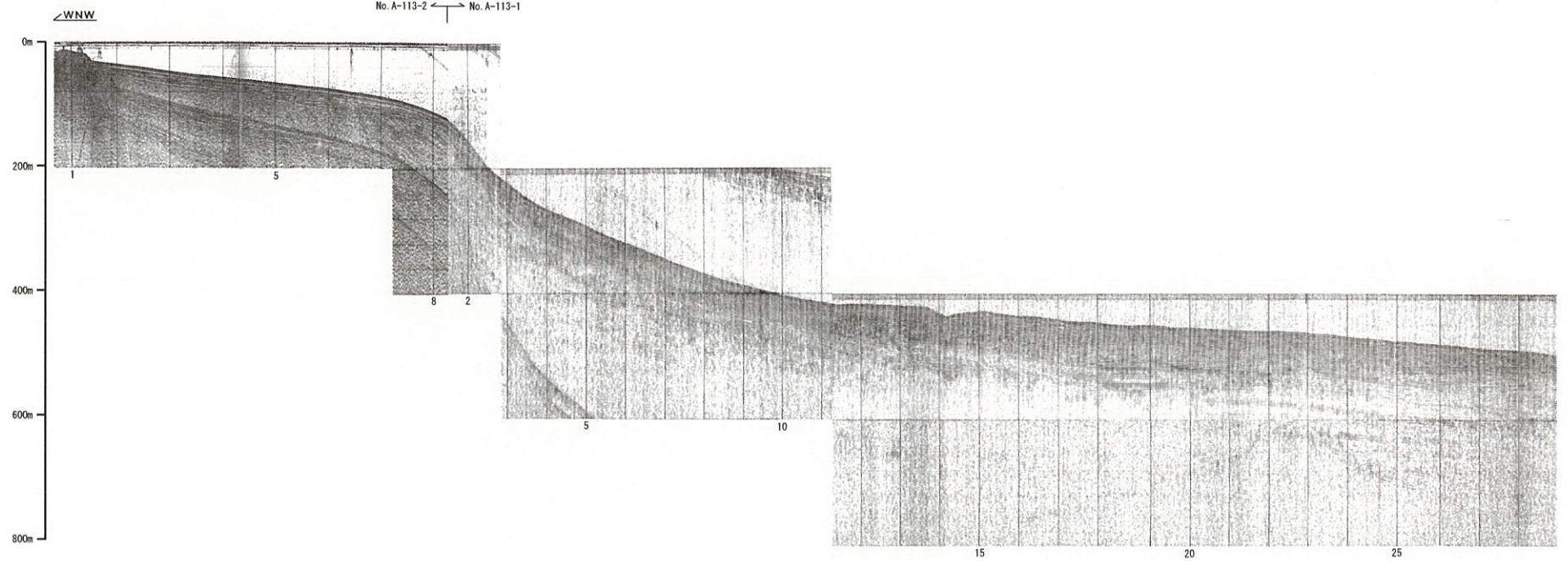
添3-ロ(ロ)第119図(6) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 2



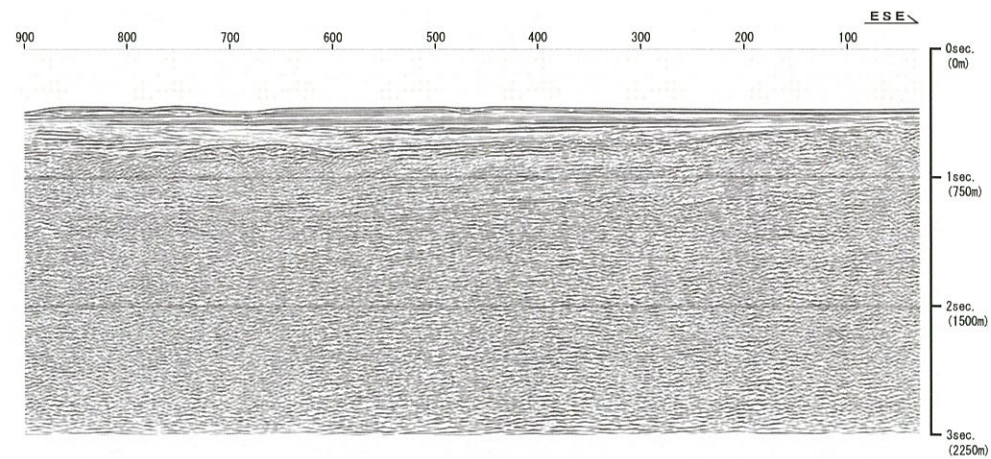
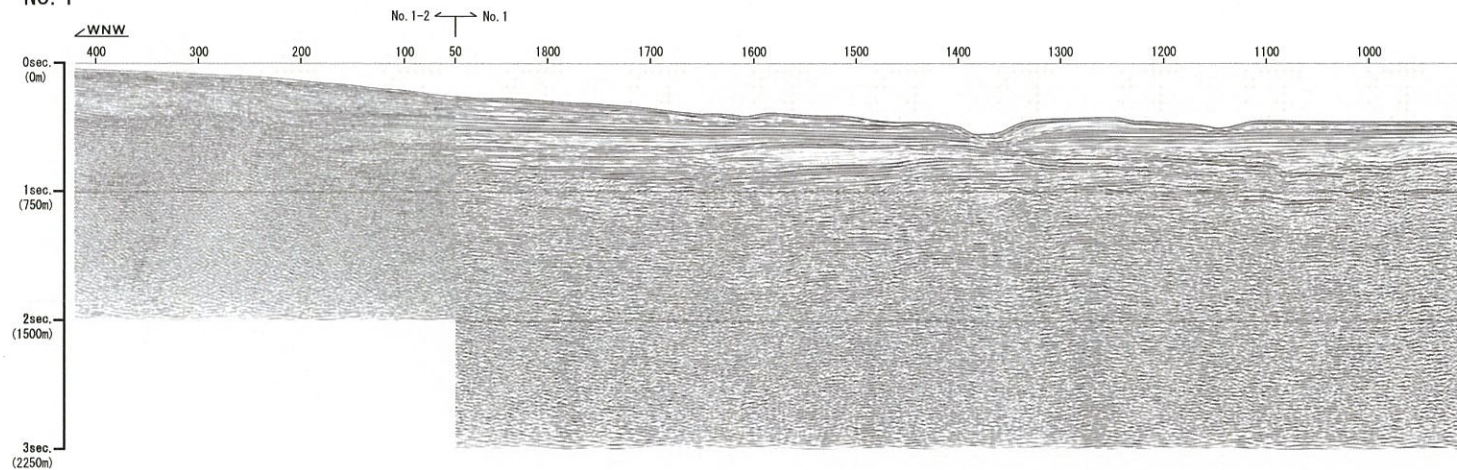
添3-ロ (ロ) 第119図(7) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. A-113



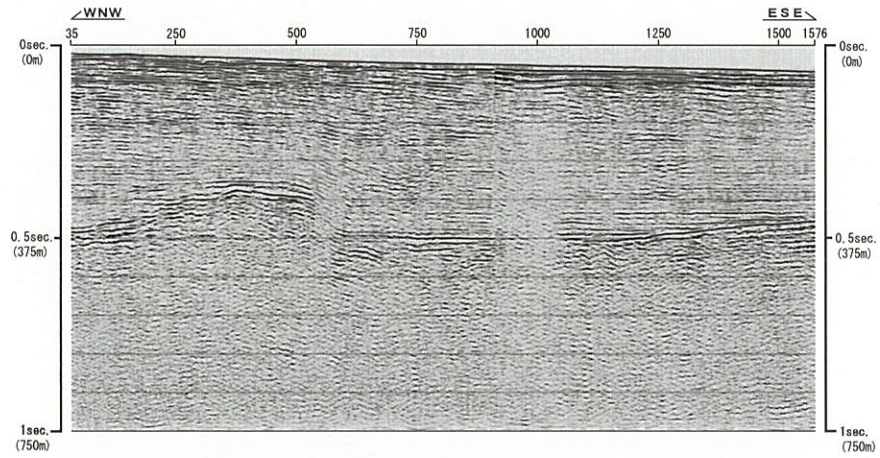
添3-ロ(口)第119図(8) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 1

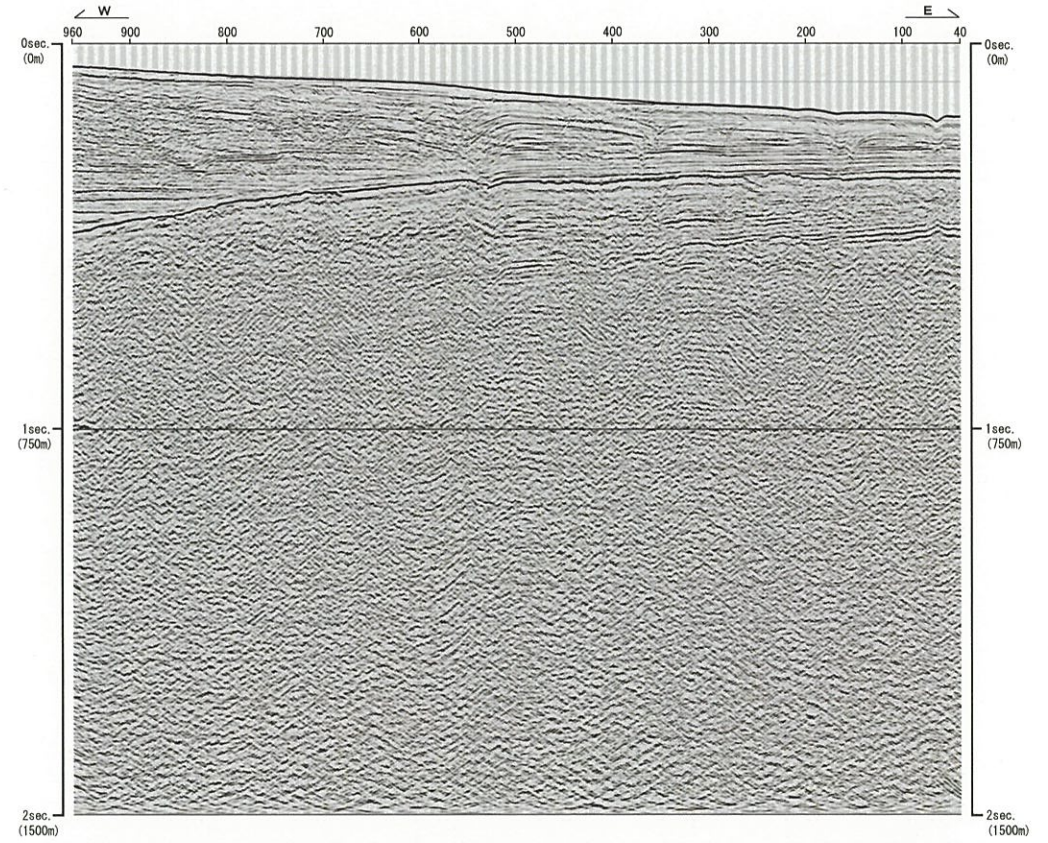


添3-ロ(口) 第119図(9) 敷地周辺海域の音波探査記録

07S9.5

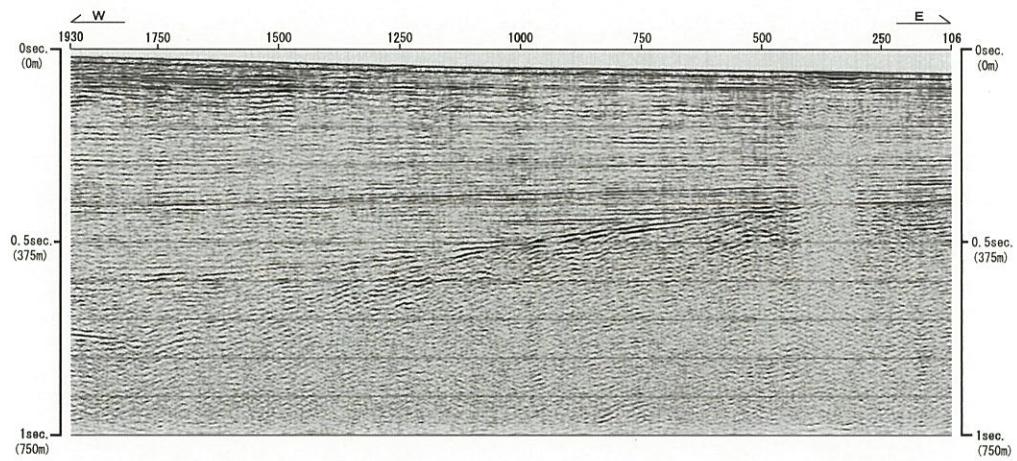


07M3

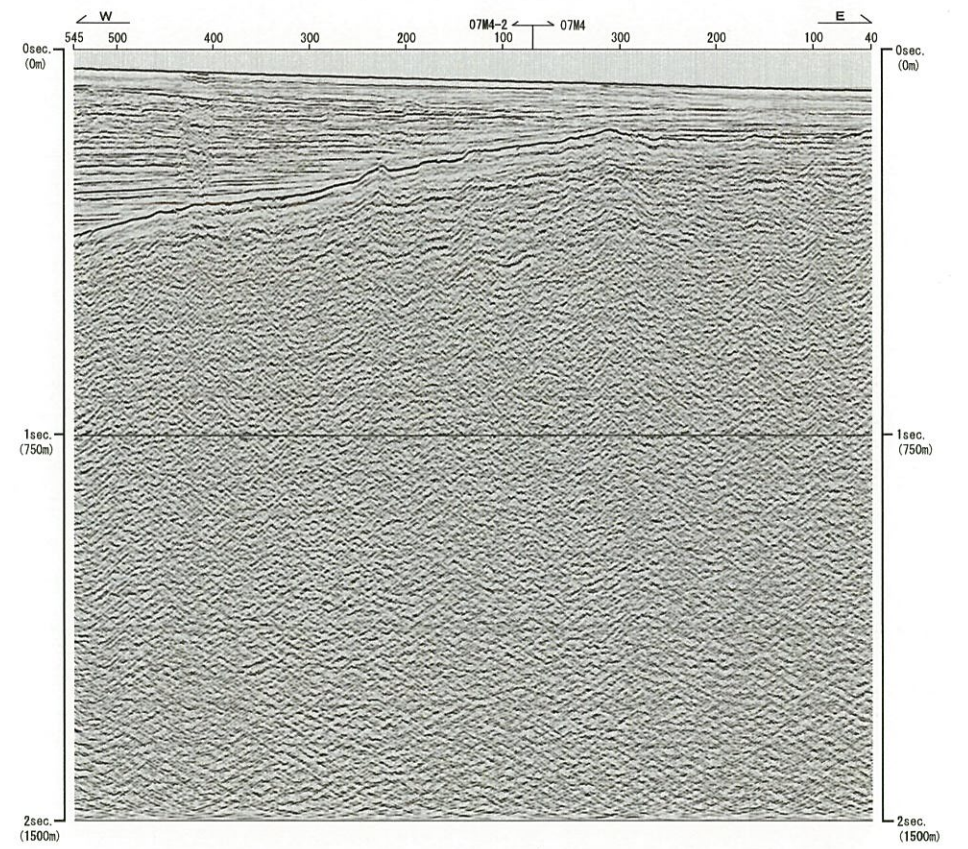


添3-ロ(口)第119図(10) 敷地周辺海域の音波探査記録

07S13.5

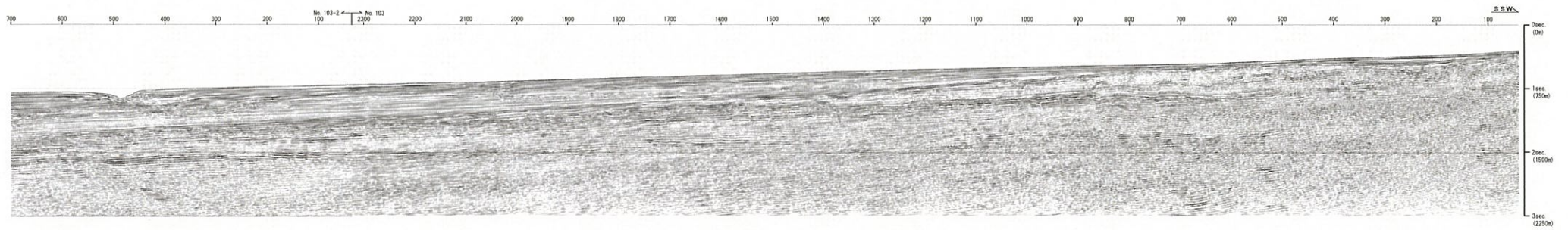
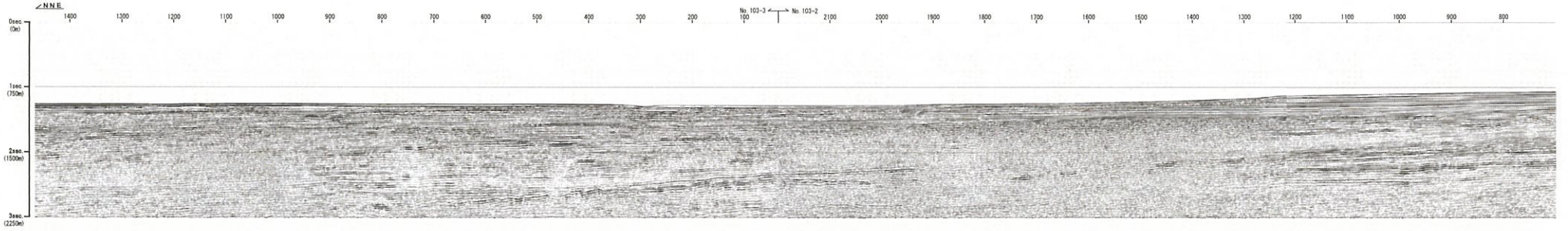


07M4



添3-ロ(ロ)第119図(11) 敷地周辺海域の音波探査記録

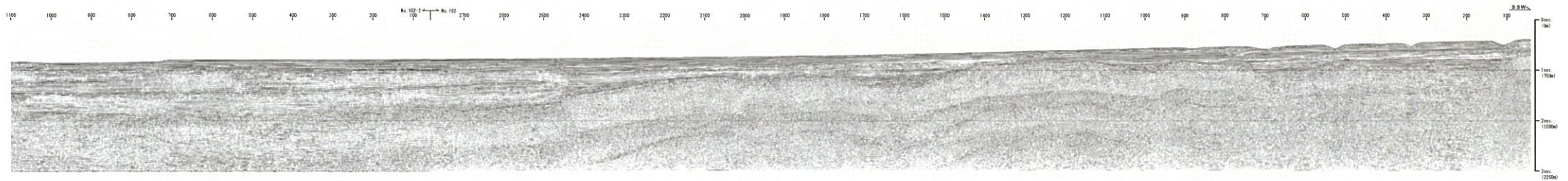
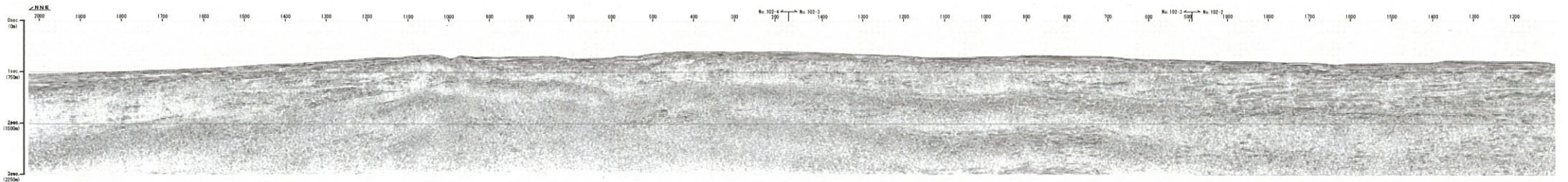
No. 103



添3-ロ(ロ)第119図(12) 敷地周辺海域の音波探査記録

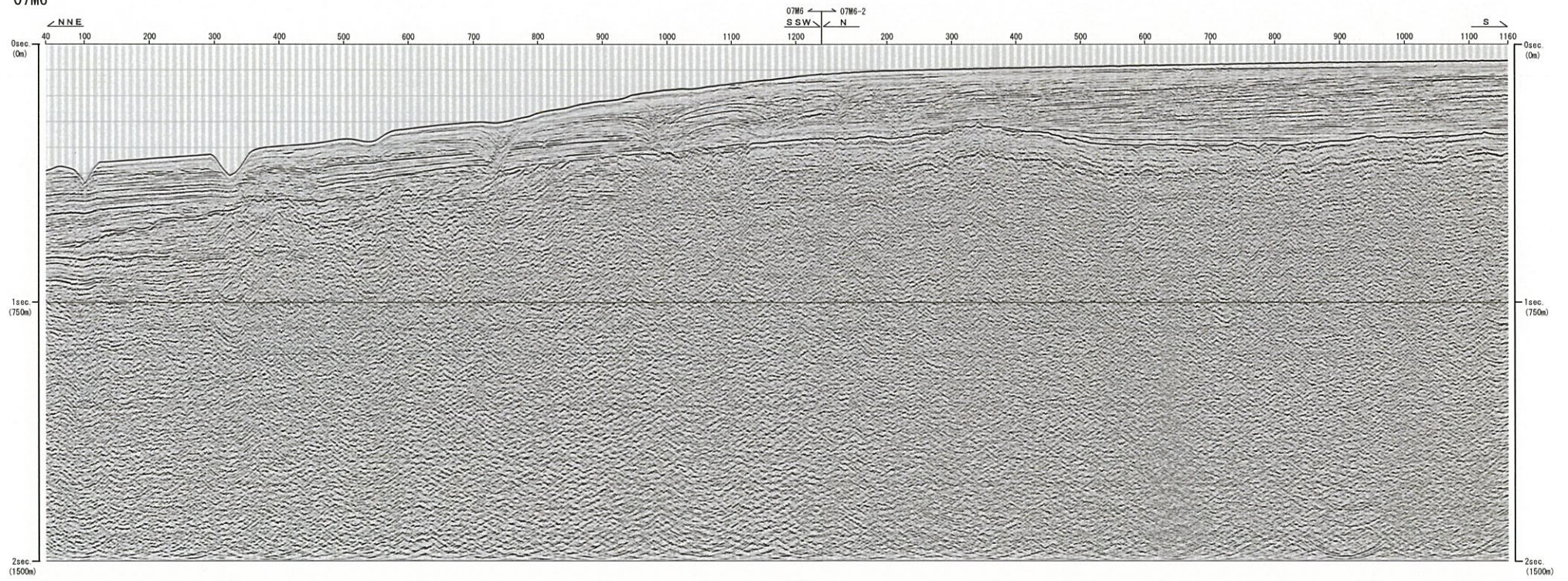


No. 102



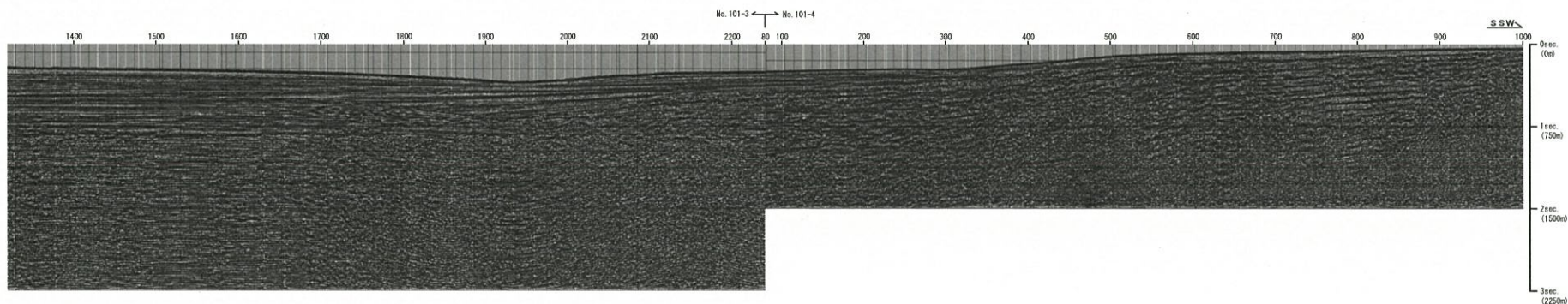
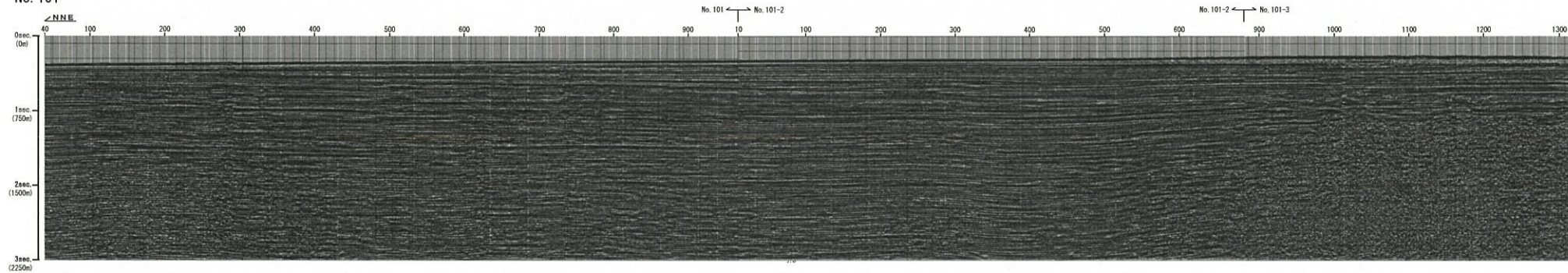
添3-ロ(ロ) 第119図(13) 敷地周辺海域の音波探査記録

07M6



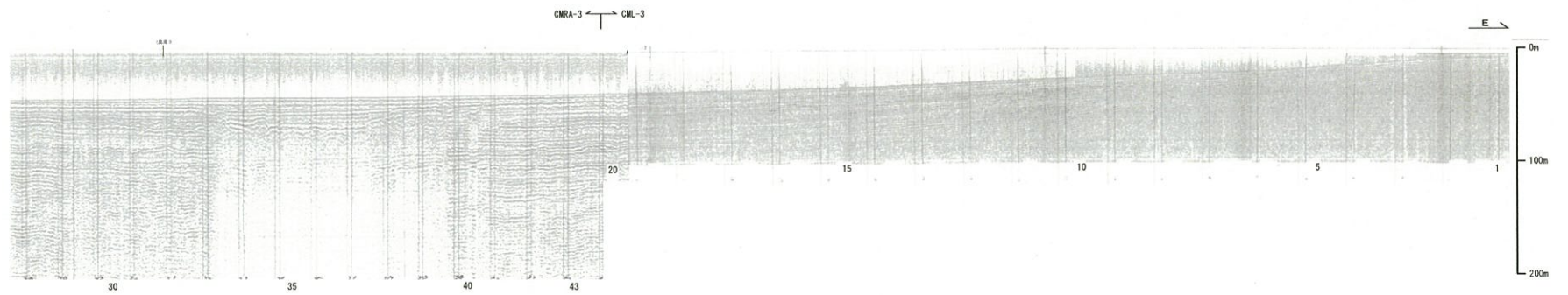
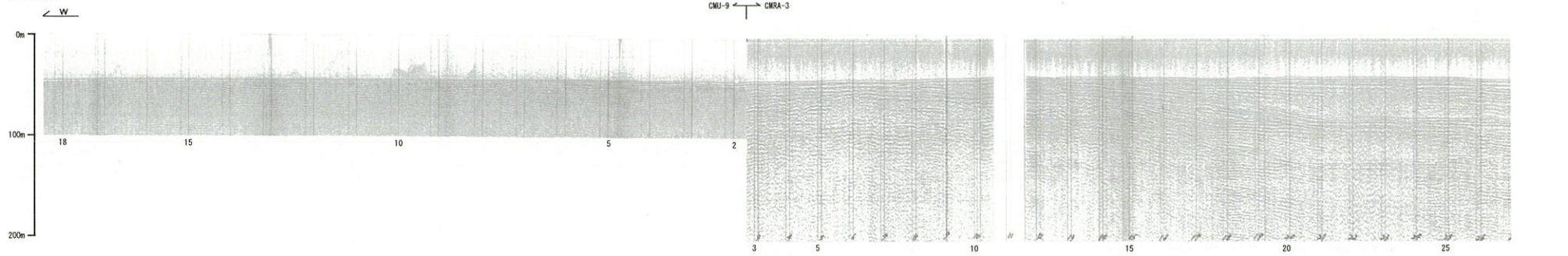
添3-ロ(ロ)第119図(14) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 101



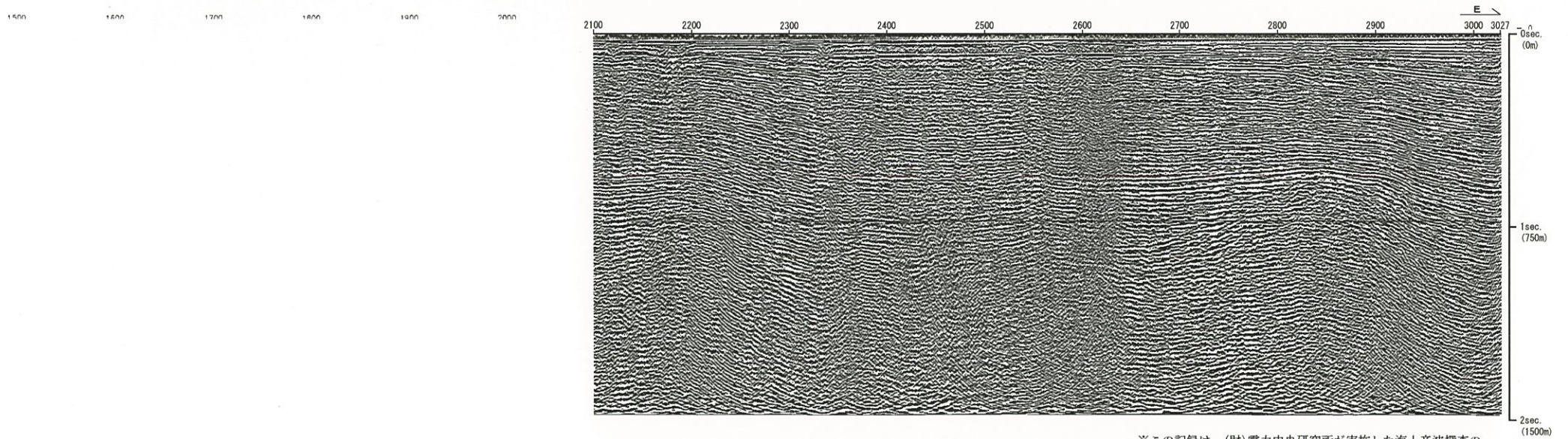
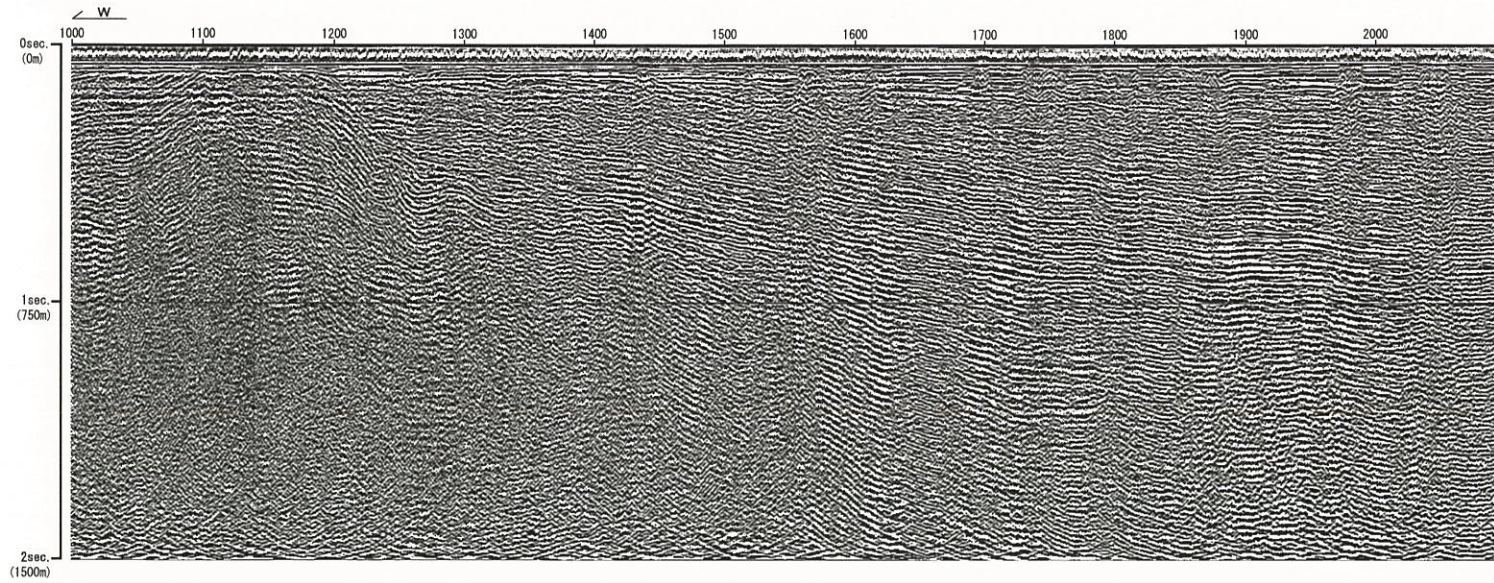
添3-ロ(口)第119図(15) 敷地周辺海域の音波探査記録

陸奥湾1



※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃網が独自に編集したものである。

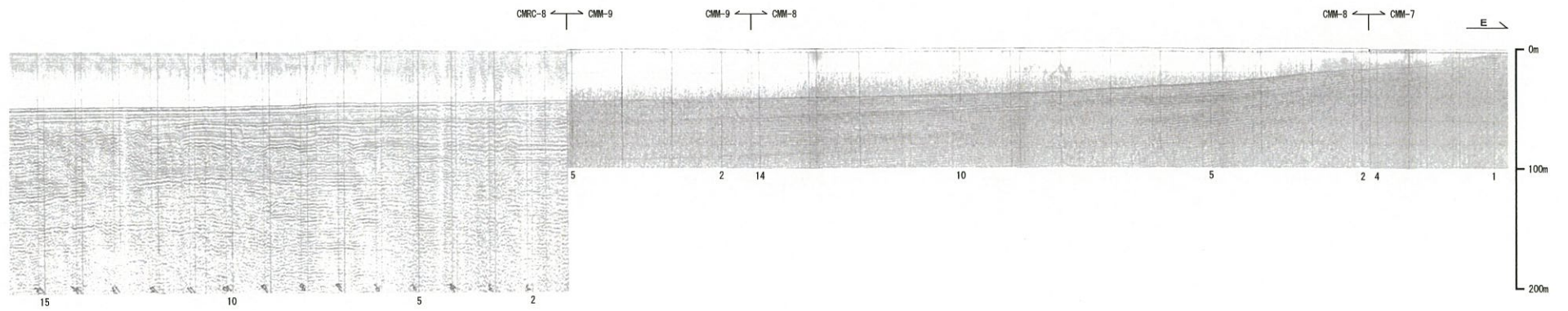
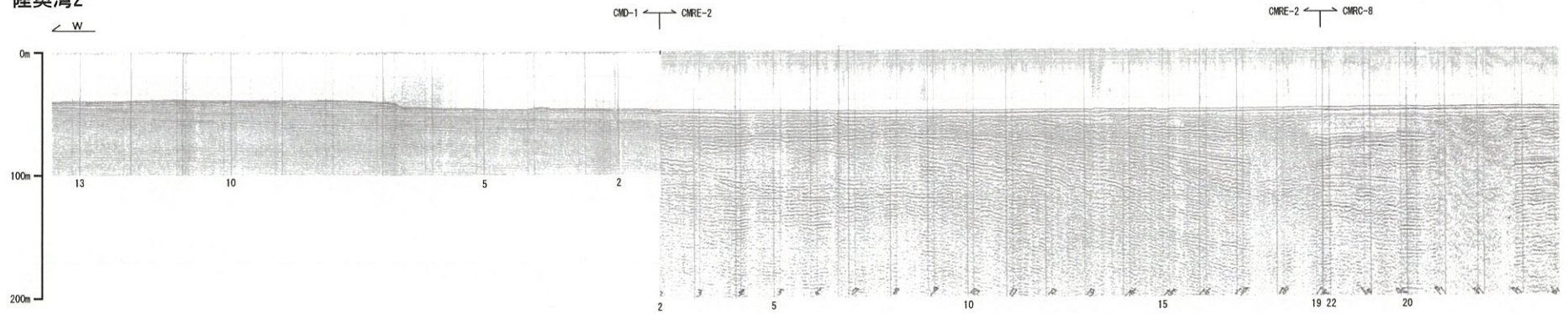
陸奥湾M



※この記録は、(財)電力中央研究所が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃研が独自に編集したものである。

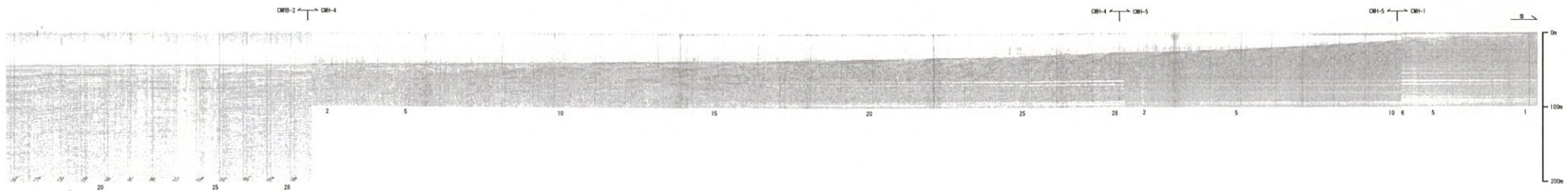
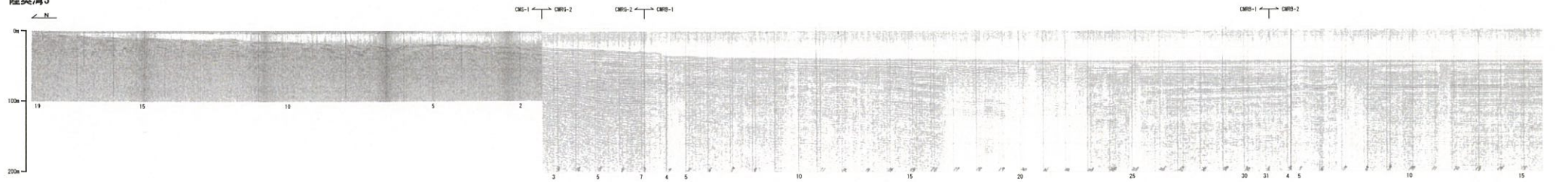
添3-ロ(口)第119図(17) 敷地周辺海域の音波探査記録

陸奥湾2

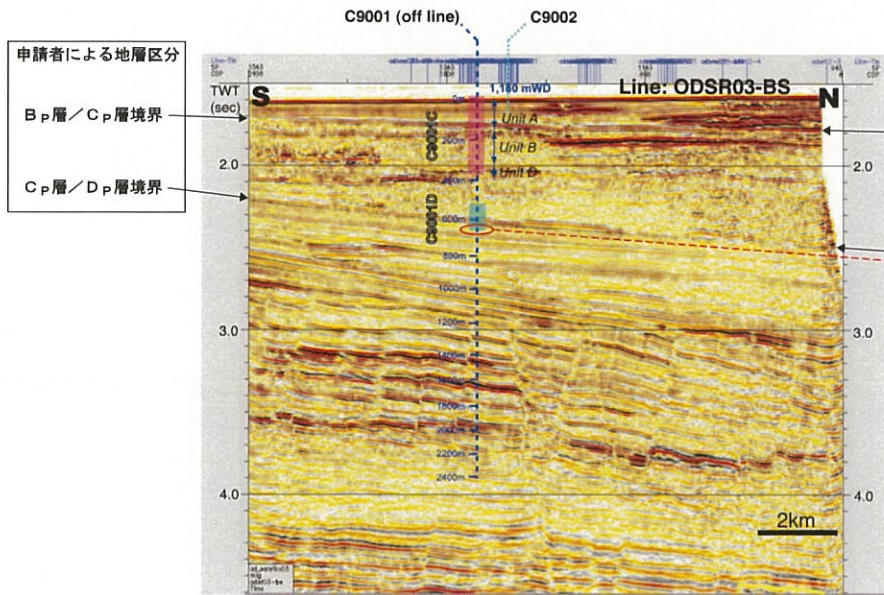


※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃㈱が独自に編集したものである。

陸奥湾3

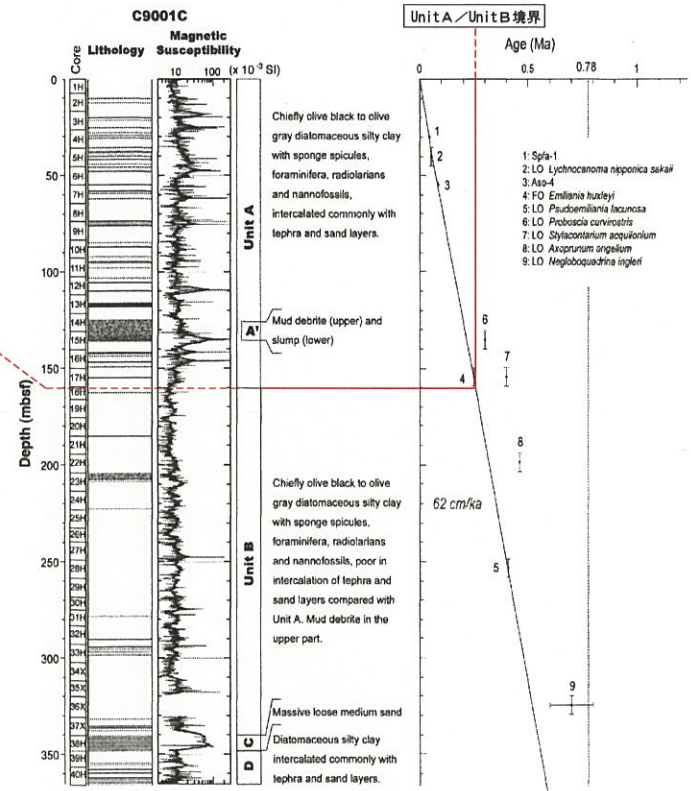


※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原産測が独自に編集したものである。



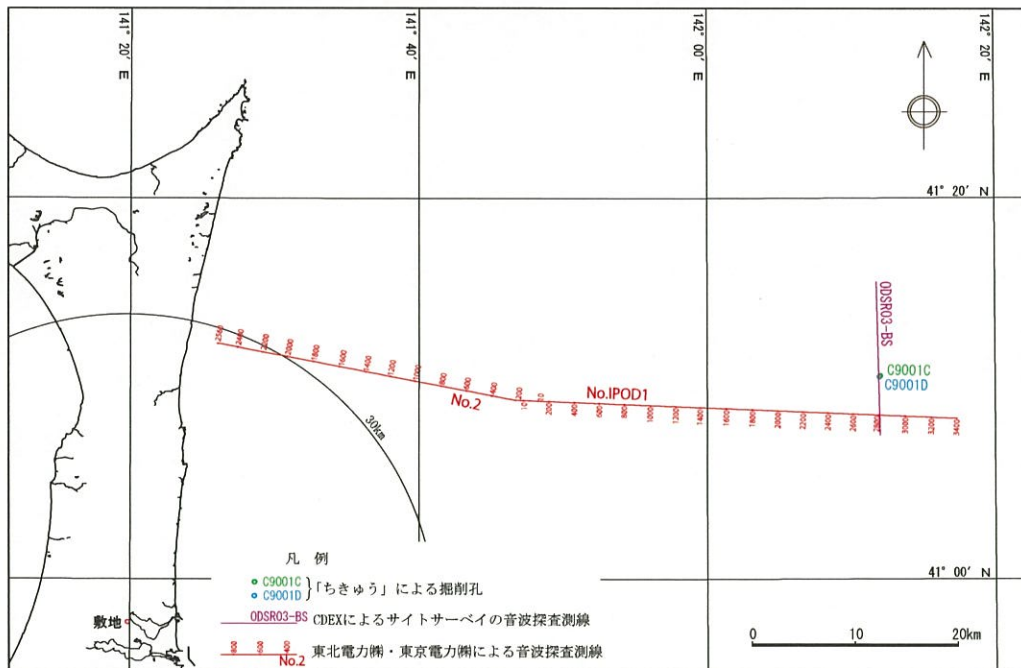
Kobayashi et al. (2009)より抜粋・一部加筆

C9001C, Dと音波探査記録との対比



青池 (2008)より抜粋・一部加筆

年代モデル



List of Stratigraphic events for C9001C and D, determined onboard.

Event	Hole, Core, Section, Interval (cm)		Depth (mbsf)	Age (ka)	Remarks
	Upper limit	Lower limit			
Spfa-1	C9001C-4H-4 57-68cm		34.3	43 ± 1	Tephra
T <i>Lychnocanoma nipponica sakaii</i>	C9001C-4H-CC 34cm	C9001C-5H-CC 36cm	35.3 - 44.9	50	
Aso-4	C9001C-7H-4 40-42.5cm		58.7	87.5 ± 2.5	Tephra
T <i>Stylacontarium acquilonium</i>	C9001C-16-CC 30cm	C9001C-17-CC 30cm	149.3 - 158.8	400	Rad
T <i>Avoprunum angelinum</i>	C9001C-21H-CC 34cm	C9001C-22H-CC 18cm	193.9 - 203.3	460 ± 40	Rad
T <i>Neoglybobaculina inglei</i>	C9001C-35X-CC 13cm	C9001C-37X-CC	319.2 - 337.8	600 ± 100	Foram
B large <i>Gephyrocapsa</i> spp. - B medium <i>Gephyrocapsa</i> spp.	C9001D-25SMW		642 - 647	(1700 - 1480)	Nanno

Note. T = top, B = bottom, Rad = radiolarians, Foram = planktonic foraminifera, and Nanno = calcareous nanofossils. Analyses for identification of two known tephraes were done using samples from C9001A and C9002B. Spfa-1 (Shikotsu-daiichi Tephra) is based on analyses at the Kyoto Fission Track Co. Ltd. (CDEX, unpublished) and by Masago (unpublished data). Aso-4 (Aso-daiyon Tephra) was also identified by Masago (unpublished data). Brunhes-Matuyama boundary horizon (780 ka) was not found within Hole C9001C.

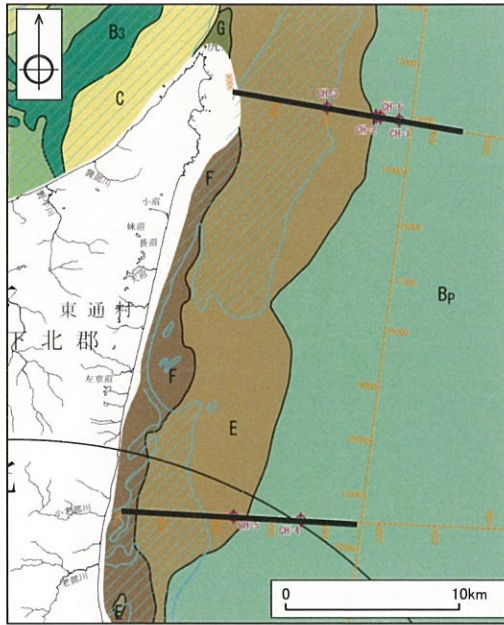
Kobayashi et al. (2009)より抜粋・一部加筆

年代指標

添3-口(口)第120図(1)「ちきゅう」site C9001の概要図

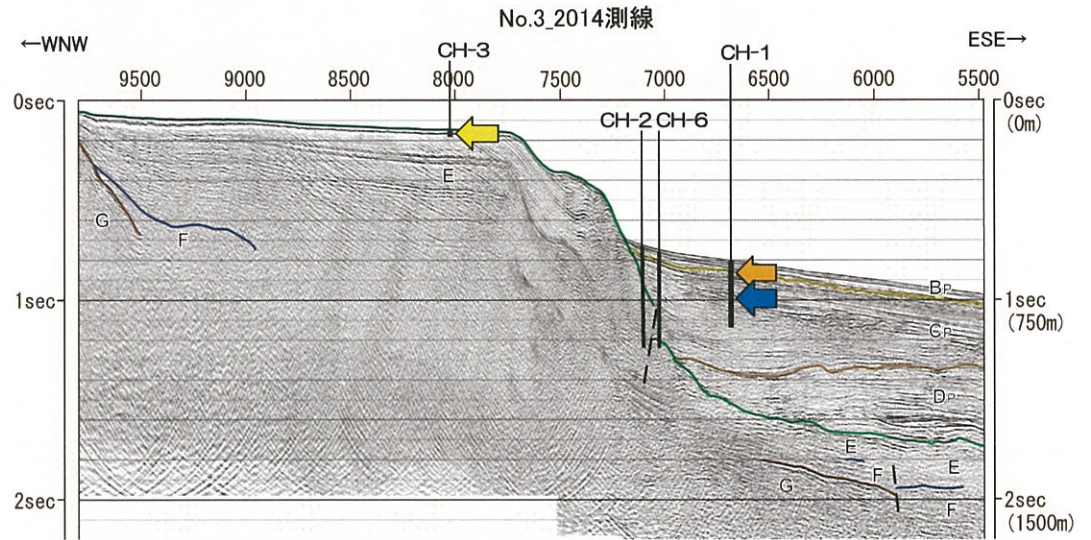
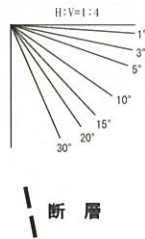
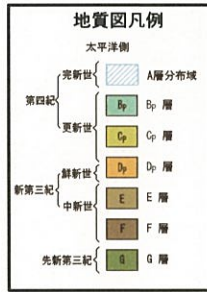




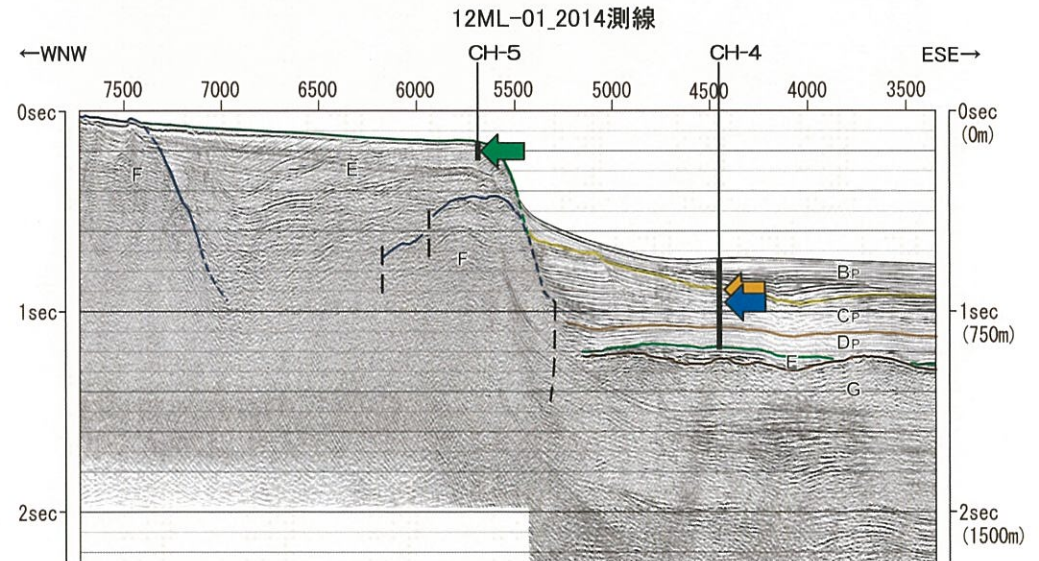


測線位置図

測線位置

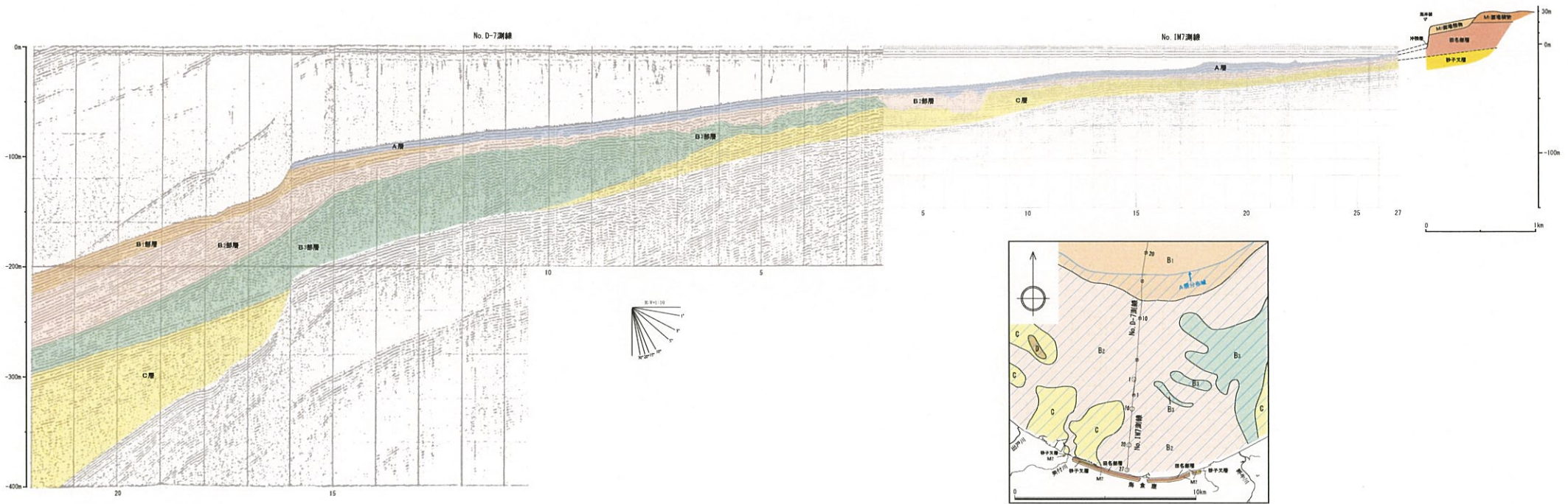


- 有孔虫化石 *G.rikuchuensis* (約12.6~11.5Ma) を確認
- 恐山火山起源の降下火砕物 Os-2 (約0.27Ma) を確認
- 放散虫化石 *L.sakaii* の初産出(約1.03Ma)、  
放散虫化石 *E.matuyamai* の終産出(約1.03Ma) を確認

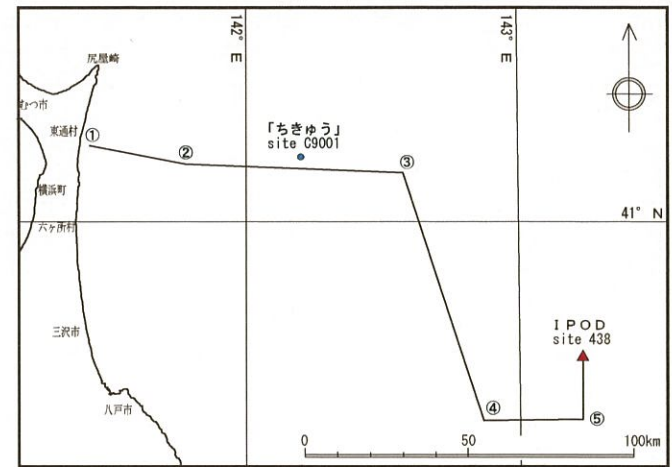
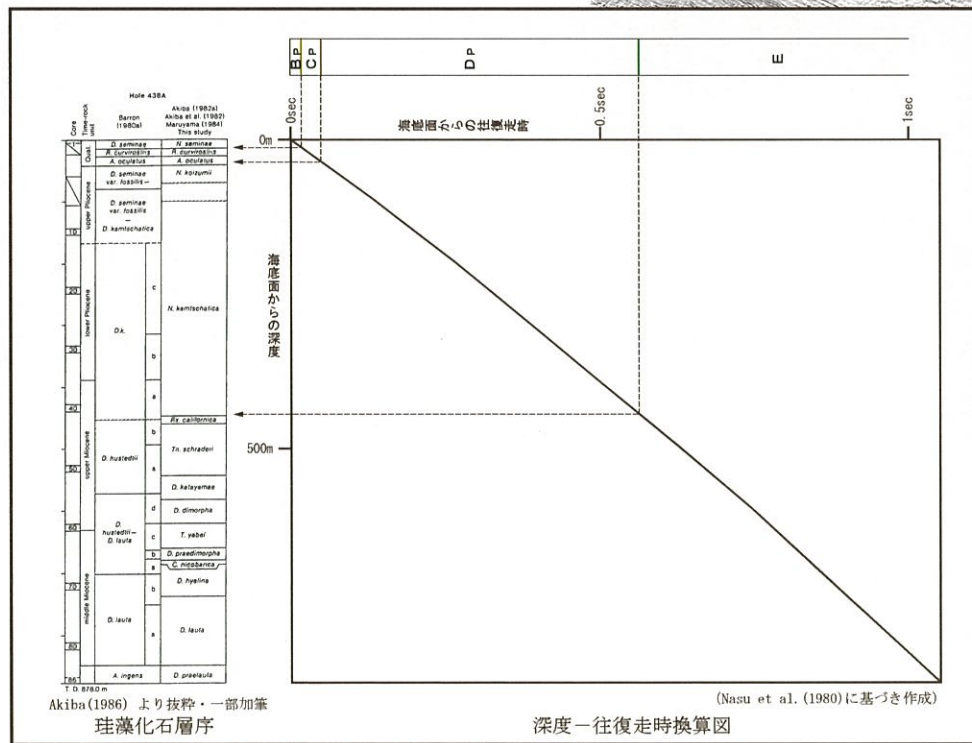
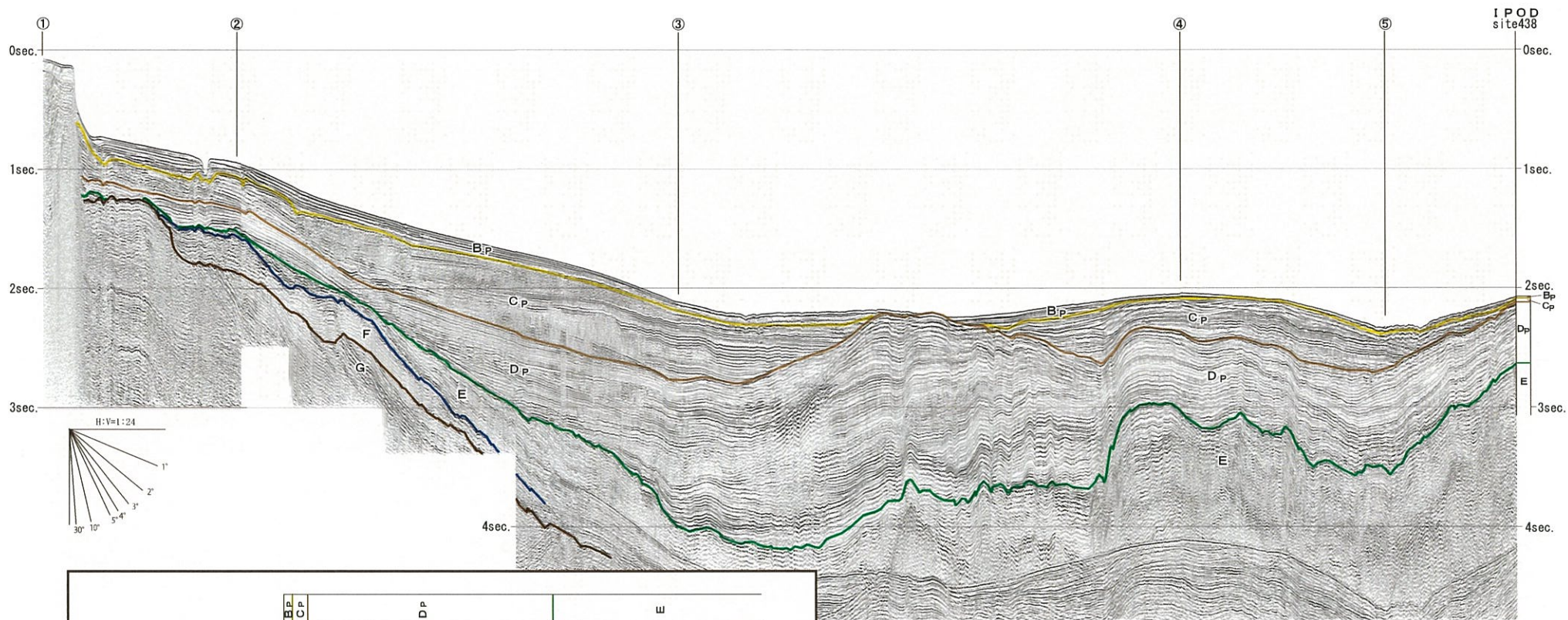


- D.lauta* 帯 (約16.0~14.6Ma) に対比される珪藻化石群集を確認
- 恐山火山起源の降下火砕物 Os-2 (約0.27Ma) を確認
- 放散虫化石 *L.sakaii* の初産出(約1.03Ma)、  
放散虫化石 *E.matuyamai* の終産出(約1.03Ma) を確認

添3-ロ(ロ)第121図 尻屋崎沖及び東通村老部川沖の海上ボーリング調査結果図

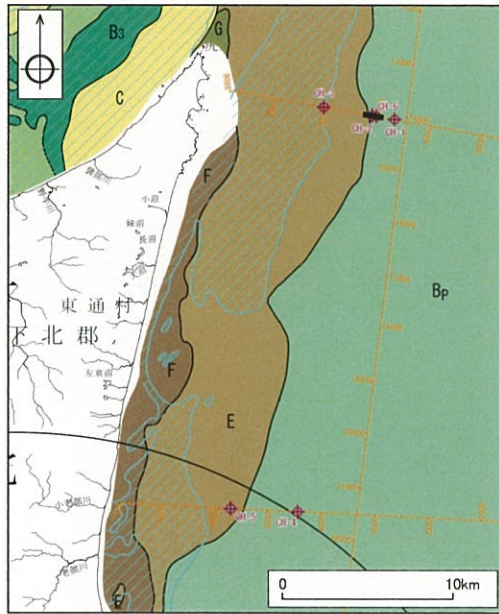


添3-ロ(ロ) 第122図 津軽海峡沿岸部におけるB層の状況図

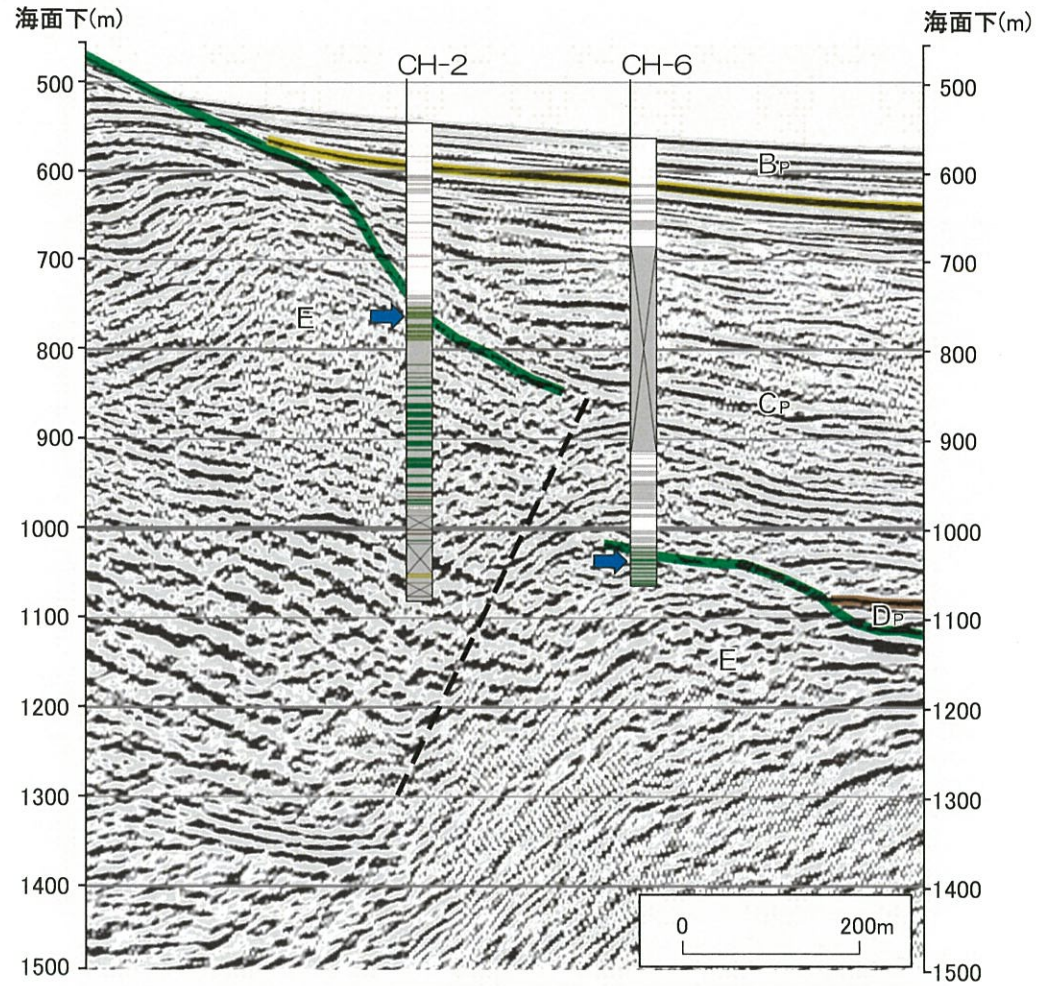
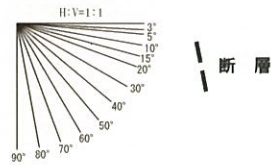
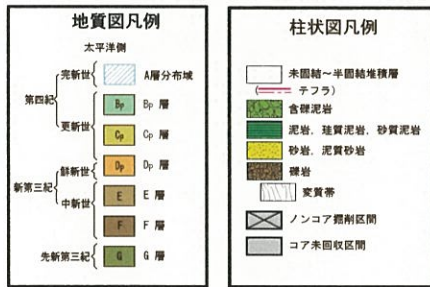


添3-ロ(口)第123図 敷地周辺海域の地層区分とI POD site 438との対比図

No.3\_2014測線(深度断面)



測線位置図 測線位置

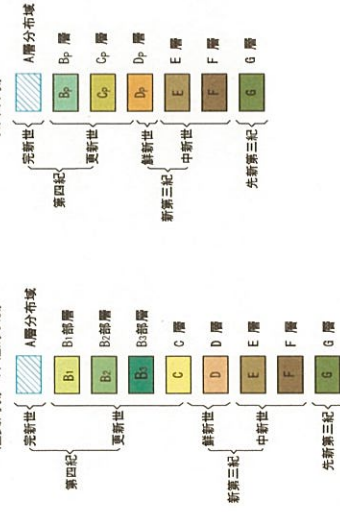


← 放散虫化石 *C.tetrapera* の終産出(約11.7Ma)箇所  
 放散虫化石 *E.inflatum* の終産出(約11.7Ma)箇所

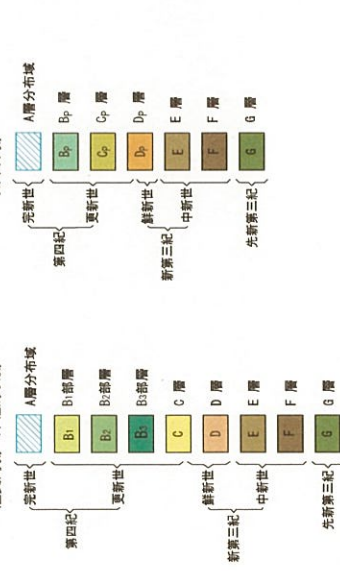
添3-ロ(口)第124図 尻屋崎沖の急斜面基部付近のE層の分布図

凡例

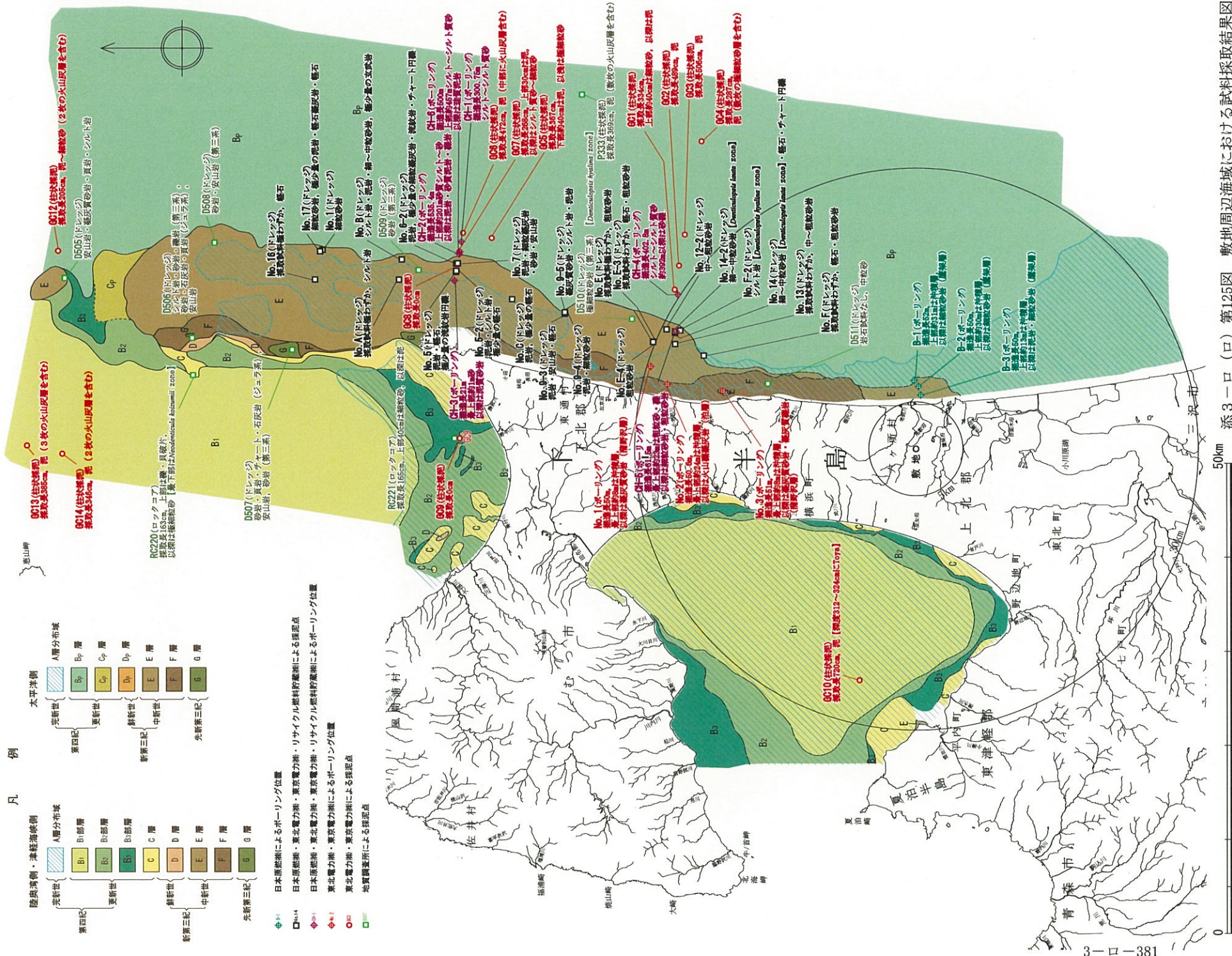
陸奥湾側・津軽海峡側



太平洋側



- ◆ 日本原燃によるボーリング位置
- 日本原燃・東北電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵庫による探定点
- ◆ 日本原燃・東北電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵庫によるボーリング位置
- ◆ 東北電力・東京電力によるボーリング位置
- 東北電力・東京電力による探定点
- 地質調査所による探定点

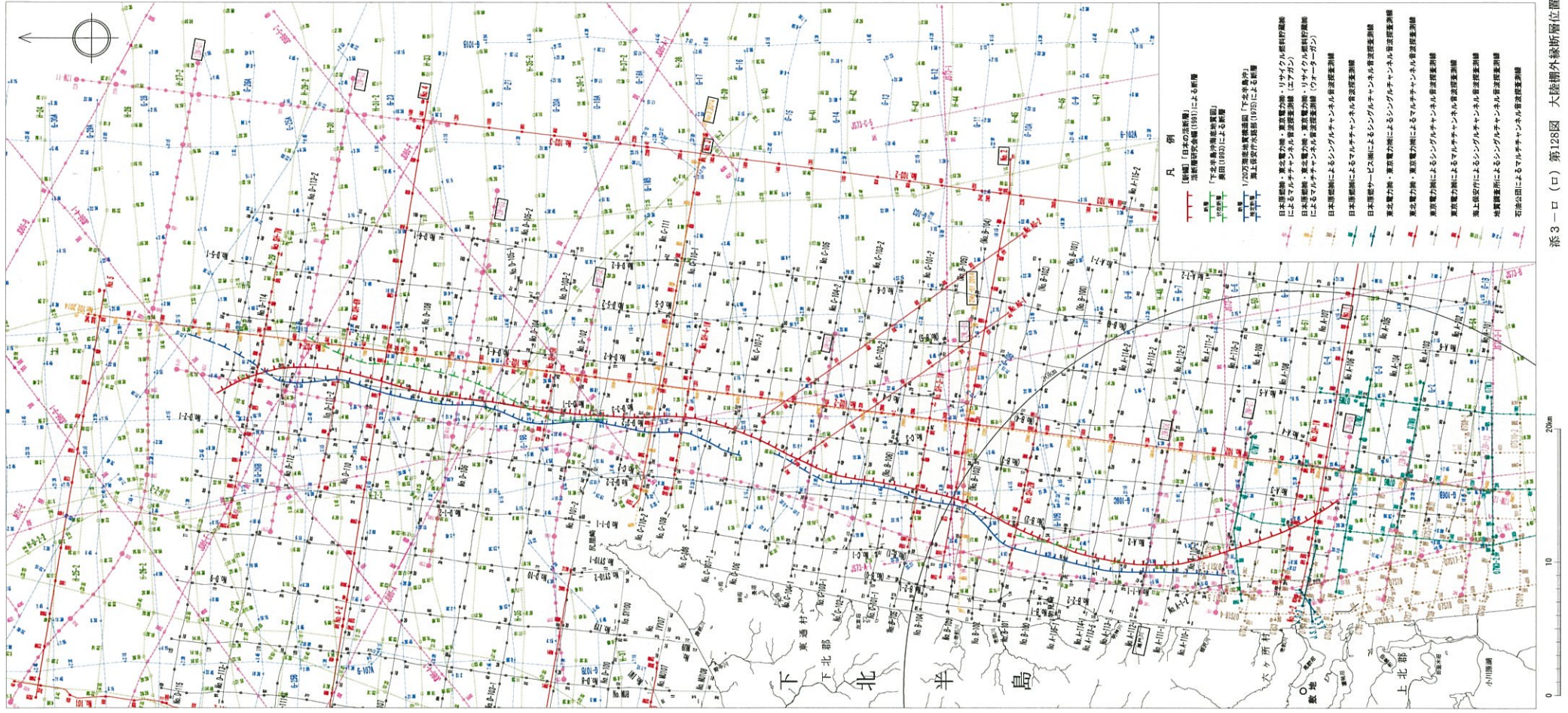


添3-10 (口) 第125図 敷地周辺海域における試料採取結果図

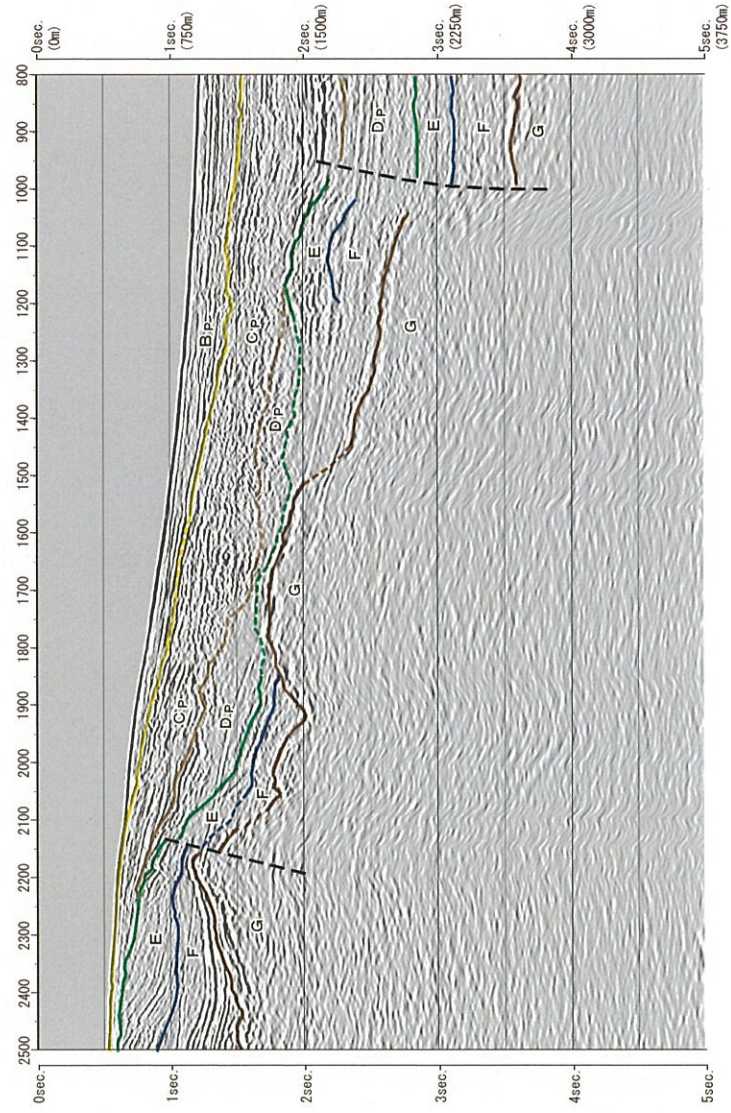




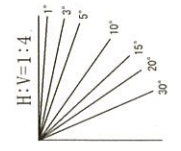
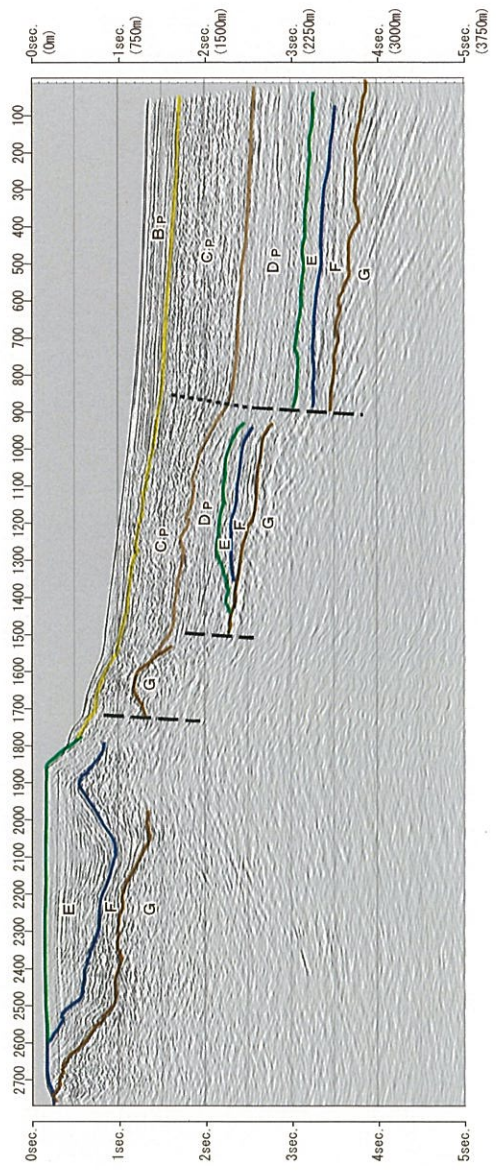
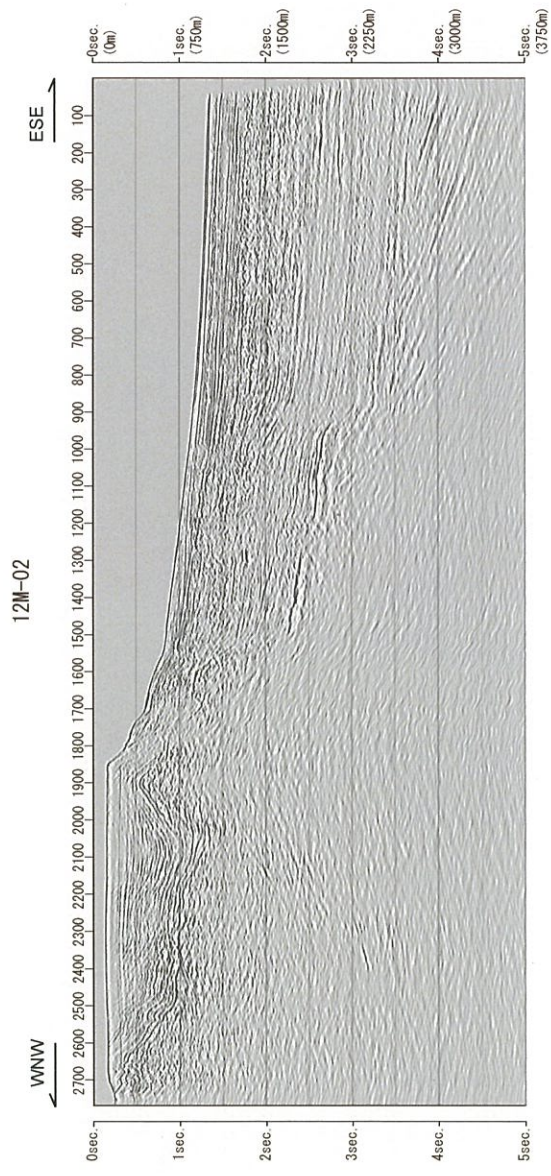




添3-1-0 (ロ) 第128図 大館圏外線断層位置図

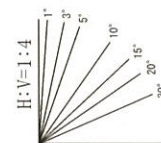
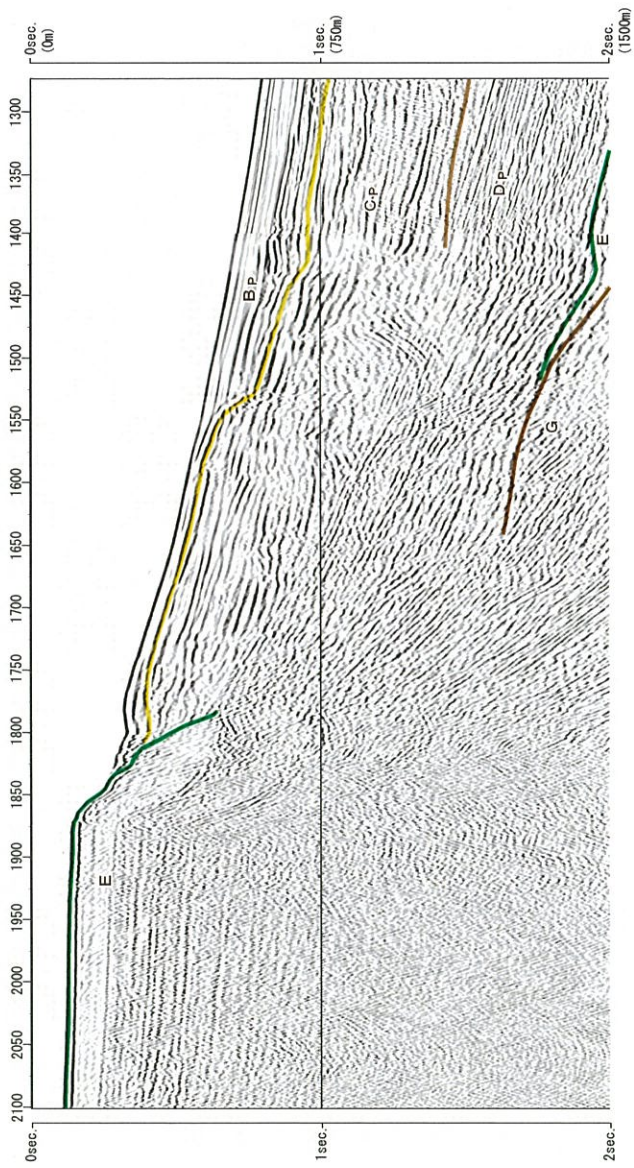
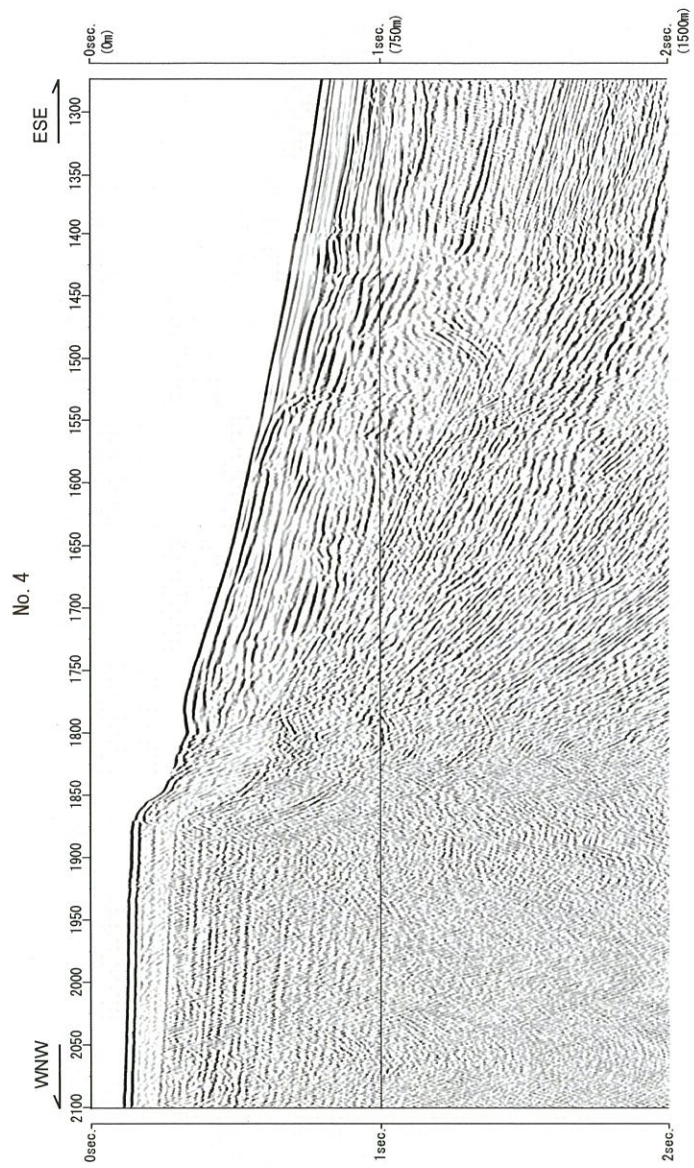


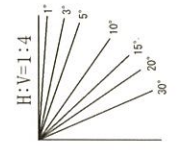
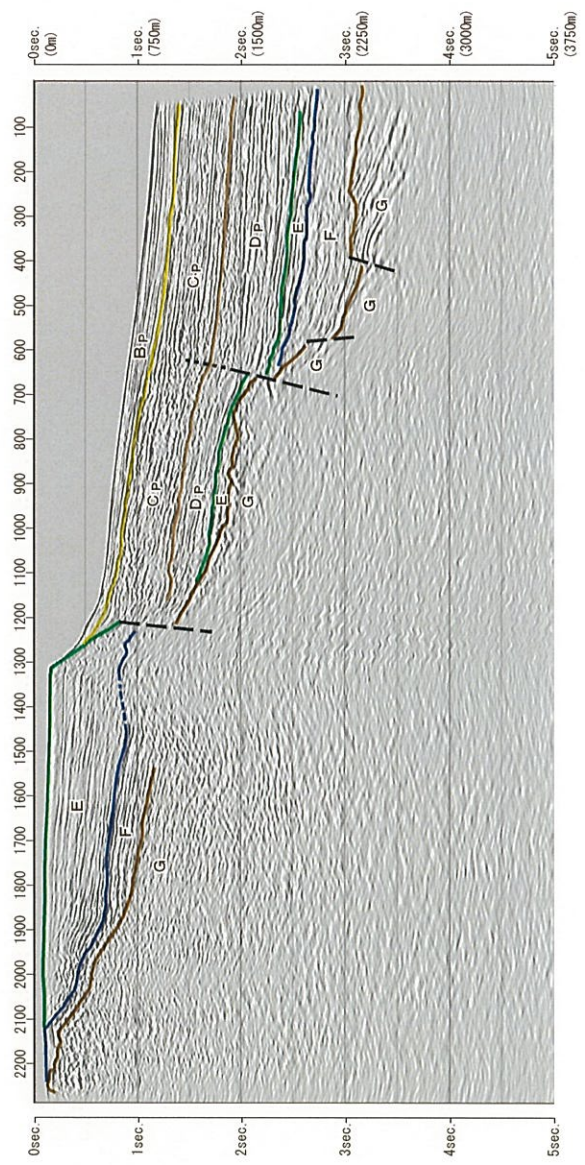
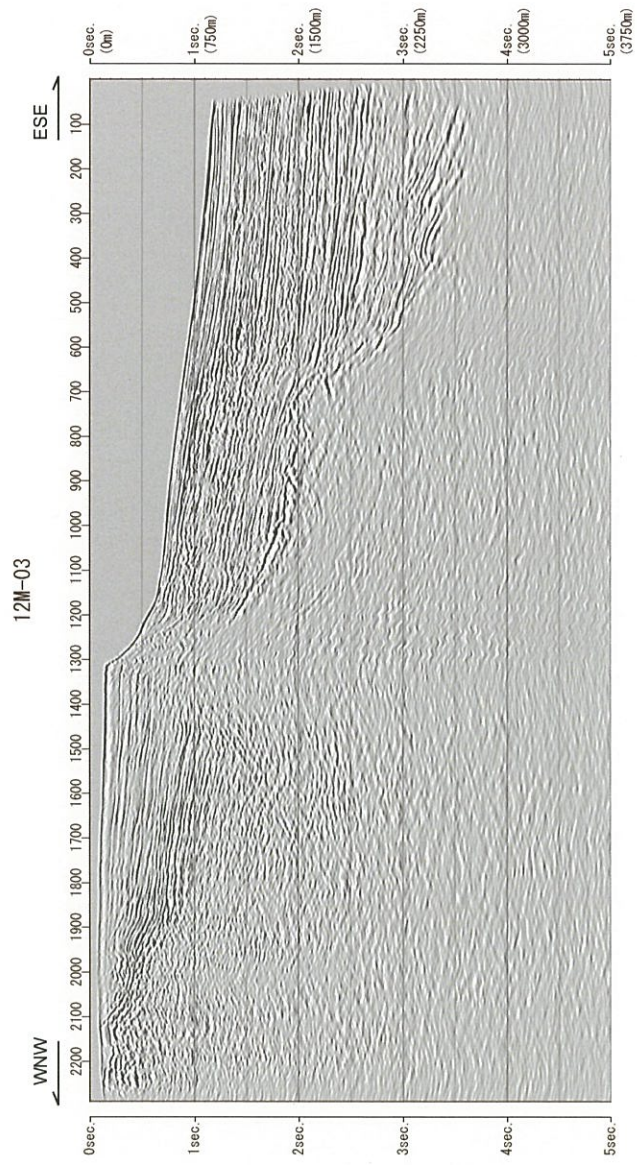
添3-ロ (ロ) 第129図(1) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-01測線)



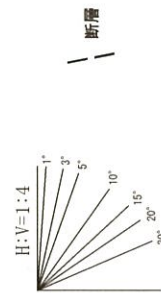
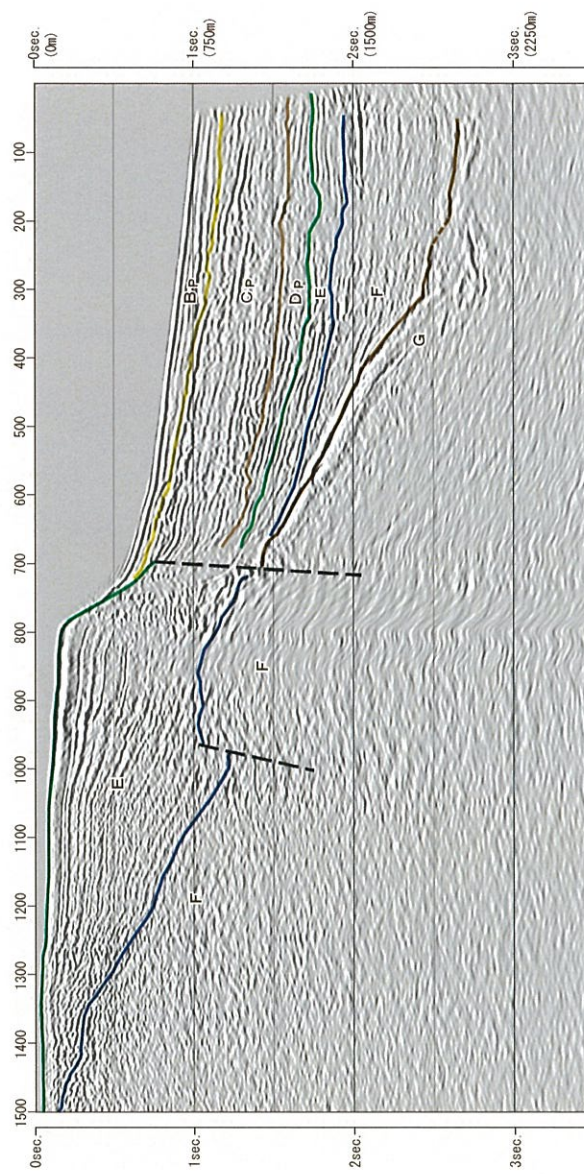
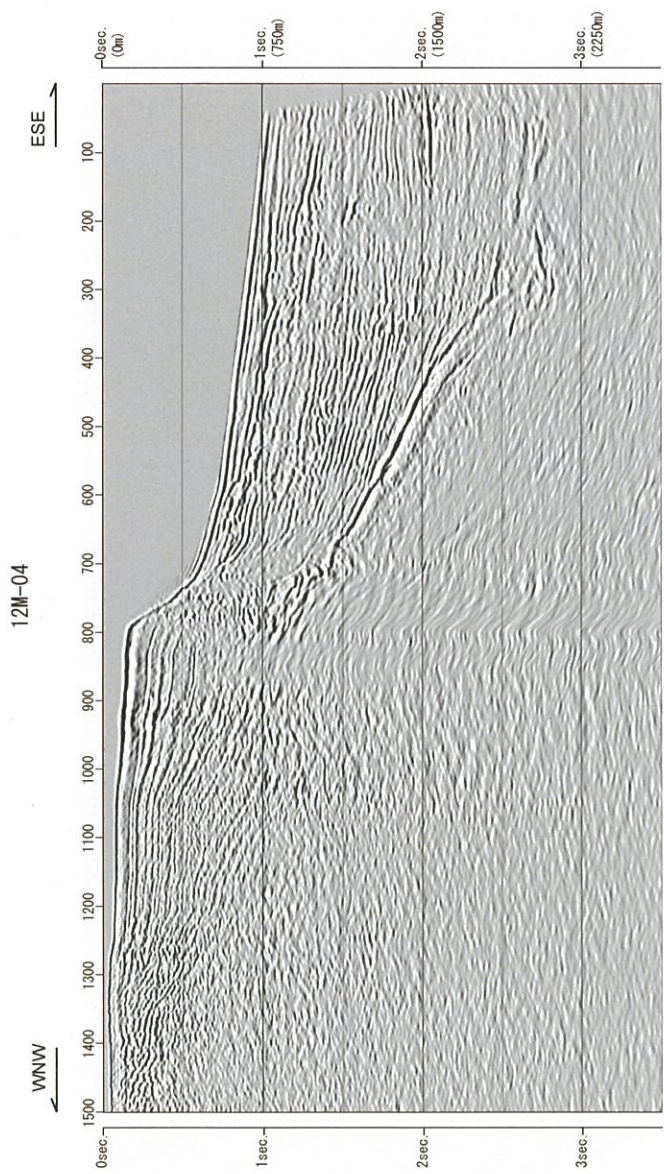
— 断層  
- - - 拗曲

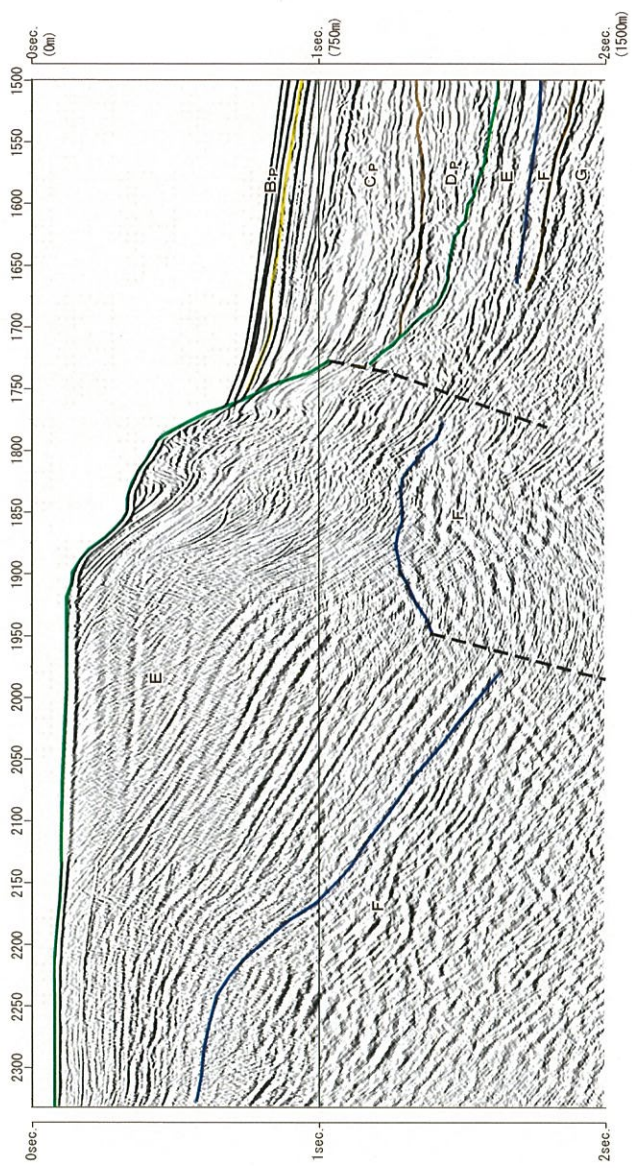
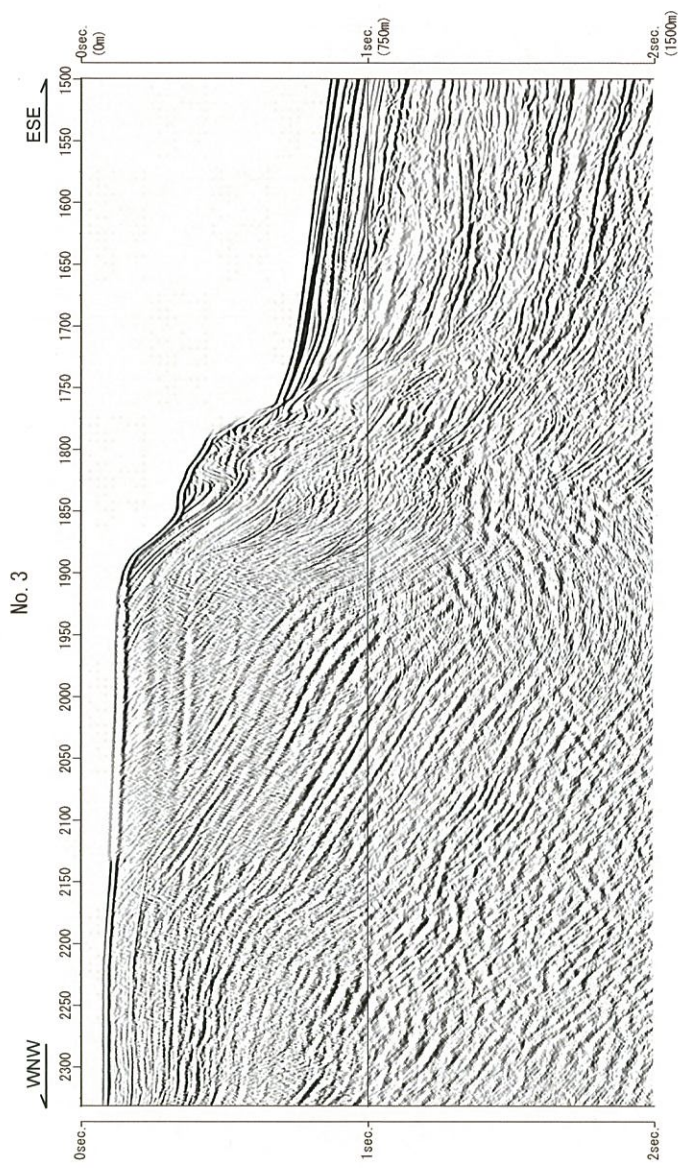
添3-1-ロ (ロ) 第129図(2) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-02測線)



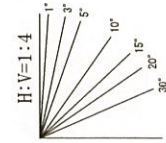
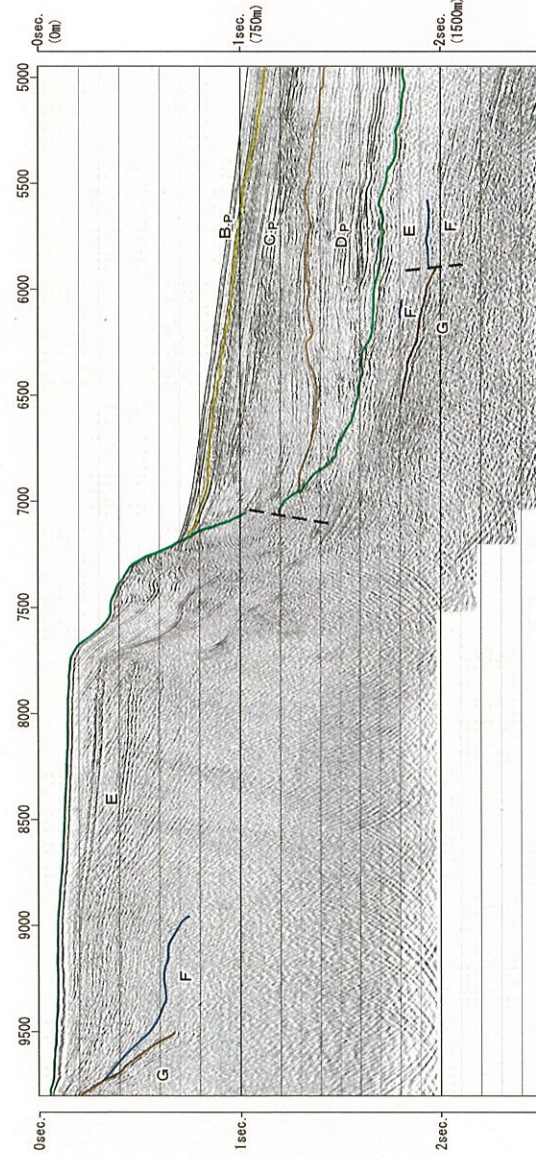


添3-10 (口) 第129図(4) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-03測線)



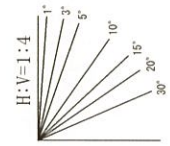
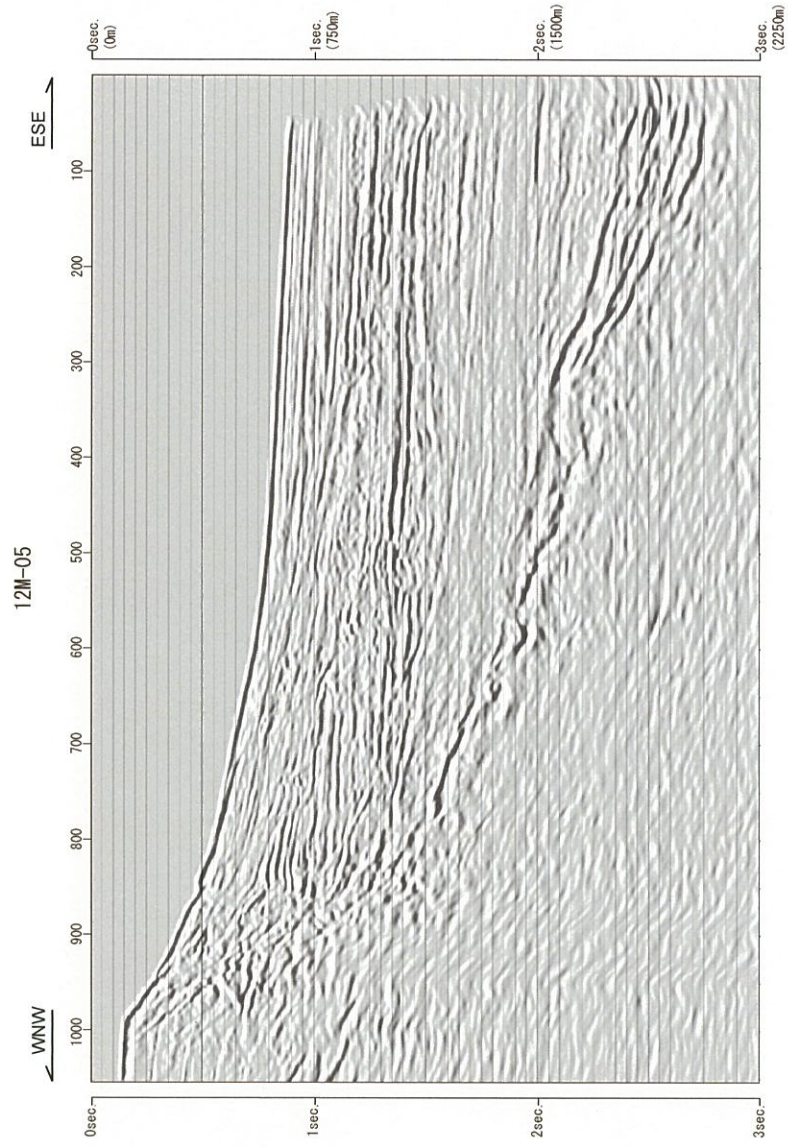


NO. 3\_2014



断層

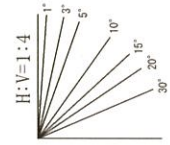
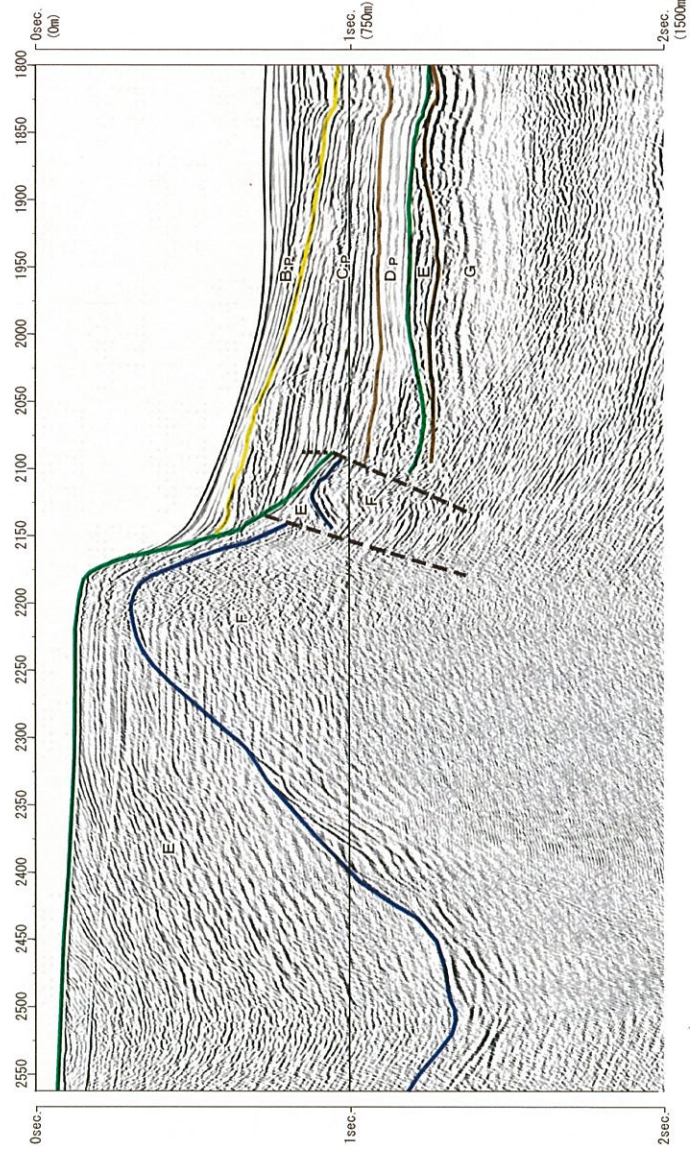
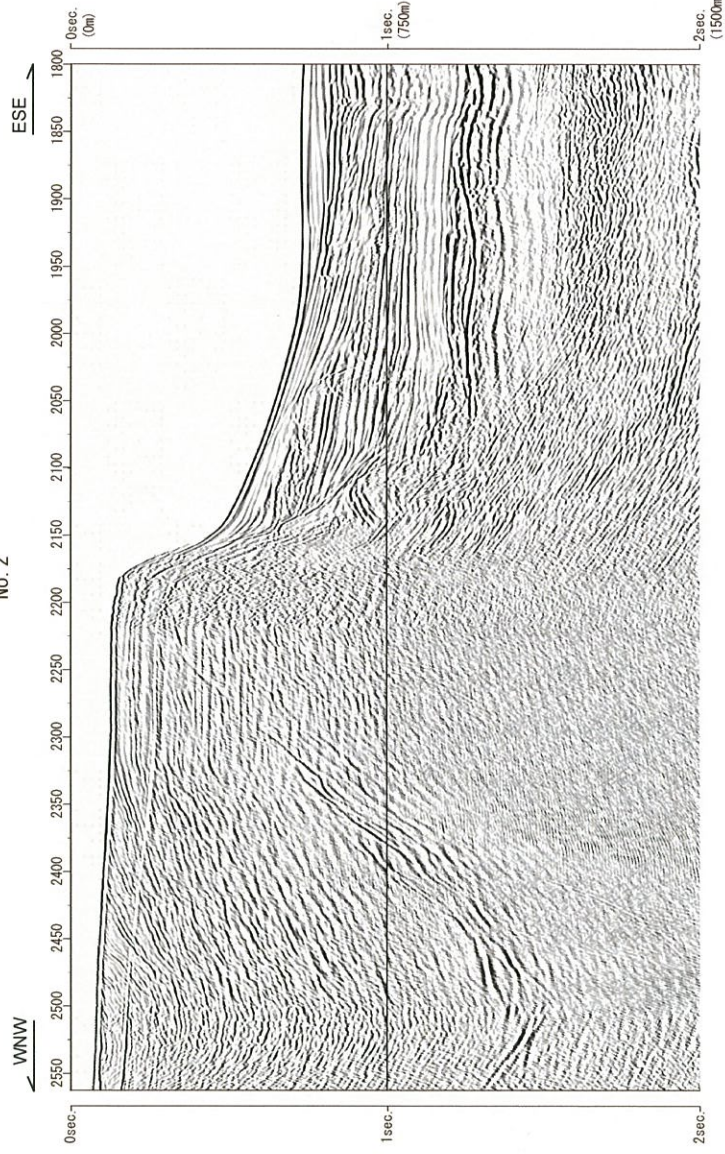




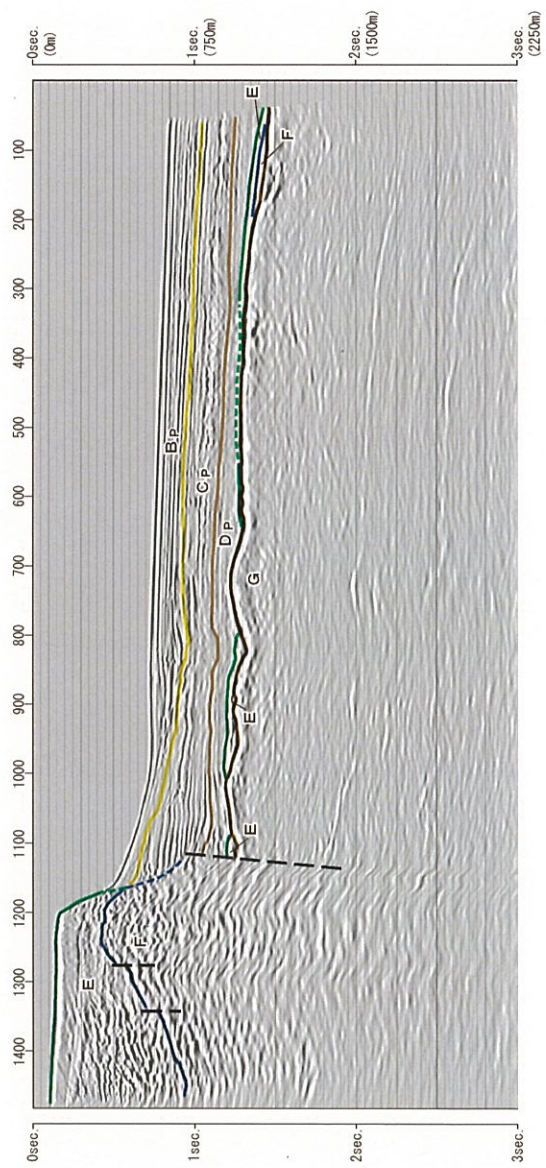
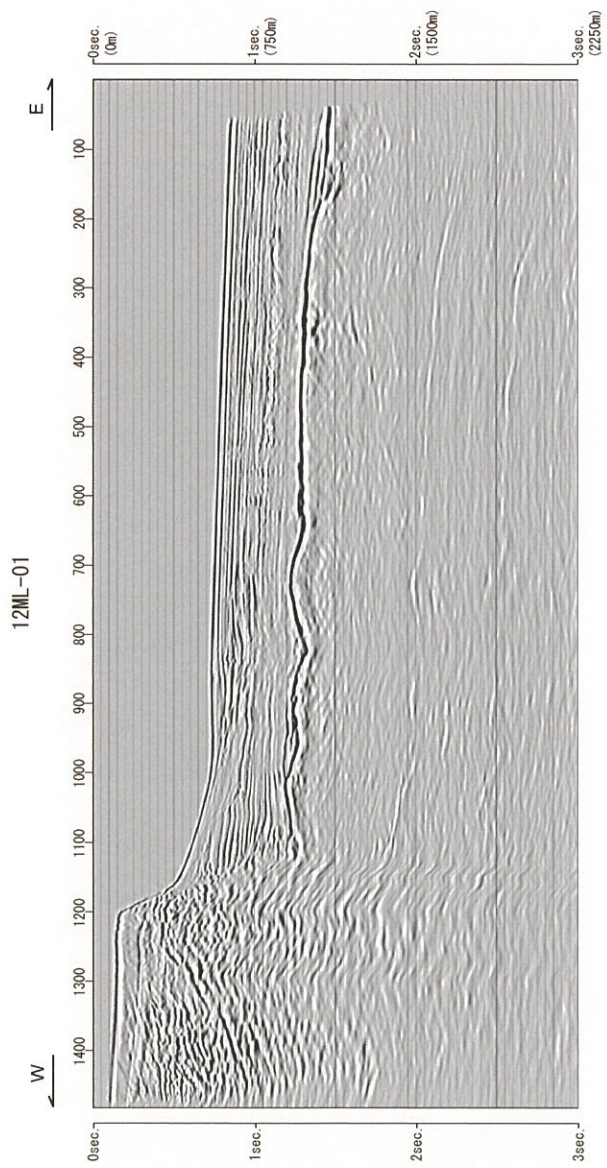
断層

添3-ロ (ロ) 第129図(8) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-05測線)

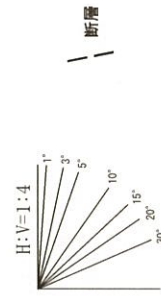
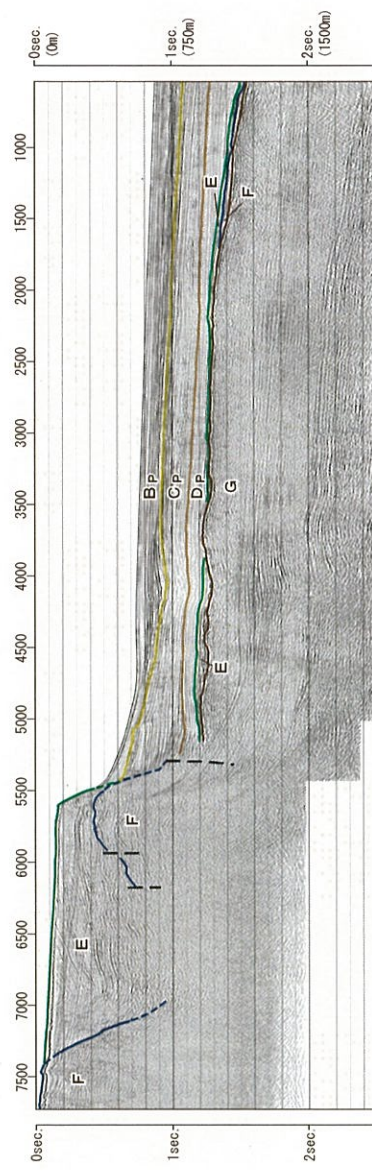
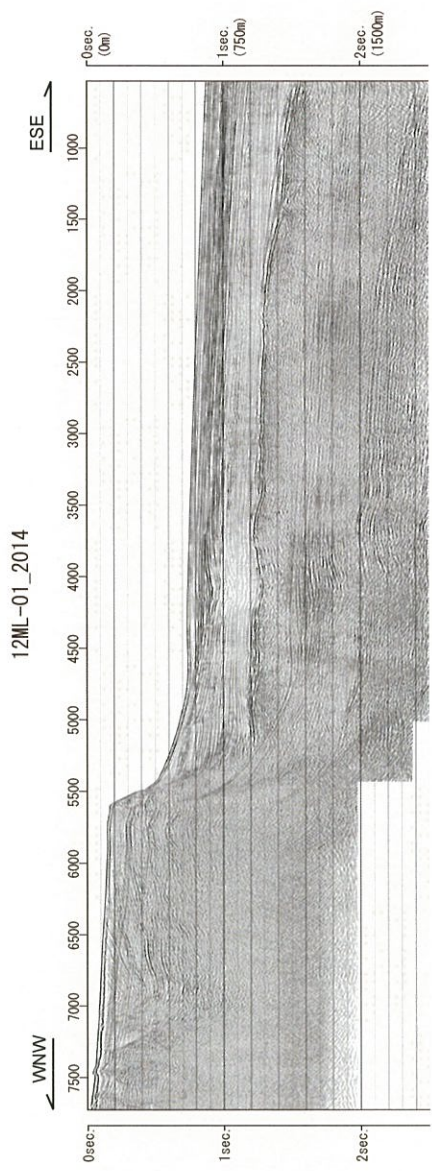
No. 2



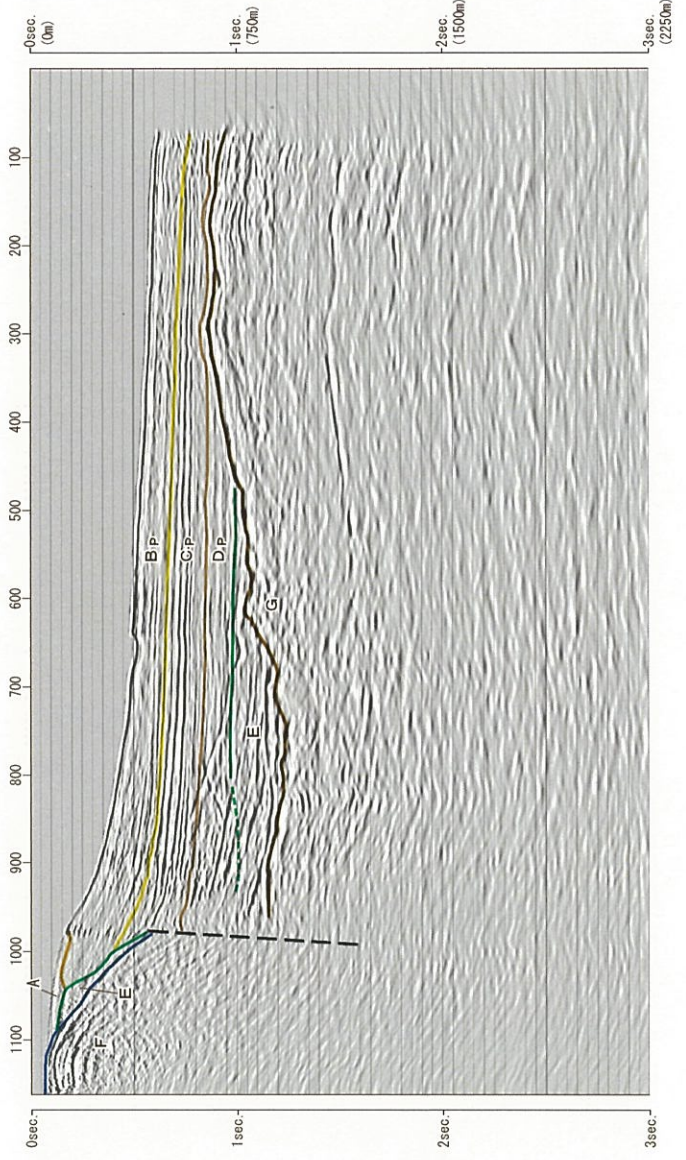
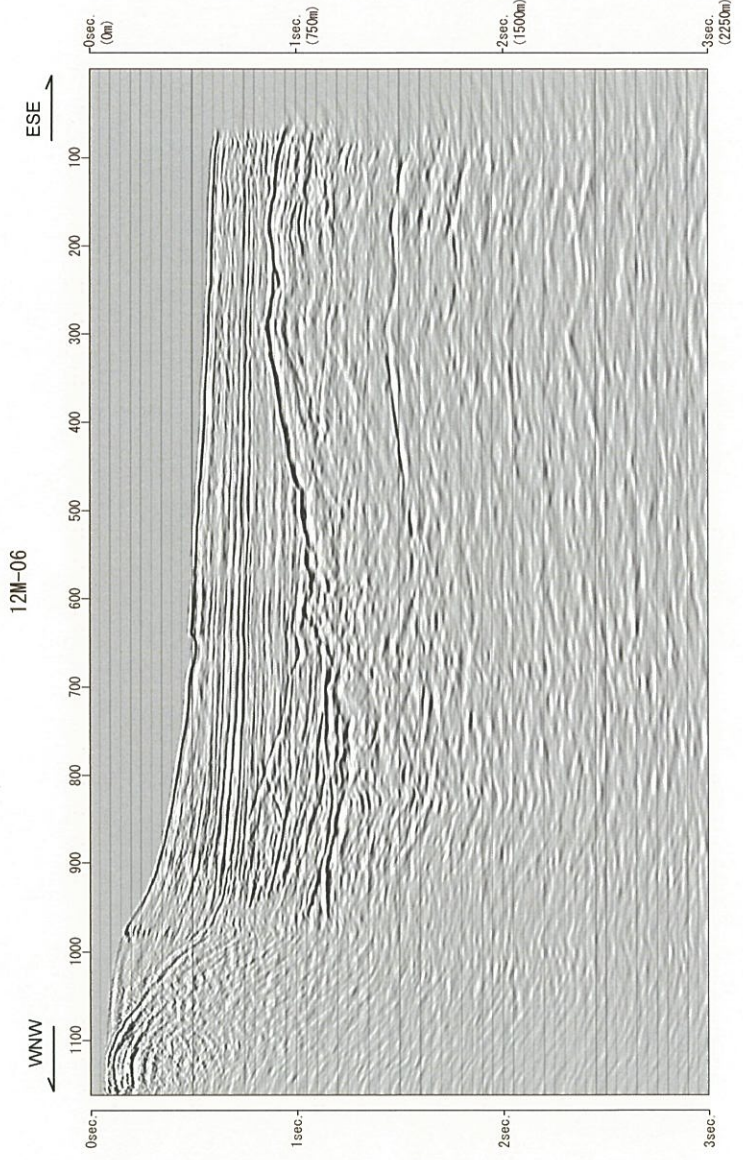
— 断層  
- - - 拗曲



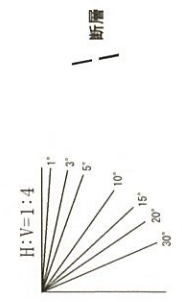
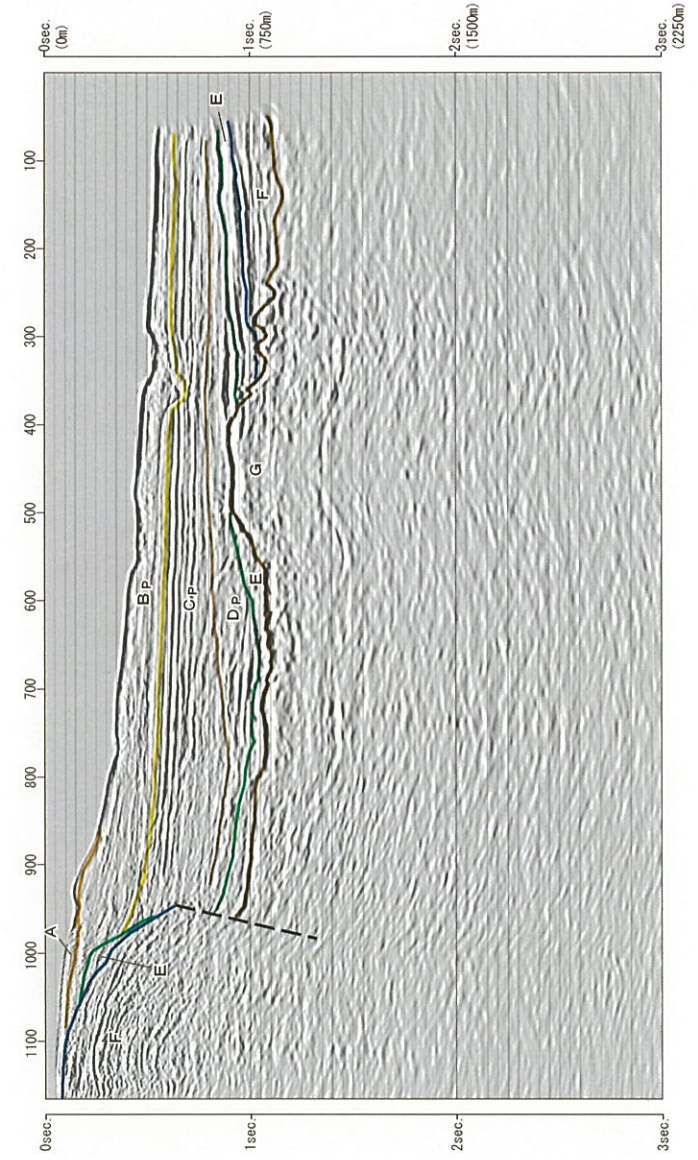
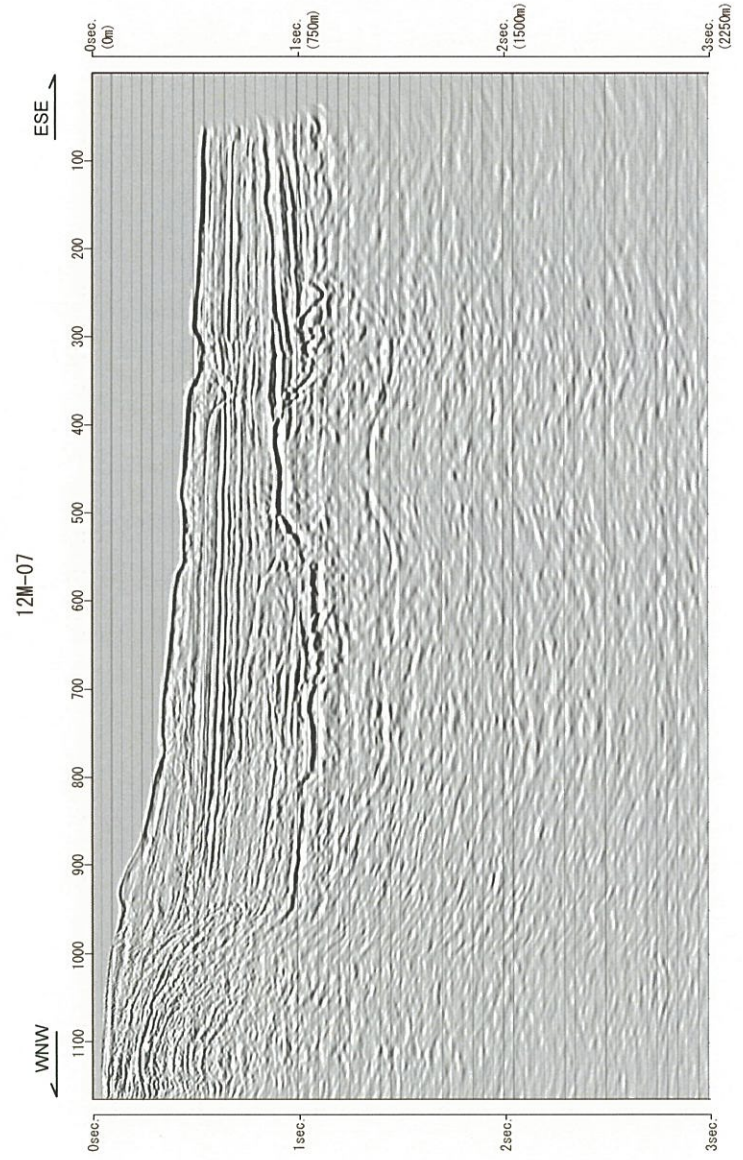
添3-ロ (ロ) 第129図(10) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12ML-01測線)



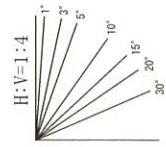
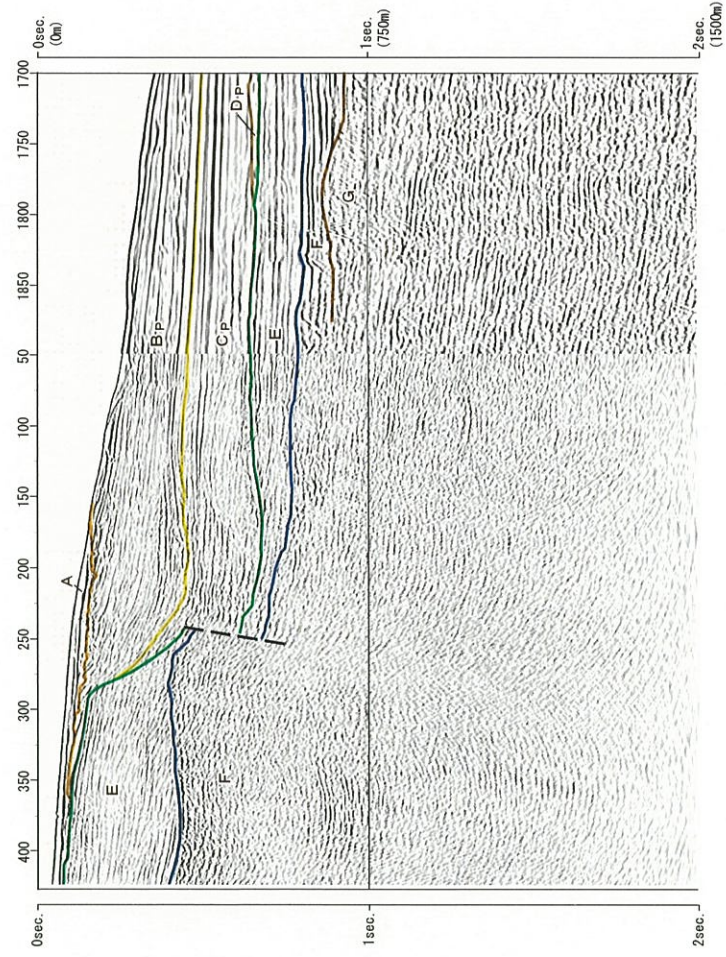
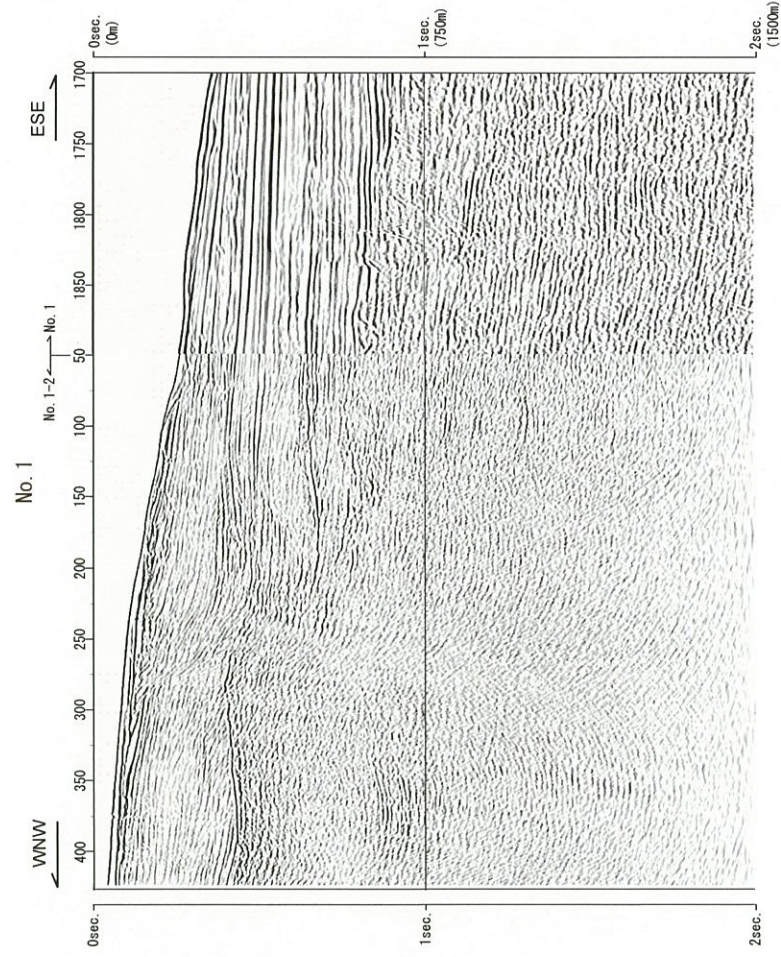
添3-ロ (ロ) 第129図(11) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12ML-01\_2014測線)

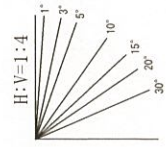
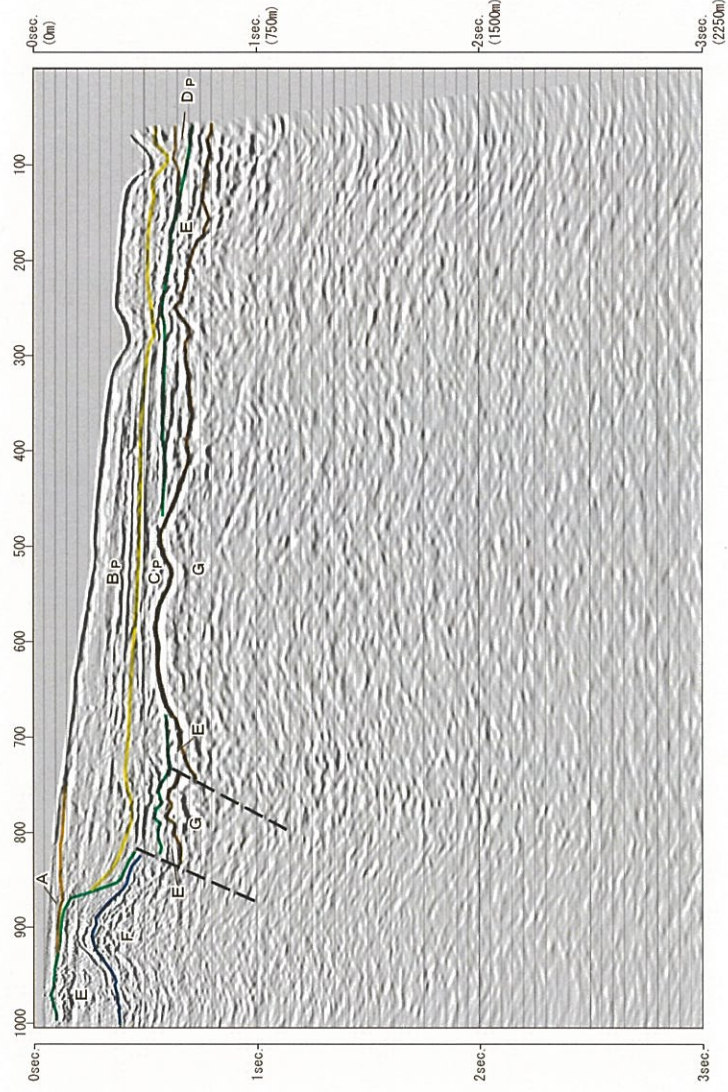
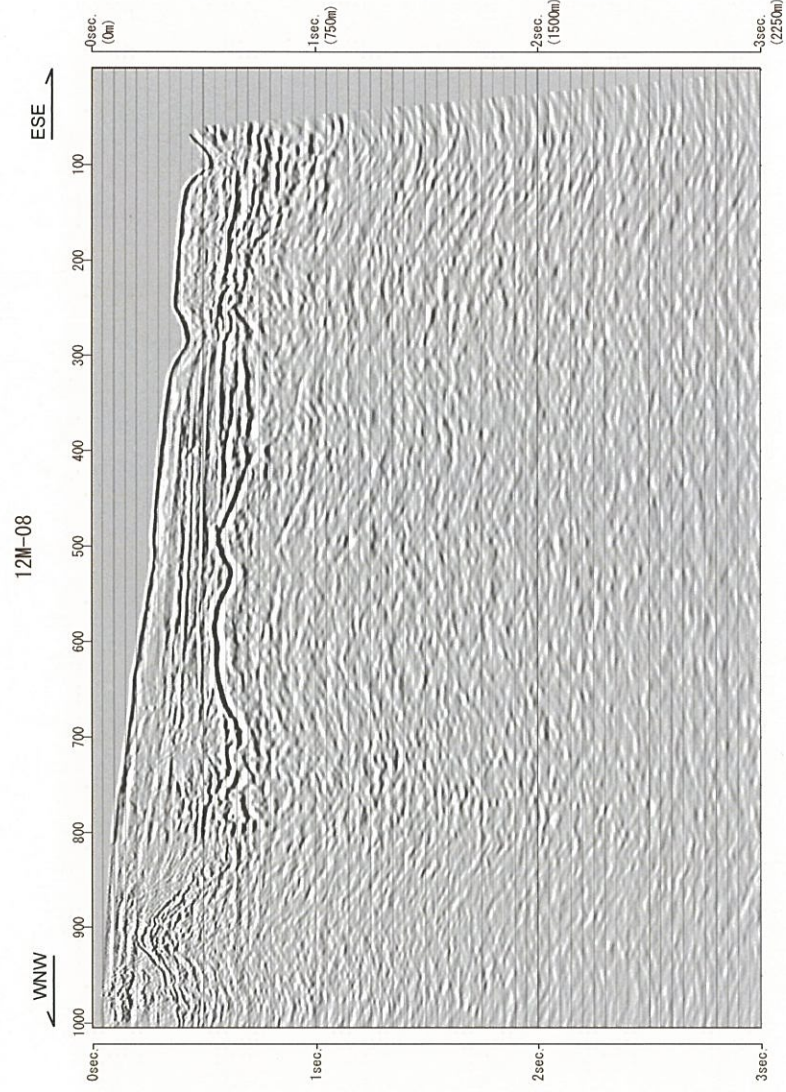


添3-1口 (口) 第129図(12) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-06測線)



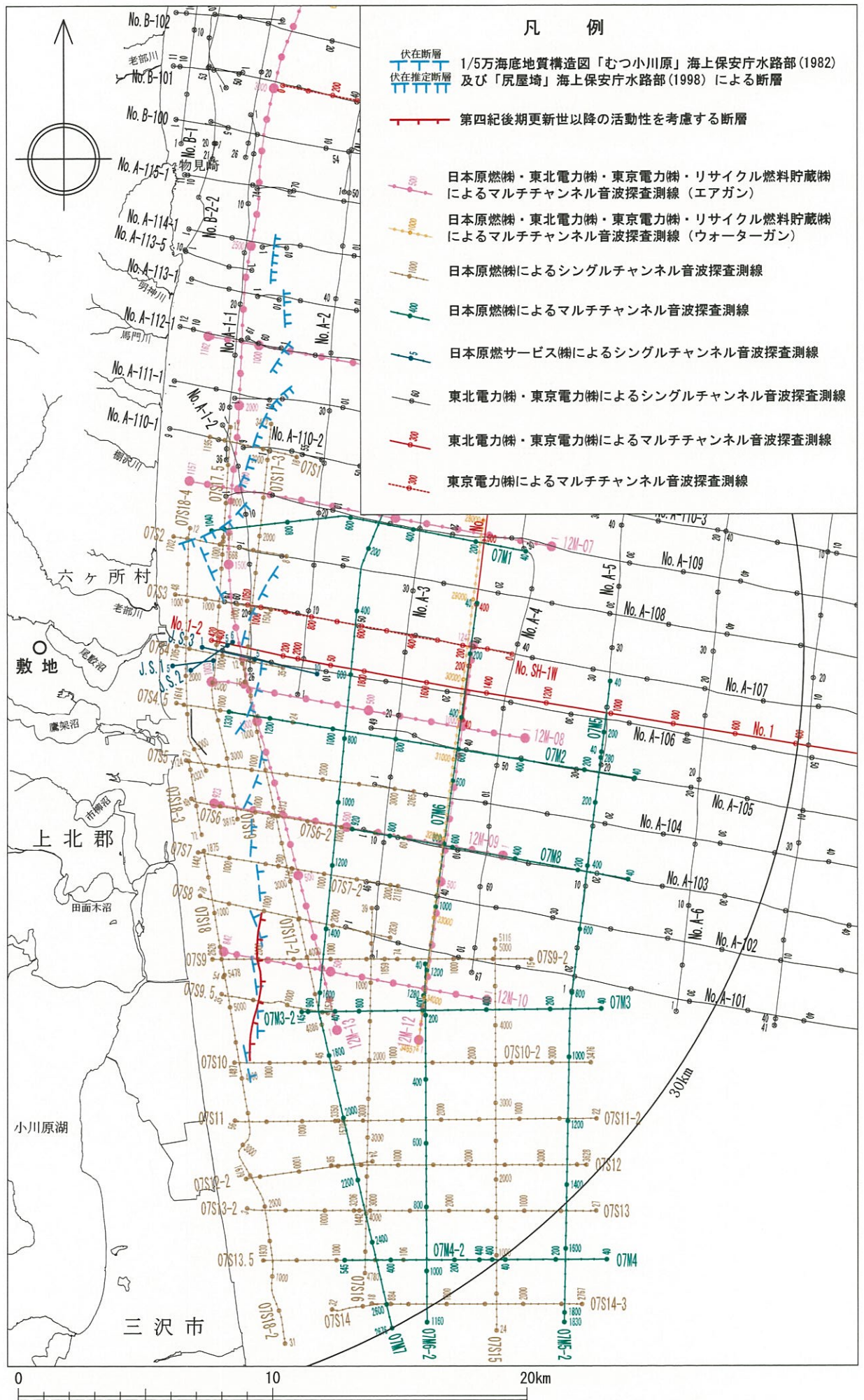
添3一ロ (口) 第129図(13) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-07測線)



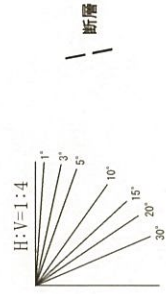
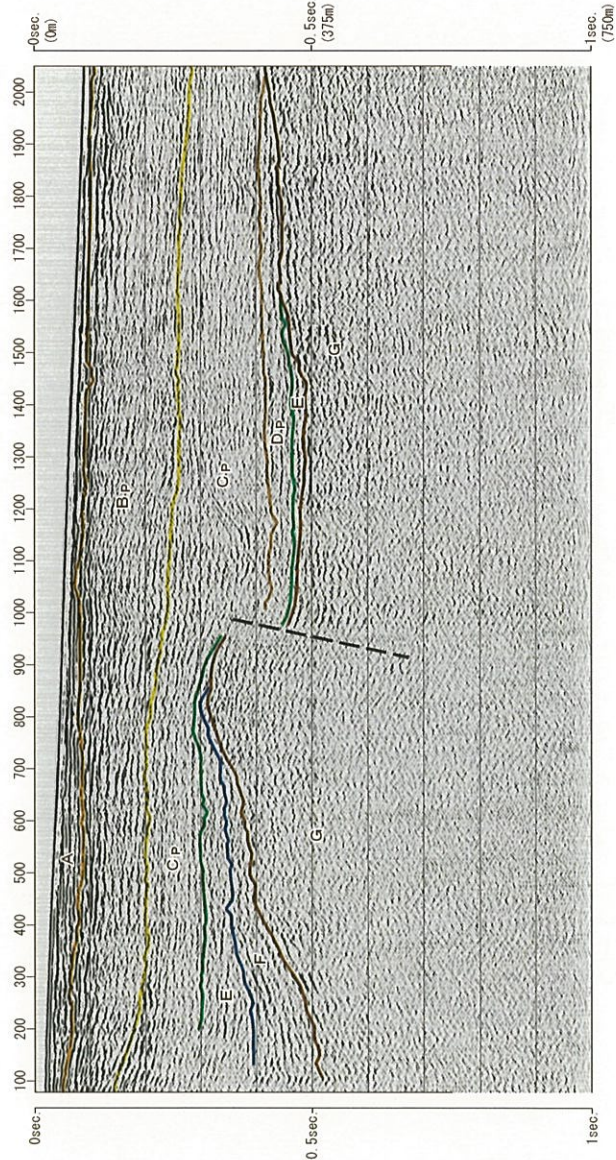
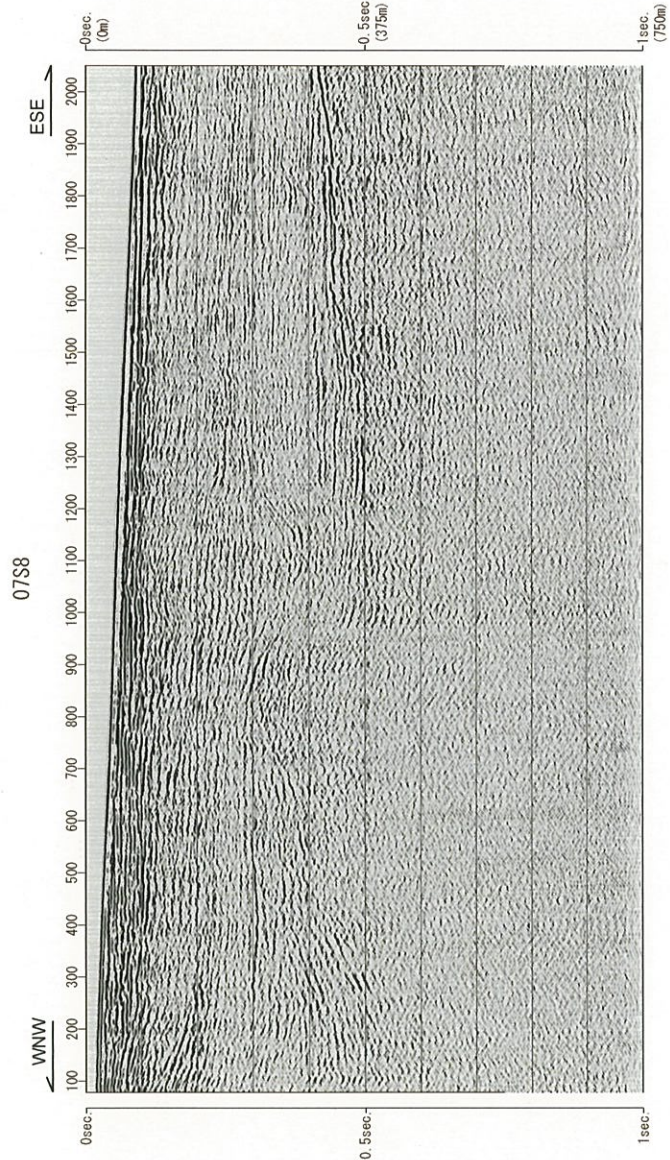


添3-1口 (口) 第129図(15) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-08測線)

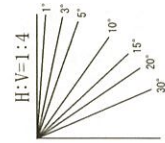
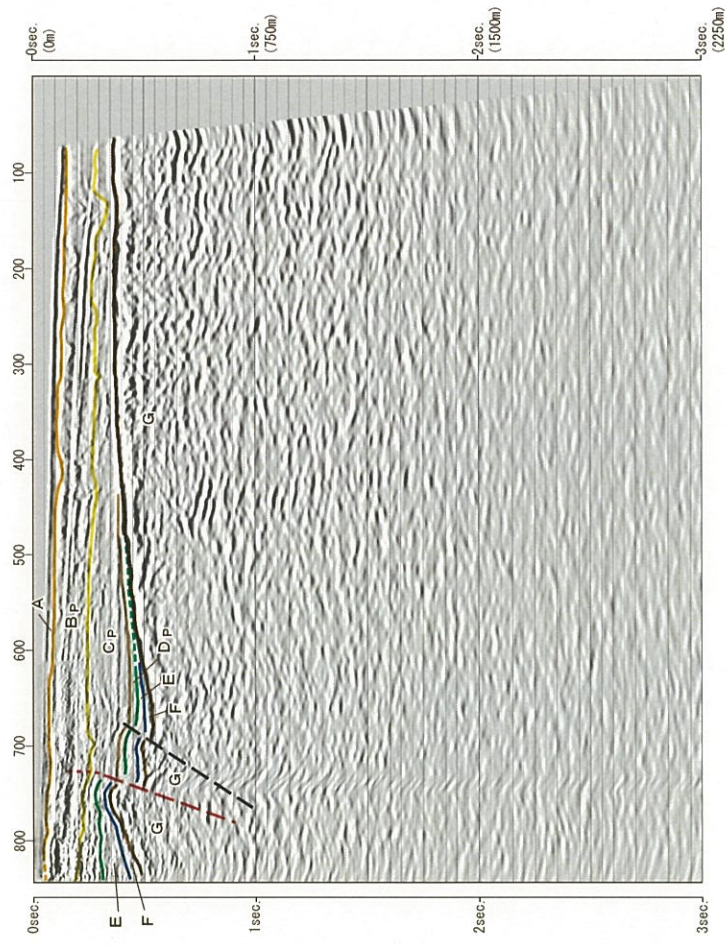
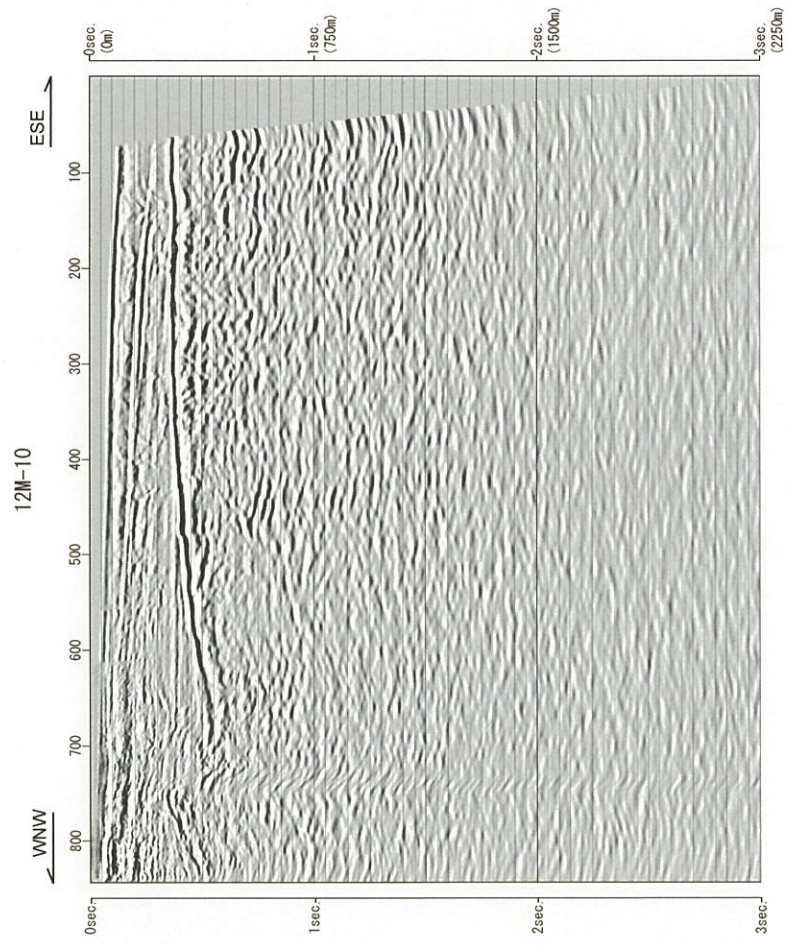




添3-口(口)第130図 F-d断層位置図



添3-1口 (口) 第131図(1) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (07S8測線)



断層 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に变位・変形が認められるもの